

近畿大学附属看護専門学校 2023 SYLLABUS

看護学科(旧カリキュラム)

2021年度

情報統計学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	松尾 拓哉								

科目の目標

実証に基づく看護学の実践に重要な役割を果たす情報処理、データ解析の手法を活用し、看護学研究に実践できる技能を習得する。看護に係わる個人情報保護意識の向上をはかる。

関連教科

論理的思考、社会学、関係法規

時間外学習（予習・復習・課題）

授業中よく話を聞いて、しっかり理解するように心がけてください。また復習を行って理解を深めるように努力してください。理解できなかったことは友達に聴いたり、話し合ってください。それでも分からないことは質問してください。内容が多岐にわたりますので毎回、きちんと理解しながら積み上げていきましょう。復習はその日のうちに必ず行う習慣をつけましょう。

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
演習レポート	

テキスト

系統看護学講座 別巻 看護情報学
医学書院 著）中山 和弘、他6名

参考文献

ナースのための統計学（第2版）
医学書院 著）高木 廣文

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）
近畿大学医学部 医学部教育センター 医学基盤教育部門

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
医学基盤教育部門

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	情報の定義、看護における情報、情報倫理と医療倫理〔講義・演習〕 1. 情報の検索手段 2. World Wide Webの情報検索 3. インターネットと医療情報 4. 個人情報の保護
2コマ目	PCの基本操作とアプリケーションの起動と終了について説明することができる。〔講義・演習〕 1. パソコンの基本操作 2. ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作 3. 演習レポートの作成と提出（ワード）
3コマ目	情報処理のための基礎知識について説明することができる。 1. データの収集と母集団 2. 統計で用いる関数 3. 基本統計量
4コマ目	調査によるデータ収集と集計方法について説明することができる。 1. 調査 2. データの種類 3. 文字情報の整理 4. 講義・演習用データのサンプリング準備
5コマ目	表計算ソフトの統計式を理解することができる。〔講義・演習〕 1. 表計算ソフトを用いた基本統計量の計算 2. 表計算ソフトによる統計学的検定（I） 3. 散布図を描く
6コマ目	表計算ソフトを用いたデータの計算方法を理解することができる。〔講義・演習〕 1. 表計算ソフトを用いた基本統計量の計算 2. 表計算ソフトによる統計学的検定（II） 3. 回帰分析（回帰直線と相関係数） 4. 演習レポートの作成と提出（エクセル）
7コマ目	表計算ソフトで集計を行ったデータの比較を行うための検定法を理解することができる。質的データと質的データの検定〔講義・演習〕 1. 表計算ソフトによる統計学的検定（II） 2. カイ二乗検定

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	表計算ソフトで集計を行ったデータの比較を行うための検定法を理解することができる。質的データと量的データの検定〔講義・演習〕 1. 表計算ソフトによる統計学的検定（III） 2. F検定 3. スチューデントのt検定 4. ウエルチのt検定
9コマ目	情報の信頼性について説明することができる。 1. 看護と情報：看護における情報、情報化社会と看護 2. 医療における情報システム： - 医療における情報の記録、病院情報システム、保健福祉ネットワーク 3. 既存の情報の収集方法：文献検索とインターネット
10コマ目	情報モラルについて説明することができる。 情報倫理、医療倫理、医の倫理、看護倫理 1. 情報倫理と医療倫理 2. 知的財産権 3. 著作権
11コマ目	情報システムに興味を持ち、情報のセキュリティについて説明することができる。 1. 調査によるデータ収集の方法 2. 文字情報の整理 3. 情報発表とコミュニケーション
12コマ目	インターネットセキュリティと科学的根拠のある情報の検索について説明することができる。〔講義・演習〕 インターネットセキュリティについて説明することができる。 1. ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用： - SNS利用時の留意事項、SNSの設定と個人情報保護意識 2. 個人情報の保護： - 医療・看護における個人情報、情報の利用の仕方 - 臨床実習・研究における個人情報
13コマ目	科学的根拠のある情報について説明することができる。〔講義・演習〕 1. 科学情報・医療情報データベース 2. オンラインによるデータベースの検索と情報収集 3. 演習レポートの作成と提出（ワード、エクセル、パワーポイント）
14コマ目	患者の権利と情報、情報倫理について説明することができる。 1. インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 2. 診療情報の開示と提供、レセプトの開示、医療訴訟 3. 情報倫理 4. インターネット社会における危険性 5. SNSを安全に使うための注意事項

2021年度
社会学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	中本 剛二								

科目の目標

人間集団における、また他者とのかわりにおける社会的な存在としての人間のあり方について理解する。特に看護という営みに深く関連するジェンダー、家族、医療、テクノロジーと社会について、社会学的な視点から見るができるようにする。

関連教科

論理的思考 心理学 文化人類学

時間外学習（予習・復習・課題）

講義の内容を普段の生活や具体的な出来事と関連させて、考えてみる。

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テスト	
出席および参加姿勢、講義内の課題	

テキスト

特になし（必要な資料は講義にて配布する）。

参考文献

講義中に適宜指示する。

参考URL

特記事項

配布するプリントは各自管理し、毎回準備。持参すること。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、授業方法や成績評価方法について変更を余儀なくされることがある。変更する際は、授業等を通じて受講者に周知する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

文化人類学、民俗学、社会学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	イントロダクション 社会学とは ・社会的なものの方について理解する。 ・社会的存在としての人間について理解する。
2コマ目	ジェンダーと家族の社会学 ・ジェンダーという概念について理解する。 ・男性/女性の社会における役割のあり方や、その妥当性や根拠について考える。 ・現代社会におけるジェンダーについて考える。
3コマ目	母性・出産の社会学 ・「母性」概念の変遷、および「母性」批判について理解する。 ・子どもの産み方、その介助のあり方や選択、子育ての担い手などについて歴史的、社会的側面から考える。
4コマ目	子供と家族の社会学 ・家族の多様性について理解する。 ・「子供」概念の誕生と変遷について理解する。 ・国際比較により、現代日本の子供と家族の現状について理解する。
5コマ目	医療と社会・文化 ・医療の社会・文化的側面について理解する。 ・社会統制としての医療の側面や医療化という概念について理解する。
6コマ目	医療テクノロジーと社会・家族 ・新しい生殖技術（NRT・ART）の登場と変遷について理解する。 ・新しい生殖技術が親子・家族関係に及ぼす影響について理解する。
7コマ目	まとめ ・これまで学んだことを確認し、具体的なテーマにおいて学んだことを生かして議論できるようにする。

2021年度

生命倫理

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	森本 誠一								

科目の目標

脳死は人の死でしょうか。だとしたら脳死になった人が出産することを私たちはどのように考えたらよいでしょう。また、おなかの中で寝返りを打つ胎児は生きていると言えるでしょうか。だとすれば中絶について私たちはどのように考えるべきなのでしょう。この授業では、現代の医療を取り巻く状況の中で生じてくる生命・医療倫理学上の諸問題について医療者としてどのように考えどのような態度をとるべきなのかを学修します。

関連教科

なし

時間外学習（予習・復習・課題）

予習内容：授業のテーマについて図書館やインターネットで調べてから授業に出席すること。日々新聞にも目を通し、授業のテーマと関連する記事をスクラップすること。(90分)

復習内容：授業後は講義ノートを整理するなどして、授業で学修したことが定着するようしっかり復習しましょう。また、授業中に出された課題や指示にしたがって調査しましょう。(90分)

課題：授業での指示に従って課題に取り組みましょう。

オフィスアワー

授業に関する相談・質問は、授業の前後に質問を受けつけます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業内課題（リフレクションシート）	
レポート課題（授業に関連する新聞記事等の調査・報告）	
総括試験	

テキスト

参考文献

参考文献については授業の中で適宜紹介します。

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大阪大学大学院理学研究科

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

生命倫理

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義 1	【患者の権利、インフォームド・コンセントに至るまでの背景】 まず、古典的な医の倫理とされるヒポクラテスの誓いから現代の生命・医療倫理が立ち上がってくるまでの流れを概観します。次に、生命・医療倫理学の成り立ちから出発し、医療倫理の4原則、インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス、セカンド・オピニオンなど、生命・医療倫理学上の基本的な概念を学修します。そのなかで、患者中心の医療とは何かを考えます。 【キーワード】 1. ヒポクラテスの誓い、2. ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言、3. 医療倫理の4原則、看護倫理の5原則、4. パターナリズム、5. インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス、セカンド・オピニオン、6. 患者中心の医療
講義 2	【生殖補助医療】 日本を含め多くの先進国で出生率が低迷するなか、生殖補助医療は日々進化し続けています。特に日本では、体外受精の件数が世界最多で42万件を超え、不妊の検査や治療を受けたことのある夫婦の割合は5.5組に1組に上ります（2015年）。私たちにとってますます身近になってきた生殖補助医療ですが、技術がもたらす恩恵の陰で考えるべき倫理的問題も少なくありません。今回の授業では、生殖補助技術が進化することで、私たちにどのような医療上の恩恵をもたらし、どのような倫理的影を落とすのか学修します。 【キーワード】 1. 晩婚化・晩産化、合計特殊出生率、2. 生殖補助医療、3. 人工授精、体外受精、顕微授精、4. 精子・卵子・受精卵の凍結・提供、5. 精子・卵子・受精卵の提供者のプライバシー、子どもの出自を知る権利、6. 減胎手術（減数手術）、7. 死後生殖
講義 3	【代理出産】 また、何らかの理由により妊娠・出産が困難な女性のために第三者の女性が妊娠・出産を引き受けることを代理出産と言います。どうしても自分たちの遺伝的つながりをもった子どもを欲しいという人たちにとって、代理出産はその思いをかなえてくれる現状ではほぼ唯一の手段です。ただ、代理出産には医学的にも、倫理的、法的、社会的にもさまざまな問題があることを専門家たちは指摘しています。今回の授業では、代理出産とそれが私たちに投げかける問題について学修します。 【キーワード】 1. 代理出産、代理懐胎、代理母、2. 商業的代理出産、3. ベビーM事件、4. 子の福祉、5. 家族の複雑化、6. 医療ツーリズム
講義 4	【選択的人工妊娠中絶】 胎児に何らかの障害がある（かもしれない）ということが、妊娠している女性にとって中絶を決断するきっかけとなることがあります。この決断をするまでの過程でパートナーや家族の意見が影響をおよぼすこともあれば、彼女たちを取り囲む社会の状況が影響することもあるでしょう。では、胎児に障害があるという理由で中絶を（決断）することには、何か倫理的問題があるのでしょうか。また、受精卵、胎児、母体などを検査して胎児に障害があるかどうかを調べることで、あるいはそうした技術を開発して世に出すことには何か倫理的問題があるのでしょうか。今回の授業では選択的人工妊娠中絶を中心に、生殖補助技術や中絶に関連する倫理学上の議論を学修します。 【キーワード】
講義 5	【人工妊娠中絶】 現在、日本で行われている人工妊娠中絶の根拠となっている母体保護法について要点を確認しながら、日本の中絶を取り巻く社会的状況について概観します。また、中絶に関する倫理学上の議論を学修します。 【キーワード】 1. 人工妊娠中絶、2. 母体保護法、3. カトリック、4. パーソン論
講義 6	【人生の最終段階における医療（終末期医療）】 今回の授業では、国内外の安楽死・尊厳死をめぐる歴史を概観した上で、安楽死・尊厳死についての倫理的議論を学修します。また、人生の最終段階（終末期）における医療での最終的セデーション（鎮静）がどのようなものなのかを確認し、その倫理的問題について学修します。 【キーワード】 1. 人生の最終段階における医療、終末期医療、2. 安楽死、尊厳死、自殺幇助、3. QOL、DOL、4. 名古屋安楽死事件、東海大学病院安楽死事件、射水市民病院安楽死事件、5. セデーション（鎮静）、6. 医療ツーリズム、7. トータルペイン

講義 7	【脳死・臓器移植】 日本では1997年に臓器の移植に関する法律（通称、臓器移植法）が成立・施行されてから2009年、10年の改正・施行を経て現在に至るまで、500件以上の臓器移植が脳死下で行われています。今回の授業では脳死がどのようなものなのかを遷延性意識障害（植物状態）との比較で確認した上で、臓器移植法の要点に触れながら脳死者からの臓器移植についてどのような倫理学的問題が生じるのかを学修します。 【キーワード】 1. 脳死、植物状態、遷延性意識障害、2. 臓器の移植に関する法律、3. オプト・イン、オプト・アウト、4. 親族への優先提供、5. 未成年者からの臓器移植
-------------	---

2021年度

家族論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	藤野 崇								

科目の目標

家族の関する基本的知識・理論を学ぶ。この知識を通して、「今ともに生きている家族、将来自分が築いていく家族のことを考える力を身につける」「患者本人とともに、身体的・精神的そしてスピリチュアルにも揺らぐ体験をする家族を援助する力を身につける」ことが目標である。

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

特になし

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テストによる評価	

テキスト

系統看護学講座 別巻 家族看護学
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

基本的内容は教科書に準じていますが、パワーポイントを中心に講義形式で行う

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学医学部 看護部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

家族支援専門看護師

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	家族とは 家族看護とは
2コマ目	家族発達理論 夫婦関係論
3コマ目	家族システム理論 家族関係論
4コマ目	親子関係論 家族と社会
5コマ目	介護家族について
6コマ目	役割理論 セルフケア理論
7コマ目	危機・ストレス対処理論

2021年度

自然環境論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山本 勝彦								

科目の目標

世界と日本の環境問題の現状を概観するとともに、人間の健康や生態系への影響のメカニズムを理解する。

関連教科

特になし。

時間外学習（予習・復習・課題）

環境問題に関する新聞記事にはよく目を通してください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講テスト	

テキスト

参考文献

参考URL

特記事項

テストはちゃんと受講しておれば解けるような問題にします。真面目に受講してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大阪府立環境農林水産総合研究所

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

環境工学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	環境問題の考え方 ・地球の歴史 - 原始地球環境と生命 ・地球環境の生成と変遷 - 光合成と地球大気の生成 - 炭素循環 ・限りある資源 - 化石燃料、「砂」 ・有害化学物質、重金属、プラスチック問題 ・「持続可能な発展」とは
2	地球温暖化について ・地球環境問題の進行 「気候危機」 - 温室効果ガス ・地球温暖化に対する国際的な取り組み - IPCC報告 - パリ協定 - 各国の動向 ・低炭素社会めざして
3	産業公害 ・日本の産業公害の歴史 - 産業公害の起こり - 近代産業と公害 - 大阪の大気汚染 ・「典型七公害」 ・公害対策の歴史 - 公害裁判 「疫学的因果関係」とは
4	リスクと環境基準 ・毒性について - 一般毒性と特殊毒性 ・リスク評価 - 毒性の予測、評価、許容量の判定 ・環境基準 - 設定のしかた - モニタリング
5	重金属について ・ヒトと金属 - 必須性と毒性 - 金属毒性のメカニズム ・水銀、カドミウム、鉛等 - 被害の歴史と現在の対策 ・脱重金属の取り組み
6	大気汚染について ・大気汚染項目 - 二酸化いおう、二酸化窒素、光化学オキシダント、PM2.5 ・大気汚染の現状、対策 ・高濃度メカニズム - 気象条件 大阪湾陸海風 - 反応性大気汚染 ・東アジア規模の大気汚染

7	有害化学物質汚染 ・暮らしの中の化学物質 ・有害化学物質被害 ・ヒトへの影響 - 胎児 - 環境ホルモン ・ダイオキシン ・プラスチック問題 - ごみ問題と有害物質取り込み ・地球規模の有害化学物質問題 - 国際的取り組み 科学技術と環境問題 ・環境、人間優先の考え方 - COVID-19と「新しい日常」 ・経済発展と環境問題
---	---

2021年度

解剖生理学1

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	長野 護、松尾 拓哉								

科目の目標

人体の基本構造を理解し、各臓器の名称、位置、構造およびその働きを説明できる。また、各器官系の構造と生理的役割およびその調節機構を学習し、器官系間の相互作用について説明できる。

関連教科

解剖生理学 2

時間外学習（予習・復習・課題）

講義を受ける前には必ず教科書を読み、予習を行った上で授業に臨んでください。講義後は、受講ノート、板書、配付資料およびテキストなどをもとに「人体の構造と機能ノート」を作成して復習して下さい。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験（長野）	
終講試験（松尾担当）	

テキスト

系統看護学講座専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能1
医学書院 著）坂井建雄、岡田隆夫

参考文献

医療を学ぶ学生のための解剖の手引き ーモチベーションを上げる解剖実習ー
時潮社 2016年3月25日出版 著）松尾拓哉、平塚儒子
解剖学実習ハンドブック
時潮社 2020年3月15日出版 著）松尾拓哉

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

長野 護
近畿大学医学部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

解剖学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

松尾 拓哉
近畿大学医学部 医学部教育センター 医学基盤教育部門

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

解剖学、発生学、先天異常学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	消化管の基本的組織構造について述べることができる。 消化器系の構成について説明することができる。 口から肛門に至るまでの消化管の構成要素を順番に列記できる。 消化管に付属する腺を挙げることができる。
2	口腔・咽頭・食道の構造と機能について述べることができる。 咀嚼・嚥下について説明することができる。
3	胃・小腸・大腸の構造と機能について説明することができる。 食道、胃、小腸、大腸の粘膜構造について機能と関連づけて説明することができる。
4	膵臓の構造と機能について述べることができる。 肝臓と胆嚢の構造と機能について説明することができる。 腹膜、間膜、腹膜後器官について述べることができる。
5	腎臓の構造と機能について理解し、尿生成のメカニズムについて説明できる。
6	排尿路の構造と機能について理解し、尿の貯蔵と排尿について述べることができる。
7	体液の調節について述べることができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	皮膚の構造機能について説明できる。 非特異的防御機構について説明できる。
9	特異的防御機構—免疫について説明できる。 生体防御の関連臓器について説明できる。（リンパ節、粘液付属リンパ組織と扁桃、胸腺、脾臓） 体温とその調節について説明できる。
10	ヒトの骨格について説明することができる。 骨の連結について説明することができる。 ヒトの骨格筋について説明することができる。
11	体幹の骨格と筋について説明することができる。 上肢の骨格と筋について説明することができる。
12	下肢の骨格と筋について説明することができる。 頭頸部の骨格と筋について説明することができる。
13	骨格筋の収縮機構について説明することができる。 骨格筋収縮の種類と特性について説明することができる。 不随意筋の収縮の特徴について説明することができる。
14	男性および女性の生殖器系について説明できる。（担当：松尾） 1）男性生殖器 2）精子形成 3）女性生殖器 4）性周期とホルモン 5）受胎調節

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
15	組織標本の観察を行い、各組織の特徴を概説できる。[組織学実習]（担当：松尾） 1）消化器系、呼吸器系、循環器系、内分泌系、生殖器系、神経系・感覚器系、運動器系 2）ヒトの発生と先天異常
16	ヒトの発生および先天異常について説明できる。（担当：松尾） 1）生殖細胞の形成 2）受精から着床まで 3）胎生初期から胚子期 4）胚子期から胎児期 5）誕生 6）次世代への影響：先天異常（1．染色体異常 2．分子遺伝病 3．胎生期の環境）
17	成長と老化について説明できる。（担当：松尾） 小児期の成長について説明できる。 1）成長に影響を与える因子 2）身長と体重の変化 3）思春期における性成熟 老化について説明できる 4）老化のメカニズム 5）各器官系・組織における老化現象
18・19・20	人体解剖学実習

2021年度

解剖生理学2

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	河尾 直之、高藤 義正、岡田 清孝、上嶋 繁、水上 優哉								

科目の目標

解剖生理学 2 では、血液系、循環器系および呼吸器系の構造・機能を含む生命を維持するための植物機能に関して理解する。

関連教科

解剖生理学 1

時間外学習（予習・復習・課題）

教科書を良く読み、解剖学、生理学の知識を身につけて下さい。

オフィスアワー

月曜日16～17時

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎 1 人体の構造と機能 1 解剖生理学

医学書院

参考文献

参考URL

<http://life-science-edu.net/>

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

河尾 直之
近畿大学医学部 再生機能医学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

高藤 義正
近畿大学医学部 再生機能医学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

岡田 清孝
近畿大学医学部教育センター医学基盤教育部門

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学 化学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

上嶋 繁
近畿大学 農学部

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学、病態生理学

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

水上 優哉
近畿大学医学部 再生機能医学教室

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

河尾 直之
近畿大学病院 再生機能医学

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	循環－1 1. 循環器系全体について説明できる。 2. 心臓の構造とポンプ機能について説明できる。 3. 心臓の刺激伝導系について説明できる。
2コマ目	循環－2 4. 心周期について説明できる。 5. 心拍数・心拍出量について説明できる。 6. 心電図について説明できる。 7. 心音について説明できる。
3コマ目	循環－3 8. 動脈系・静脈系について説明できる。 9. 各血管の構造と機能について説明できる。 10. 血圧測定法の原理について説明できる。
4コマ目	循環－4 11. 血圧の調節機構について説明できる。 12. 局所循環について説明できる。 13. 循環器系の異常について説明できる。
5コマ目	呼吸－1 1. 呼吸器系の構造を説明できる。 2. 外呼吸と内呼吸を説明できる。 3. 呼吸の調節機構を説明できる。 4. 胸郭の呼吸運動を説明できる。 5. 肺気量の種類とその容量および生理的意義を説明できる。
6コマ目	呼吸－2 6. 肺胞気と血液でのガス交換機構を説明できる。 7. 血液の酸塩基平衡と呼吸とのかかわりを説明できる。 8. 呼吸型の種類とその特徴を説明できる。
7コマ目	血液－1 1. 造血系について説明できる。 2. 赤血球の構造と機能について説明できる。 3. 貧血について説明できる。 4. 白血球の種類と白血球による生体防御機能について説明できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	血液－2 5. 止血機構について説明できる。 6. 血小板について説明できる。 7. 血液凝固・線溶系について説明できる。 8. 血液型について説明できる。 9. 血漿蛋白の機能について説明できる。
------	--

2021年度

解剖生理学3

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	村田 哲、千葉 惇								

科目の目標

神経系，内分泌系の解剖と生理を理解できる。

関連教科

病理学 生化学 薬理学 内科学 眼科学 耳鼻咽喉科学 整形外科学 精神神経科学 脳神経内科学 脳神経外科学

時間外学習（予習・復習・課題）

予習 1：復習 2
メールや医学部の研究室への来訪による質問を歓迎する。
プリント内容を教科書や参考書などで確認しながら勉強すること

オフィスアワー

放課後 16時半以降

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎1 人体の構造と機能 1 解剖生理学
医学書院

参考文献

カラー図解 人体の正常構造と機能
日本医事新報社

参考URL

脳科学辞典 <https://bsd.neuroinf.jp/wiki/メインページ>

特記事項

生理解剖学は上記のように様々な科目との関わりがあり，臨床科目の基礎ともなる。正常な機能の理解がなければ，疾患の理解もできない。プリントを配布するが，該当する項目は教科書や参考書をきちんと読んで理解すること。専門用語はきちんと記憶すること。多くの先輩が，生理解剖をきちんと勉強すればよかったと臨床科目を勉強するときコメントしている。後悔しないようにきちんと学習をしてほしい。理解が難しければ質問にすること。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

村田 哲
近畿大学医学部 生理学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

千葉 惇
近畿大学医学部 生理学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

生理学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	自律神経系 担当：千葉 一般目標：自律神経による調節に関与する神経系の構造と機能について理解する 1. 自律神経の構造について説明できる 2. 自律神経の機能について説明できる 3. 自律神経の神経伝達物質と受容について説明できる
2	内分泌系－1 担当：千葉 一般目標：ホメオスタシスに重要な役割を果たす内分泌腺と細胞の構造と機能について理解する 1. 内分泌腺とホルモンの特徴について説明できる 2. 視床下部－下垂体系、甲状腺、副甲状腺、膵臓のホルモンの構造と機能について説明できる
3	内分泌腺－2 担当：千葉 1. 副腎、性腺のホルモンの構造と機能について説明できる 2. ホルモン分泌の調節が説明できる
4	神経系の構造と機能 担当：千葉 一般目標：神経系の基本的な構成と神経細胞の機能について理解する。 1. 中枢神経と末梢神経の概観を説明できる。 2. 神経細胞における活動電位の発生機序を説明できる。 3. 神経細胞における興奮の伝導機序を説明できる。 4. シナプス伝達のしくみを説明できる。
5	中枢神経系と末梢神経系 担当：千葉 行動目標：中枢神経系の区分とその入出力様式について理解する。 1. 脊髄の構造と機能について説明できる。 2. 脊髄神経の構造と機能について説明できる。 3. 脳幹の構造と機能について説明できる。 4. 脳神経の構造と機能について説明できる。 5. 間脳の構造と機能について説明できる。 6. 中枢神経系の外部環境について説明できる。
6	神経による運動の制御 担当：村田 一般目標：神経系における運動制御機能について理解する。 1. 脊髄反射について説明できる。 2. 脊髄の下行性伝導路について説明できる。 3. 大脳皮質の機能局在と運動野の機能について説明できる。 4. 大脳基底核の構造と機能について説明できる。 5. 小脳の構造と機能について説明できる。 6. 運動系の障害について説明できる。
7	感覚機能と上行伝導路 体性感覚・痛覚・聴覚・前庭覚 担当：村田 一般目標：感覚の伝導路 受容器の解剖と機能 体性感覚・視覚の解剖・機能について理解する。 1. 感覚の種類について説明できる。 2. 体性感覚の受容器、伝導路の解剖について説明できる。 3. 体性感覚の性質や機能、その障害について説明できる。 4. 聴覚・前庭覚の受容器、伝導路の解剖について説明できる。 5. 聴覚・前庭覚の性質や機能、その障害について説明できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	視覚・味覚・嗅覚 担当：村田 一般目標：視覚・味覚・嗅覚の受容器・伝導路について理解する。 1. 視覚の受容器、伝導路の解剖について説明できる。 2. 視覚の性質や機能やその障害について説明できる。 3. 味覚・嗅覚の受容器、伝導路の解剖について説明できる。 4. 味覚・嗅覚の性質や機能について説明できる。
9	脳の機能局在・高次機能 担当：村田 一般目標：大脳の機能局在と高次機能について理解する 1. 大脳皮質の機能局在や左右差について説明できる 2. 連合野の機能と破壊によって起こる高次機能障害について説明できる 3. 記憶とその障害について説明できる 4. 言語機能と失語について説明できる 5. 睡眠、脳死、植物状態について説明できる

2021年度

細胞生物学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	岡田 斉、松尾 拓哉								

科目の目標

人体を構成する細胞の構造・機能を知り、生体内における様々な反応について遺伝情報をふまえて理解する。

関連教科

解剖生理学
代謝栄養学

時間外学習（予習・復習・課題）

- ・毎日の授業を大切にし、復習時には単に暗記するだけでなく、自分で考え、理解することが重要です。
- ・予習は教科書のわからない単語を自分で調べましょう。

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験の成績、課題レポート等の提出物と授業への取り組みで総合的に判断します。	

テキスト

系統看護学講座 基礎 生物学
医学書院

系統看護学講座 専門基礎 生化学
医学書院

参考文献

医療を学ぶ学生のための解剖の手引き ―モチベーションを上げる解剖実習―
時潮社 2016年3月25日出版 著）松尾拓哉、平塚儒子

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 1
医学書院

参考URL

特記事項

- ・授業の前にノートを開き前回の内容を少し見るだけで授業への意欲、理解が相当違います。心がけて下さい。
- ・ノートは板書事項を写すだけでなく、授業の説明をよく聞いて下さい。
- ・教師の説明のみならず、他者の発表についてもよく聞いて理解に努めて下さい。
- ・生化学の講義は教科書に従って行います。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

岡田 斉
近畿大学医学部 生化学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

生化学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

松尾 拓哉
近畿大学医学部 医学部教育センター 医学基盤教育部門

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

解剖学・発生学・先天異常学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	生物学からわかること 1) 看護・医学の基礎科学としての生物学について興味を持つ。 2) 体表から見た人体の構造について興味を持つ。 器官系とからだ 1) 各器官系の働きについて説明できる。 2) 人体内部の腔所について説明できる。 3) 体表から見た人体の構造について概説できる。
2コマ目	細胞の分化とからだのなりたち 1) 上皮組織・腺組織について説明できる。 2) 結合組織について説明できる。 3) 筋組織について説明できる。 4) 軟骨組織・骨組織について説明できる。 5) 神経組織について説明できる
3コマ目	組織切片画像の観察を行い各組織の特徴を概説できる。（顕微鏡 演習・実習） 1) 上皮組織・腺組織 2) 結合組織 3) 筋組織 4) 軟骨組織・骨組織 5) 神経組織
4コマ目	細胞の構成とからだ 1) 細胞の構造について説明できる。 2) 細胞小器官について説明できる。 3) 細胞分裂（体細胞分裂、減数分裂）について説明できる。
5コマ目	ヒトのライフサイクルと遺伝 1) メンデルの法則について説明できる。 2) 遺伝の法則と染色体、性染色体と性の決定について説明できる。 3) 家系図の読み・書きができる。 4) 近親婚について説明ができる。
6コマ目	遺伝様式と遺伝病 1 1. 常染色体遺伝 1) 常染色体顕性遺伝について説明できる。 2) 常染色体潜性遺伝について説明できる。 2. 伴性遺伝 1) 伴性遺伝について説明できる。 2) X連鎖顕性遺伝について説明できる。 3) X連鎖潜性遺伝について説明できる。
7コマ目	遺伝様式と遺伝病 2 1) X染色体の遺伝子量補正の機能（ライオン仮説）に興味を持つ。 2) Y連鎖遺伝病について説明できる。 集団遺伝学 1) ハーディ・ワインベルグの法則について興味を持つ。 2) 集団遺伝学について興味を持つ。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	生化学を学ぶための基礎知識 1) 生体を構成する原子と分子、有機化合物に興味を持つ。 糖質と脂質 2) 主な糖質の構造と機能を理解する。 3) 主な脂質の構造と機能を理解する。 4) 脂質を運搬するリポタンパク質の役割について説明できる。
9コマ目	タンパク質と核酸 1) タンパク質の構造と種類について興味を持つ。 2) タンパク質を構成するアミノ酸について理解する。 3) 核酸の構造と機能を説明できる。
10コマ目	水と無機質 1) 体液の構成について理解する。 2) 生体における水分量の調節について説明できる。 3) ミネラルとその機能について理解する。 血液と尿 1) 血液の成分と働きについて説明できる。 2) 血液の凝固・線溶系について説明できる。 3) 造血・造血因子に興味を持つ。
11コマ目	ホルモンと生理活性物質 1) 内分泌器官の構造的特徴を理解する。 2) ホルモンの化学的性質と受容体について説明できる。 3) 主なホルモンの産生部位と調節機序（フィードバック機構、拮抗ホルモン、調節ホルモン）を理解する。 4) 主なホルモンの正常機能を十分理解し、分泌異常症について興味を持つ。
12コマ目	代謝のあらましと酵素 1) 代謝とは何か説明できる（同化作用と異化作用を理解する）。 2) ヒト疾患・臨床検査・診断に関連する主要な酵素について理解する。 ビタミン・補酵素と糖質代謝 1) 主なビタミンの機能と欠乏症を説明できる。 2) グルコースの吸収と代謝を理解する。
13コマ目	脂質代謝とタンパク質代謝 1) 脂質の吸収と代謝の概要と脂肪酸・コレステロールの生合成過程を理解する。 2) アミノ酸の代謝の概要とアンモニアの排泄機序について理解する。 核酸代謝とポルフィリン代謝 1) 核酸代謝と高尿酸血症、痛風について理解する。 2) 直接・間接ビリルビンの代謝と黄疸の発症機序と病態を理解する。
14コマ目	代謝の異常 1) 糖尿病について理解する。 2) 脂質代謝異常症について理解する。 3) 骨粗鬆症について理解する。 4) メタボリックシンドロームの病態に興味を持つ。 遺伝情報と先天性代謝異常 1) 遺伝情報の制御機構について興味を持つ。 2) 主な先天性代謝異常症について興味を持つ。

2021年度

代謝栄養学1

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	竹森 久美子								

科目の目標

栄養素の種類とそのはたらきを第3者に説明できる。

関連教科

代謝栄養学2、生化学

時間外学習（予習・復習・課題）

学習内容を記述できるように、復習する

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席	
試験	

テキスト

系統看護学講座専門基礎 人体の構造と機能3 栄養学
医学書院

参考文献

八訂 食品成分表 2021
女子栄養大学出版部

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

竹森 久美子

近畿大学農学部 食品栄養学科

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

基礎栄養学、栄養生理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	栄養素の種類とはたらき 糖質
2	栄養素の種類とはたらき 脂質
3	栄養素の種類とはたらき タンパク質
4	栄養素の種類とはたらき ビタミン・ミネラル
5	栄養素の消化・吸収・体内運搬

2021年度

代謝栄養学2

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	梶原 克美								

科目の目標

栄養素の種類とはたらき、栄養と人体の機能とのかかわりを理解することができる。

関連教科

代謝栄養学 I

時間外学習（予習・復習・課題）

看護師として必要とされる栄養管理の視点を講義内容に織り込む

オフィスアワー

月～金 9～17時 要アポイント。栄養部内線 2 3 3 0

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講テストによる総合評価	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能 3
医学書院

参考文献

新しい臨床栄養管理 第3版
医歯薬出版株式会社

参考URL

特になし。

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

梶原 克美

近畿大学病院 栄養部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

栄養学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義 1	栄養における看護の役割とベッドサイドでの栄養状態の評価 1. 栄養と栄養素の違いについて述べることができる。 2. 人間栄養学のとらえ方について説明できる。 3. 医療における栄養の役割について述べることができる。 4. 食事における看護師の役割が理解できる。 5. チーム医療・地域医療における栄養ケアを述べることができる。
講義 2	食事と食品 1. 日本人の食事摂取基準が理解できる。 2. 食品と含まれる栄養素について説明できる。 3. 食品群とその分類法について述べることができる。 4. 食品の調理法の特徴が理解できる。
講義 3	栄養ケア・マネジメント 1. 栄養スクリーニングと栄養アセスメントが理解できる 2. 栄養ケア計画を立案できる。 3. 栄養ケアのモニタリングができる。 4. 栄養ケア・マネジメントの評価ができる。
講義 4	栄養状態の評価・判定 1. 栄養アセスメントの目的が理解できる。 2. 栄養状態の判定基準と栄養評価の臨床検査値が理解できる。 3. 食事調査の方法が説明できる。
講義 5	ライフステージと栄養について～乳児期から妊娠期までの栄養について 1. 乳幼児期の栄養補給を栄養方法の違いにより述べることができる。 2. 学童期の生活状況と栄養の関係と思春期の栄養にかかわる問題について述べることができる。 3. 妊娠期や授乳期における栄養補給について述べることができる。
講義 6	ライフステージと栄養について～更年期から高齢期までの栄養について 1. 更年期の心身の変化と栄養ケア・マネージメントについて説明できる。 2. 高齢期の消化・吸収機能の変化と、低栄養状態に伴う問題について説明できる。
講義 7	臨床栄養について 1. 病院食の意義と種類について述べることができる。 2. 栄養補給方法について述べることができる。 3. 循環器疾患患者の食事療法について述べることができる。 4. 消化器疾患患者の食事療法について述べることができる。 5. 栄養・代謝疾患患者の食事療法について述べることができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

講義 8	臨床栄養 1. 腎臓病疾患患者の食事療法について述べることができる。 2. 血液疾患患者の食事療法について述べることができる。 3. 食物アレルギー疾患患者の食事療法について述べることができる。 4. 骨粗鬆症患者の食事療法について述べることができる。 5. 小児疾患患者の食事療法について述べることができる。
講義 9	臨床栄養 1. 術前術後患者の食事療法について述べることができる。 2. がんの栄養管理に関して述べることができる。 3. 食生活の変遷と現在の栄養問題について述べることができる。 4. 食の安全性と食品表示が理解できる。

2022年度

研究の技法

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	佐藤 栄晃								

科目の目標

- 1. 看護における研究の意義や科学的に研究するための方法，アカデミックライティングの基礎を学ぶ
- 2. 検討したいテーマを決め，研究計画を立案し，研究計画を作成する

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

配布したレジュメをよく読み，語句の定義や研究を行う基本的な流れをよく理解しておいてください。
また，学術論文の構成や書き方もよく理解しておいてください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テスト	
出席・態度・研究計画書	

テキスト

看護における研究
日本看護協会出版会 著）南 裕子

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）
関西大学心理学研究科 博士課程後期課程満退

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
社会心理学、感情心理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第1回	研究とは何か？：研究の役割・研究の種類・研究計画立案から発表まで（研究計画書，論文，学会発表）
第2回	研究はどのように行うか？：実験，調査，独立変数と従属変数，研究倫理
第3回	研究計画書の基礎（1）：「目的」「仮説」「方法」の書き方
第4回	研究計画書の基礎（2）：「結果」「考察」「引用文献」の書き方
第5回	グループワーク：研究テーマの設定
第6回	グループワーク：研究計画書の作成
第7回	グループワーク：研究計画発表・研究計画書の提出

2021年度

臨床薬理学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田淵 正樹								

科目の目標

受講者は、この授業を履修することによって、薬理学の基礎知識を理解し、薬物治療の基本概念について説明することができるようになります。

関連教科

解剖生理学，細胞生物学，臨床薬理学各論

時間外学習（予習・復習・課題）

各講義で提示された課題に取り組むこと。身近な医薬品について興味をもって，その成分，薬理作用について調べること。

オフィスアワー

授業の前後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復
医学書院 著）吉岡充弘，泉剛，井関健，横式尚司，菅

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

田淵 正樹

園田学園女子大学

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

薬理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	薬理学とは何か？ 看護師が薬理学を学ぶ意義，薬と法律について学ぶ。
2	薬物の作用機序，薬物受容体，酵素阻害薬について理解する。
3	薬物の投与経路，血中濃度曲線について理解する。
4	治療域と中毒域について理解する。 薬物の有害作用（副作用）について理解する。
5	薬物動態について理解する。 薬効の個人差に影響する因子について理解する。
6	薬の併用，薬物相互作用について理解する。
7	薬物耐性，薬物依存について理解する。 これまでの学習についてまとめる。

2021年度

臨床薬理学各論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田淵 正樹								

科目の目標

受講者は、この授業を履修することによって、各種疾患の治療に用いられる医薬品の作用機序、薬理作用と有害作用（副作用）の関係について説明することができるようになります。

関連教科

臨床薬理学総論、細胞生物学

時間外学習（予習・復習・課題）

各講義で提示された課題に取り組むこと。身近な医薬品について興味をもって、その成分、薬理作用について調べること。

オフィスアワー

授業の前後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3] 薬理学（第14版）
医学書院 著）吉岡充弘、泉剛、井関健、横式尚司、菅原満

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

田淵 正樹

園田学園女子大学

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

薬理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	末梢での神経活動に作用する薬物（1） 1. 交感神経系作用薬
2	末梢での神経活動に作用する薬物（2） 1. 副交感神経系作用薬
3	中枢神経系に作用する薬物（1） 1. 抗不安薬・催眠薬 2. 抗精神病薬 3. 抗うつ薬
4	中枢神経系に作用する薬物（2） 1. 抗躁薬 2. パーキンソン症候群治療薬 3. 抗てんかん薬 4. 抗認知症薬 5. 麻薬性鎮痛薬
5	心臓血管系に作用する薬物（1） 1. 抗高血圧薬 2. 抗狭心症薬 3. 心不全治療薬
6	心臓血管系に作用する薬物（2） 1. 利尿薬 2. 脂質異常症治療薬
7	抗アレルギー薬・抗炎症薬 1. 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2. 非ステロイド性抗炎症薬 3. 副腎皮質ステロイド

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 1. 気管支喘息治療薬 2. 鎮咳薬・去痰薬
9	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 1. 消化性潰瘍治療薬 2. ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌
10	物質代謝に作用する薬物（1） 1. 糖尿病 2. 血糖値の調節 3. 糖尿病治療薬
11	物質代謝に作用する薬物（2） 1. 血中カルシウム濃度の調節 2. 骨粗鬆症治療薬
12	抗感染症薬 1. 抗菌薬 2. 抗ウイルス薬
13	抗がん薬 1. がんの種類，特徴，統計 2. がんの化学療法，副作用 2. 抗がん薬各論
14	総まとめ（演習）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
15	総まとめ（終講試験）

2021年度

病理学総論 I

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	萩山 満、米重 あづさ								

科目の目標

看護における病理学の位置づけを理解し、病気の原因や発症・進展、患者への影響など病気の本質について学ぶ。

関連教科

特に無し

時間外学習（予習・復習・課題）

特に無し

オフィスアワー

月～土 10:00-12:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末試験	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 1 病理学
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

萩山 満
近畿大学医学部 病理学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

病理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

米重 あづさ
近畿大学医学部 病理学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

病理学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	病理学とは 1. 病気の原因について述べることができる 2. 公害病、医原病、職業がんの例を挙げて説明できる
2	細胞・組織の障害と修復 1. 細胞の損傷と適応現象について述べることができる 2. 細胞の死の種類を挙げて説明できる
3	循環障害① 1. 充血、うっ血、虚血の違いについて述べることができる 2. 浮腫の原因について述べることができる 3. 血栓症と塞栓症について述べることができる
4	循環障害② 1. 梗塞とは何か説明できる 2. 側副循環による障害について述べることができる 3. 高血圧症の分類について述べることができる
5	炎症① 1. 炎症について述べることができる 2. 炎症に関わる細胞とその特徴について述べることができる
6	炎症② 1. 炎症の種類について述べることができる 2. 創傷治癒について述べることができる
7	先天異常と遺伝子異常 1. 先天異常について述べることができる 2. 遺伝子と染色体について述べることができる 3. 遺伝子異常と染色体異常について述べることができる 4. 先天異常、遺伝子異常の診断と治療法について述べることができる

2021年度

病理学総論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	井上 敬夫								

科目の目標

関連教科
特になし 特

時間外学習（予習・復習・課題）
特になし 特

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

系統看護学講座 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

井上 敬夫
近畿大学医学部 病理学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

病理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	免疫 1. 免疫に関与する細胞について述べることができる 2. 免疫の機構について述べることができる
2コマ目	アレルギー 1. アレルギーの分類について述べるができる 2. 代表的なアレルギーとその機序について述べるができる
3コマ目	感染症 1. 感染症を起こす病原体について述べるができる 2. 感染症の治療と予防について述べるができる
4コマ目	代謝障害① 1. 生活習慣病とは何か述べるができる 2. 脂質代謝障害の例を挙げて述べるができる 3. タンパク質代謝障害の例を挙げて説明できる
5コマ目	代謝障害② 1. 糖尿病の分類と合併症について述べるができる 2. その他の代謝障害について述べるができる
6コマ目	腫瘍 1 1. 腫瘍の定義と分類について述べるができる 2. 腫瘍の発生機序について述べるができる
7コマ目	腫瘍 2 1. 腫瘍の転移について述べるができる 2. 腫瘍の進行度について述べるができる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	腫瘍3 1. 腫瘍の診断方法と治療方法について述べることができる 2. 腫瘍の統計について述べることができる
9コマ目	老化と死 1. 加齢に伴う変化について述べることができる 2. 個体の死について述べることができる

2021年度

循環器系内科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	栗田 隆志、中澤 学、上野 雅史								

科目の目標

循環器一般の基礎的知識の獲得

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

特になし

オフィスアワー

月～金 9時から17時

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テスト＋出席点	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学3 循環器
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

中澤 学

近畿大学医学部 内科学教室（循環器内科部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

循環器内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

栗田 隆志

近畿大学医学部 内科学教室（循環器内科部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

循環器内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

上野 雅史

近畿大学医学部 内科学教室（循環器内科部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

循環器内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	心臓の解剖と生理① 1. 心臓の大まかな構造（心房、心室、4つの弁など）を理解する。 2. 体循環と肺循環、弁の機能と開閉のタイミングなどを理解する。 3. 心臓の機能と心音の関係を理解する。
2コマ目	心臓の解剖と生理② 1. 心臓の血管系（冠動脈と冠静脈）を理解する 2. 心臓の電氣的興奮と刺激伝導系を理解する。 3. 心臓の電氣的興奮と心電図との関連を理解する。
3コマ目	心不全・冠動脈疾患 1. 心不全を右心不全と左心不全にわけて説明できる 2. 心不全の内科的治療を簡単に説明できる 3. 冠動脈疾患（虚血性心疾患）の種類を説明できる 4. 心筋梗塞と狭心症の違いを説明する 5. 冠動脈疾患の薬物療法について説明できる 6. 冠動脈疾患に対する経皮的動脈形成術について適応と合併症、その後の手術適応について説明する
4コマ目	不整脈と心電図異常、その他 1. 不整脈の種類（期外収縮、頻脈。徐脈）を理解する。 2. 不整脈の心電図を理解する。 3. 不整脈の症状を理解する。 4. 虚血性心疾患の心電図変化を理解する。 5. 心不全の病態と症状の復習
5コマ目	高血圧・心筋症・弁膜症・心膜疾患・肺血管疾患 1. 高血圧の病態と治療を理解できる 2. 心筋症の種類と病態について理解する 3. 各種心臓弁膜症についてその病態と治療を理解する 4. 心膜疾患・感染性心膜炎について理解する 5. 肺血管疾患について理解する

2021年度

循環器系外科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	金田 敏夫								

科目の目標

正常体循環、肺循環について理解する。心臓手術の補助手段について理解する。
代表的な先天性心疾患、後天性心疾患、大動脈疾患、末梢血管疾患について理解する。
人工心肺を用いた体外循環法を理解し、心臓手術との関係を学ぶ。

関連教科

循環器系内科、小児科

時間外学習（予習・復習・課題）

教科書や配布されるプリント等を用いて、必ず復習をしておいて下さい。

オフィスアワー

木曜日 10:00～16:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

系統看護学講座 専門分野II 循環器 成人看護学3
医学書院 著）松田直樹 ほか

参考文献

すべてがわかる循環器
照林社 著）三宅良彦 監修

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

金田 敏夫

近畿大学医学部 心臓血管外科教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

心臓血管外科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	正常な体循環と肺循環 心臓手術概論 先天性心疾患に対する手術1 人工心肺を用いた体外循環法 先天性心疾患1
2	先天性心疾患に対する手術2 後天性心疾患1（虚血性心疾患）
3	後天性心疾患2（弁膜症） 大動脈疾患および末梢血管疾患

2021年度

呼吸器系

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	御勢 久也、綿谷 奈々瀬、白波瀬 賢、吉川 和也								

科目の目標

呼吸器系疾患の知識を習得する

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

特になし

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学2 呼吸器
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

御勢 久也

近畿大学病院 内科学教室（呼吸器・アレルギー内科部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

呼吸器内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

綿谷 奈々瀬

近畿大学病院 内科学教室（呼吸器・アレルギー内科部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

呼吸器内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

白波瀬 賢

近畿大学病院 内科学教室（呼吸器・アレルギー内科部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

呼吸器内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

吉川 和也

近畿大学病院 内科学教室（呼吸器・アレルギー内科部門）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

呼吸器内科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 肺の基本的解剖と生理について説明できる 2. 呼吸器疾患の症状と病態について説明できる 3. 呼吸器疾患の診察法について述べることができる 4. 呼吸器疾患で用いられる検査について簡単に説明することができる
2コマ目	1. 呼吸器機能検査について理解している 2. 動脈血ガス分析について説明できる 3. 主な呼吸器疾患を列挙し簡単に説明することができる 4. 慢性閉塞性肺疾患について理解し説明できる
3コマ目	1. 肺腫瘍について説明できる 2. 気管支喘息の病態を理解し、治療法、看護上のポイントを説明することができる 3. その他の呼吸器疾患を列挙し、簡単に説明することができる 4. 各疾患に共通する治療、処置について理解し簡単に説明することができる 5. 手術療法について簡単に理解している 6. 胸腔ドレナージについて理解し、簡単に説明することができる
4コマ目	1. かぜ症候群、気管支炎、肺炎について理解し説明ができる 2. 肺結核の症状、病態について理解している 3. 肺結核の診断、治療について説明することができる 4. 抗結核薬について簡単に説明することができる 5. 間質性肺炎について理解し説明ができる

2021年度

血液・リンパ・免疫

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	藤井 晶、赤澤 宗輝、芦田 千聖、藤本 昂								

科目の目標

血液学に関して学習する。
免疫学に関して学習する。

関連教科
特になし

時間外学習（予習・復習・課題）
なし

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験を実施する	

テキスト
系統看護学講座 専門Ⅱ成人看護学4 血液・造血器

参考文献

系統看護学講座 専門Ⅱ成人看護学11 アレルギー・膠原病・感染症

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

藤井 晶

近畿大学病院 内科学教室（血液・膠原病内科）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

血液・膠原病内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

赤澤 宗輝

近畿大学医学部 内科学教室（血液・膠原病内科）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

血液・膠原病内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

芦田 千聖

近畿大学医学部 内科学教室（血液・膠原病内科）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

血液・膠原病内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	各血球の分化・成熟過程について述べることができる。 リンパ節腫大、出血傾向、貧血症状について述べることができる。 免疫不全状態での感染症について述べることができる。 検査方法と診察の手順とその看護について述べることができる。 輸血における一般的な看護上の注意点を述べることができる。
2	各血液疾患の疾患概念について述べることができる。 各血液疾患の症状と治療について述べることができる。 化学療法の副作用とその看護につき述べることができる。 敗血症などの感染症患者の看護の注意点を述べることができる。 骨髄移植施行における看護上の注意点を述べることができる。
3	自己免疫疾患について述べることができる。 膠原病の症状について述べることができる。
4	膠原病類縁疾患について述べることができる。

2021年度

腫瘍内科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	吉田 健史、田中 薫、岩朝 勤								

科目の目標

がん診断・治療のあり方やそれに伴う副作用を把握し、がん患者の緩和医療、がん患者とのコミュニケーションの取り方についても学習する。

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

近畿大学病院がんセンターのHPを見て下さい。

オフィスアワー

要相談

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験	

テキスト

オリジナル資料

参考文献

参考URL

<http://www.med.kindai.ac.jp/gancenter/index.html>

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

吉田 健史

近畿大学病院 内科学教室（腫瘍内科部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

腫瘍内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

岩朝 勤

近畿大学病院 内科学教室（腫瘍内科部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

腫瘍内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

田中 薫

近畿大学病院 内科学教室（腫瘍内科部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

腫瘍内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義 2	1. 癌治療における緩和医療の役割を説明できる。 2. 麻薬製剤の作用、副作用を理解する。 3. 麻薬製剤の種類、特徴を説明できる。 4. 終末期癌患者、家族への精神的介助について考えを述べることができる。
講義 1	1. 本邦における悪性腫瘍の疫学を理解する。 2. 癌の診断方法の基本を理解する。 3. 癌治療における外科学的療法の役割を理解する。 4. 癌治療における放射線治療の役割を理解する。 5. 癌治療における化学療法の役割を理解する。
講義 3	1. 癌治療における化学療法の実際を理解する。 2. 化学療法に伴う副作用について説明できる。 3. 化学療法に伴う副作用に関する対応を説明できる。

2021年度

消化器系内科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	樫田 博史、西田 直生志、松井 繁長、南 康範、竹中 完、山雄 健太郎								

科目の目標

消化器病学総論：消化管疾患の解剖・生理・主要症候について理解する。
上部消化管疾患：上部消化管疾患の病態・診断・治療について理解する。
下部消化管疾患：下部消化管疾患の病態・診断・治療について理解する。
肝疾患：肝疾患の病態・診断・治療について理解する。

関連教科
消化器系内科

時間外学習（予習・復習・課題）
成人看護学5：消化器に記載の内容を理解する。

オフィスアワー
9:00-17:00 月一金

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験により評価する。	

テキスト
系統看護学講座 専門分野II：消化器 （成人看護学5）
医学書院

参考文献

わかりやすい内科学（第4版）
文光堂 著）井村裕夫 編集主幹
内科学書 改訂第9版 vol. 4 消化管・腹膜疾患，肝・胆道・膵疾患
中山書店 南学正臣 総編集，千葉 勉，持田 智 部門編集
病気がみえる vol. 1 消化器 第6版
メディックメディア 著）医療情報科学研究所編

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

梶田 博史

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

西田 直生志

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

松井 繁長

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

南 康範

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

竹中 完

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

山雄 健太郎

近畿大学医学部 内科学教室（消化器内科部門）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

消化器内科

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	消化器病学総論： 1. 食道の解剖について述べるができる。2. 胃の解剖について述べるができる。3. 小腸・大腸の解剖について述べるができる。4. 肝・胆・膵の解剖について述べるができる。5. 消化・吸収の機序について述べるができる。6. 消化器の主要症候について述べるができる。
2コマ目	上部消化管疾患： 1. 各種食道疾患の症状・診断・治療について述べるができる。2. 急性胃粘膜病変の症状・診断・治療について述べるができる。3. 胃十二指腸潰瘍の症状・診断・治療について述べるができる。4. 胃癌の症状・診断・治療について述べるができる。5. ヘリコバクターピロリの意義について述べるができる。
3コマ目	下部消化管疾患： 1. 下部消化管疾患の病名を羅列することができる。2. 腸炎の種類について述べるができる。3. 急性虫垂炎の診断・治療について述べるができる。4. 腸結核、潰瘍性大腸炎、クローン病の診断・治療・鑑別診断について述べるができる。5. 大腸ポリポーシスの種類・診断について述べるができる。6. 大腸癌の診断治療について述べるができる。7. 腸閉塞の診断治療について述べるができる。
4コマ目	肝疾患： 1. 肝臓の解剖・機能について述べるができる。2. 肝疾患の主要症候について述べるができる。3. 黄疸の分類と鑑別診断について述べるができる。4. 肝機能検査の意義とその評価について述べるができる。5. 肝炎の診断、治療について述べるができる。6. 肝硬変の診断、治療について述べるができる。7. 肝細胞癌の診断、治療について述べるができる。8. 自己免疫性肝疾患（自己免疫性肝炎？原発性胆汁性肝硬変）について述べるができる。9. 門脈圧亢進症の診断、治療について述べるができる。
5コマ目	胆道疾患： 1. 胆道の解剖について述べるができる。2. 胆汁産生とビリルビン代謝について述べるができる。3. 胆石症及びその合併症の診断、治療について述べるができる。4. 原発性硬化性胆管炎の診断、治療について述べるができる。5. 胆道の悪性腫瘍の種類、診断、治療について述べるができる。
6コマ目	膵疾患： 1. 膵の解剖・機能について述べるができる。2. 急性膵炎・慢性膵炎の症状・診断・治療について述べるができる。3. 真性、仮性膵膿胞の違いについて述べるができる。4. 膵癌の症状・診断・治療について述べるができる。5. 膵内分泌腫瘍の種類、診断について述べるができる。

2021年度

論理的思考

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	中本 剛二								

科目の目標

他者の思考や表現について理解する力を養い、同時に自らの考えについて整理し、論理的かつ効果的に表現する方法を養う。

今後レポート作成や研究報告などで必要となる文章力や表現力を養う。

関連教科	時間外学習（予習・復習・課題）
社会学 文化人類学	講義以外でも読む・書く・聞く・話すなどの行為に意識的になり、講義で取り上げた内容を積極的に活用してほしい。

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テスト	
講義における取組、課題	

テキスト

特になし（必要な資料等は適宜配布します）

参考文献

講義内で適宜指示する。

参考URL

特記事項

配布するプリントは各自管理し、毎回準備・持参すること。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、授業方法や成績評価方法について変更を余儀なくされることがある。変更する際は、授業等を通じて受講者に周知する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大阪大学大学院 医学系研究科
保健学専攻

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

文化人類学、民俗学、社会学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	イントロダクション ・本講義で扱う内容について確認する。 ・論理的であること・論理的でないことについて課題を通して確認する。
2コマ目	文章を書く ・文章を書く際のルールについて確認する。 ・文章に必要な要素、読み手に伝わる形式などについて課題を通して確認する。
3コマ目	考えをまとめる・意見を述べる ・具体的なテーマに沿って、他者と議論をする。 ・議論に基づいて考えをまとめて、まとめた文章を書く。
4コマ目	メディア・リテラシー（1） ・メディア上の情報を読み取り、まとめる。 ・メディアで述べられている具体的なトピックを取り上げ、分析し、批判的に検討する。
5コマ目	メディア・リテラシー（2） ・前回の成果に基づき、グループワークを行う。他者との協働に基づき、合意を形成する。 ・グループワークの成果について発表する。
6コマ目	対面的コミュニケーション ・友人同士、専門家同士、専門家と素人など、様々な関係性におけるコミュニケーションの在りかたについて考える。 ・特に医療の場面を想定したコミュニケーションについて、医療の言葉、専門家と素人の関係性などに注意しつつ課題を通して確認する。 ・言語・文化的な背景が異なる人とのコミュニケーションの在りかたについても考える。
7コマ目	まとめ ・これまで学んだことを踏まえて、特に看護・医療にまつわる具体的なトピックを取り上げ、ロールプレイやディスカッションを行う。

2021年度

消化器系外科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	大東 弘治、新海 政幸、武部 敦志								

科目の目標

消化器疾患の病態と外科治療の適応を把握する。

関連教科

解剖学、病理学、生理学、消化器内科学

時間外学習（予習・復習・課題）

テキストと配布プリントで予習・復習を。

オフィスアワー

月曜日13:00-15:00

水曜日13:00-15:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論

医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大東 弘治

近畿大学医学部 外科学教室（下部消化管部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

外科（下部消化管部門）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

新海 政幸

近畿大学医学部 内科学教室（上部消化管部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

外科（上部消化管部門）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

武部 敦志

近畿大学医学部 内科学教室（肝胆膵部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

外科（肝胆膵部門）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	食道・胃疾患の病態と外科治療の適応を把握。 1. 胃と食道の構造と機能を理解する。 2. 食道アカシアの症状・診断・治療を説明できる。 3. 逆流性食道炎の病態・診断・治療を説明できる。 4. 食道癌の病態・症状・診断・治療を説明できる。 5. 胃・十二指腸潰瘍に対する手術適応と術式を説明できる。 6. 胃癌の病態・症状・診断・治療を説明できる。
2コマ目	腸・腹膜疾患の病態と外科治療の適応を把握。 1. 腸の構造と機能を理解する。 2. 虚血性大腸炎と腸間膜動脈閉塞症の違いを理解する。 3. 潰瘍性大腸炎とクローン病の手術適応を説明できる。 4. 腸閉塞の病態と対応策を理解できる。 5. 腸腫瘍性病変の診断と外科治療を説明できる。 6. 急性腹膜炎の病態と対応策を説明できる。
3コマ目	肝・胆・膵疾患の病態と外科治療の適応を把握。 1. 肝臓と胆道と膵臓の構造と機能を理解する。 2. 原発性肝癌の疫学と分類を説明できる。 3. 胆石症の成因・分類と治療法を説明できる。 4. 閉塞性黄疸の病態と治療を理解する。 5. 急性膵炎と慢性膵炎の違いを述べることができる。 6. 膵腫瘍の分類と疫学を説明できる。

2021年度

内分泌・代謝

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	津田 直信、蓑原 達郎、池田 守、幕谷 由佳子								

科目の目標

内分泌・代謝疾患の病名・病態生理・症状・合併症・治療法が理解できる。

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

講義内容を復習して下さい。

オフィスアワー

木曜日P. M.
金曜日P. M.
※要事前連絡。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席状況	
受講態度	
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝

医学書院 著）黒江ゆり子、高澤和永、吉岡成人、和田典男、藤澤まこと、普照早苗、白水真理子

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

津田 直信

近畿大学医学部 内科学教室（内分泌・代謝・糖尿病内科教室）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

内分泌・代謝

②実務経験のある教員による科目（本務先）

蓑原 達郎

近畿大学医学部 内科学教室（内分泌・代謝・糖尿病内科教室）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

内分泌・代謝

③実務経験のある教員による科目（本務先）

池田 守

近畿大学医学部 内科学教室（内分泌・代謝・糖尿病内科教室）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

内分泌・代謝

④実務経験のある教員による科目（本務先）

幕谷 由佳子

近畿大学医学部 内科学教室（内分泌・代謝・糖尿病内科教室）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

内分泌・代謝

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	糖尿病 1. 糖尿病の分類と病態生理を述べることができる。 2. 糖尿病の診断基準を述べることができる。 3. 糖尿病の薬物療法の種類と特徴を述べることができる。 4. 糖尿病のインスリン療法の種類と特徴を述べることができる。 5. 糖尿病の合併症について述べることができる。 6. 糖尿病性昏睡の病態生理を理解する。
2コマ目	脂質、尿酸代謝 1. 脂質異常症の分類・診断・治療を述べることができる。 2. 高尿酸血症と痛風の診断・治療を述べることができる。
3コマ目	内分泌総論、下垂体疾患、副腎疾患 1. 内分泌器官の構造とホルモンの種類が理解できる。 2. フィードバック機構および日内変動が理解できる。 3. ACTH-コルチゾル系、GH-ソマトメジンC系、PRL系の機能が理解できる。 4. 各下垂体腫瘍と下垂体機能低下症の症状・治療を述べることができる。 5. ADH系の機能が理解でき、尿崩症とSIADHの症状・治療を述べることができる。 6. レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の機能が理解でき、各副腎疾患の症状・治療を述べることができる。
4コマ目	甲状腺疾患、副甲状腺疾患、性腺疾患 1. TSH-甲状腺ホルモン系の機能が理解できる。 2. 各甲状腺疾患の症状・治療を述べることができる。 3. PTH-ビタミンD-カルシウム系の機能が理解できる。 4. 各副甲状腺疾患の症状・治療を述べることができる。 5. ゴナドトロピン-性腺ホルモン系の機能が理解できる。 6. 各性腺疾患の特徴を述べることができる。

2021年度

泌尿器

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	橋本 士、安富 正悟、西本 光寿、有馬 秀二								

科目の目標

以下の項目について述べられる。

(腎臓内科学)

1. 腎臓病の構造と機能 2. 腎臓病の症候と病態 3. 腎臓病の検査 4. 腎臓病の治療

(泌尿器科学教室)

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

予習は不要ですが、可能なら講義後に教科書と配布資料を読んで下さい。

オフィスアワー

(腎臓内科のみ) 月曜日 16:00～17:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験評価	

テキスト

系統看護学講座専門II 成人看護学8 腎・泌尿器

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

橋本 士

近畿大学医学部 泌尿器科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

泌尿器

②実務経験のある教員による科目（本務先）

安富 正悟

近畿大学医学部 泌尿器科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

泌尿器

③実務経験のある教員による科目（本務先）

西本 光寿

近畿大学医学部 泌尿器科学教室

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

泌尿器

④実務経験のある教員による科目（本務先）

有馬 秀二

近畿大学医学部 内科学教室（腎臓内科部門）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

腎臓内科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義 1	（腎臓内科） 腎臓の構造と機能を概説し、病態との関連・検査値の異常・治療に関して説明します。
講義2	（泌尿器科） 泌尿器科総論（解剖、発生ならびに構造、機能）と各論Ⅰ（診断方法と尿路感染・尿路結石症について） 腎・尿路の男性性器の解剖ならびに構造、機能を正しく理解できる。 泌尿器科疾患の診断方法（レントゲン検査など）を理解できる。 排尿や尿性状の異常を正しく理解できる。 尿路感染症・尿路結石について正しく理解できる。 腎移植について正しく理解できる。
講義3	（泌尿器科） 尿路・性器の腫瘍とその手術（特に尿路変更術）について正しく理解できる。
講義4	（泌尿器科） 前立腺肥大症や神経因性膀胱（尿失禁）について正しく理解できる。 先天性泌尿器疾患について正しく理解できる。

2021年度

骨・関節系

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田中 寛樹、森竹 章公								

科目の目標

- 以下の2点を目標とする。
1. 運動器の基本的疾患及び外傷の、病態・症状・経過・治療について理解すること。
 2. 運動器外科領域の周術期管理について、基本事項を理解すること。

関連教科

リハビリテーション医学、神経内科学

時間外学習（予習・復習・課題）

ご自身の身体や友人の身体を使い、各関節の可動域や各筋肉の働きについて具体的な理解を深めましょう。

オフィスアワー

随時。
整形外科医局(内線3212)に連絡し、各講義担当者の予定を確認してください。

テキスト

オリジナルの講義プリントを使用します。

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学10 運動器
医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席：30点(各コマ10点、遅刻は各コマ3点、欠席0点)	
課題：50点(提出点10点、内容により優40点、良30点、可20点、不可0点を加算。未提出は0点)	
終講試験：120点 出席点か課題点のいずれかが0点の場合は、合計点に関わらず不合格とする。	

参考文献

特になし

参考URL

特になし

特記事項

課題：「大腿骨頭部骨折に対し、人工骨頭置換術を受ける高齢患者の看護」について、術前と術後に分けて、A4レポート用紙2枚以上にまとめてください。レポートは終講試験の開始直前に回収します。
終講試験は、原則として授業内容から出題します。
合否基準(レポート200点満点)：100以上：優 140～170：良 120～130：可 110以下：不可

①実務経験のある教員による科目（本務先）

田中 寛樹

近畿大学医学部 整形外科科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

整形外科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

森竹 章公

近畿大学医学部 整形外科科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

整形外科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義1	1. 運動器を構成する各組織（骨・軟骨・神経・筋）の基本生理学 2. 主要運動器および脊椎の基本解剖および基本バイオメカニクス 3. 神経組織の基本解剖と基本生理学 4. 運動器の基本的診察法と計測方法 5. 神経診察の基本
講義2	1. 外傷患者の救急管理。 2. 骨折の症状・診断・基本的治療。 3. 骨折の急性期合併症と副損傷。骨折の遅発性合併症。 4. 関節部損傷（関節内骨折・捻挫・脱臼）の病態と治療。 5. 靱帯損傷と腱損傷。 6. 各論1：肩甲帯の骨折・脱臼。 7. 各論2：上肢の骨折・脱臼。 8. 各論3：骨盤・寛骨臼の外傷。 9. 各論4：下肢の骨折・脱臼。 10. 各論5：脊椎損傷・脊髄損傷の病態と初期治療。
講義3	1. 各論6：関節リウマチおよび関節リウマチ類似疾患の基本。 2. 各論7：変形性関節症の基本病態と治療。 3. 各論8：脊椎変性疾患の基本病態と治療。 4. 各論9：代表的小児運動器疾患の基本病態と治療。 5. 各論10：主要運動器外科手術周術期管理の要点。 6. 各論11：周術期理学療法（リハビリテーション）の基本。 7. 各論12：緊急の加療を要する運動器疾患。

2021年度
歯科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	濱田 傑、助臺 美帆、李 篤史								

科目の目標

口腔の役割、口腔ケアを説明できる。

関連教科
上部消化管、耳鼻咽喉科

時間外学習（予習・復習・課題）
口から食べることの大切さ、口腔と誤嚥性肺炎の関係について学んでください。

オフィスアワー
口から食べることと口腔ケアは、これからの超高齢社会ではますます大切になります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	

テキスト
新看護学生のための歯科学
医歯役出版 著）中垣晴男

参考文献
口から食べる一摂食嚥下障害Q&A 第4版
中央法規出版 著）藤島一郎/清水一男
口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔科学読本
クインテッセンス出版 著）全国医学部附属病院歯科口腔外科課長会議

参考URL
<http://www.oralcare-jp.org/>
<https://www.jsdr.or.jp/>

特記事項
チーム医療についても学んでください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

濱田 傑

近畿大学病院 歯科口腔外科

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

歯科口腔外科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

助臺 美帆

近畿大学病院 歯科口腔外科

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

歯科口腔外科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

李 篤史

近畿大学病院 歯科口腔外科

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

歯科・口腔外科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	歯科一般基礎 1. 口腔および歯の構造と機能を説明でき、歯式の読み書きができる。 2. 歯の成長発育と萌出について説明できる。 3. う蝕の成因と進行について述べるができる。 4. 歯髄炎、歯根膜炎（根尖性歯周炎）について述べるができる。 5. 歯周疾患の成因と進行について述べるができる。 6. 歯冠修復、歯内療法、歯周治療、義歯にいたる歯科治療の流れを述べるができる。 7. 義歯の使用法・管理法を述べるができる。
2	口腔外科的疾患 1. 口腔外科的疾患の処置および抜歯を説明できる。 2. 口腔の炎症性疾患の病態と治療について述べるができる。 3. 口腔の嚢胞と腫瘍の病態と治療について述べるができる。 4. 口腔の外傷、顎骨骨折の病態と治療について述べるができる。 5. 口腔の奇形、顎変形症、顎関節疾患の病態と治療について述べるができる。 6. 口腔外科疾患における栄養摂取につき説明できる。 7. 口腔外科疾患患者の病態と心理状態を把握した看護について説明できる。
3	臨床の中での歯科の役割と位置づけ 1. 摂食嚥下における口腔の役割を述べるができる。 2. 経管・経静脈栄養だけでなく経口摂取することの意義を説明できる。 3. 他の疾患に合併する口腔の症状を述べるができる。 4. 口腔粘膜疾患、がん治療と口腔粘膜炎症について述べるができる。 5. 顎顔面欠損などに対する顎顔面補綴について述べるができる。 6. 口腔の疾患が全身に及ぼす影響について述べるができる。 7. 口腔ケアの意義と方法について説明できる。

2021年度

麻醉科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	松本 知之								

科目の目標

周術期管理中の全身管理や疼痛管理の方法について学習し、その意義について理解できる。
周術期の合併症について学習し、麻酔に関わる看護の役割を理解できる。

関連教科
特になし

時間外学習（予習・復習・課題）
特になし

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
受講	
終講試験評価	

テキスト
系統看護学講座（別巻） 臨床外科看護総論
医学書院

参考文献
周術期管理チームテキスト第3版
公益社団法人日本麻酔科学会

参考URL
public.perioperative-management.jp/

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学病院 麻酔科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

麻酔科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義1	麻酔の歴史、術前評価、麻酔方法（全身麻酔①） 1. 麻酔の歴史について述べることができる。 2. 麻酔科医の役割について述べることができる。 3. 麻酔に必要な要素について述べることができる。 4. 手術患者の術前検査と術前評価について述べることができる。 5. 全身麻酔について述べることができる。
講義2	麻酔方法（全身麻酔②、区域麻酔）、周術期管理中の合併症 1. 全身麻酔について述べることができる。 2. 手術中の呼吸と循環の管理について述べることができる。 3. 区域麻酔（脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、神経ブロックなど）について述べることができる。 4. 周術期管理中の合併症について述べることができる。
講義3	術後の疼痛管理、麻酔に関わる先輩看護師からのメッセージ 1. 術後の疼痛管理について述べることができる。 2. 麻酔に関わる看護師について先輩看護師からメッセージを受け取る。

2021年度

放射線科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	石井 一成、甲斐田 勇人、中松 清志								

科目の目標

1. 画像診断検査の原理と方法を説明できる。2. IVR（インターベンショナルラジオロジー）の方法を説明できる。
3. 核医学検査、内用療法の原理と方法を説明できる。4. 放射線治療の原理と方法、適応と合併症について説明できる。
5. 高精度放射線治療について述べる事が出来る。5. 放射線防護について述べる事が出来る。

関連教科

臨床診断・治療と緩和医療に関係するすべての科目に関連します。

時間外学習（予習・復習・課題）

配布プリントをよく読んでください。

オフィスアワー

平日 9:00 ~ 17:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義終了後の筆記試験	

テキスト

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

石井 一成
近畿大学医学部 放射線医学教室（放射線診断部門）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

放射線診断

②実務経験のある教員による科目（本務先）

甲斐田 勇人
近畿大学医学部 放射線医学教室（放射線診断部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

放射線診断

③実務経験のある教員による科目（本務先）

中松 清志
近畿大学医学部 放射線医学教室（放射線腫瘍学部門）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

放射線治療

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	放射線診療について概略を説明。画像検査（X線撮影、CT、MRI）、IVRについて基本的な説明。画像診断、IVRの適応、合併症についての説明。造影剤の基本、副作用について説明。
1	放射線について基本的な説明。放射線に関連する単位の説明。放射線防護の説明。放射線治療の原理と放射線治療の適応、合併症について説明。最新の高精度放射線治療について紹介。
1	核医学検査（シンチグラフィー、PET）、内用療法について基本的な説明。放射線被曝について基本的な説明。

2021年度

脳神経系内科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	上田 昌美、河合 滋、山名 正樹、濱田 征宏								

科目の目標

神経疾患の医学的知識を深め、看護に活かす。それぞれの疾患の特徴・診断・治療を学ぶ。
さらに疾患の特性を理解した看護計画を立案し、実践に即した看護学ができるようになる。

関連教科

神経内科、脳外科、放射線診断学

時間外学習（予習・復習・課題）

学生は授業に関わる部分を予習する。講義で配布される資料を用いて復習する。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 7 脳・神経系

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

上田 昌美

近畿大学医学部 リハビリテーション医学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経内科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

河合 滋

近畿大学医学部 内科学教室（脳神経内科部門）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経内科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

山名 正樹

和泉市立総合医療センター

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経内科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

濱田 征宏

和泉市立総合医療センター

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経内科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
	脳血管障害（担当：上田 昌美）
	末梢神経・筋疾患（担当：河合 滋）
	感染・免疫疾患（担当：山名 正樹）
	変性疾患（担当：濱田 征宏）

2021年度

脳神経系外科

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	奥田 武司、辻 潔、吉岡 宏真、宮内 正晴								

科目の目標

脳神経系外科疾患について理解する

関連教科

神経内科

時間外学習（予習・復習・課題）

予習・復習に関連するポイントを以下に記載する。解剖・生理；基本事項であり、解剖学の復習が望ましい。脳死・脳血管障害；障害を受けた患者さん像をイメージしてください。脳腫瘍；良性、悪性の区別。転移しやすい原疾患も覚えること。手術・感染・外傷・その他；軽微な頭部外傷から引き起こされる疾患にも留意する。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講テスト	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学Ⅶ 能・神経医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

奥田 武司
近畿大学医学部 脳神経外科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経外科（脳

②実務経験のある教員による科目（本務先）

辻 潔
近畿大学医学部 脳神経外科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経外科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

吉岡 宏真
近畿大学医学部 脳神経外科学教室

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経外科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

宮内 正晴
近畿大学医学部 脳神経外科学教室

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

脳神経外科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	解剖・生理 1. 頭蓋骨・脊椎骨を形成する骨の名称と頭蓋底の裂孔の名称およびその中を走行する神経・血管名を述べることができる 2. 髄膜の構造および脳脊髄液の正常・循環動態について説明できる 3. 大脳・間脳・中脳・橋・延髄・小脳の機能について述べるができる 4. 脳神経の機能について説明できる 5. 脳血管の走行・分布領域およびWillis動脈輪について説明できる
2コマ目	脳死・脳血管障害 1. 頭蓋内圧亢進の原因と脳ヘルニアの症状について説明できる 2. 脳死の判定基準について述べるができる 3. くも膜下出血について説明できる 4. 脳梗塞の原因について説明できる 5. 脳出血の原因について説明できる 6. 脳動脈奇形について説明できる 7. 脳卒中患者の看護について説明できる
3コマ目	脳腫瘍 1. 脳腫瘍の組織学的分類とその好発部位・好発年齢を理解できる 2. 脳腫瘍の発生部位と神経症状との関係を説明できる 3. 脳腫瘍の画像診断ができる 4. 脳腫瘍の発生部位別の鑑別診断ができる 5. 脳腫瘍患者の看護について説明できる
4コマ目	手術・感染・奇形・外傷・その他 1. 脳外科手術の目的について説明できる 2. 頭蓋内手術の方法について述べるができる 3. 水頭症を髄液循環から分類し説明できる 4. 主な脳脊髄の先天性奇形の病態について説明できる 5. 脳髄炎、脳腫瘍について説明できる 6. 主な頭部外傷の病態について説明できる

2021年度

耳鼻咽喉科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	木村 隆幸								

科目の目標

耳鼻咽喉学領域における病態・症状・検査・治療について理解する。

関連教科

解剖生理学

時間外学習（予習・復習・課題）

各章の復習

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	

テキスト

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

木村 隆幸

近畿大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

耳鼻咽喉科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	鼻副鼻腔 1. 副鼻腔の解剖を理解する。 2. 副鼻腔の機能について説明できる。 3. 副鼻腔の検査について説明できる。 4. 鼻副鼻腔疾患について説明できる。
2コマ目	耳 1. 外耳・中耳・内耳の解剖について理解する。 2. ティンパノメトリー、聴力検査について説明できる。 3. 音の伝わる経路について理解できる。 4. めまいのおこるメカニズムについて説明できる。 5. 中耳、内耳の代表疾患について述べることができる。
3コマ目	咽頭喉頭疾患 1. 咽頭、喉頭の構造、機能、検査について説明できる。 2. 咽喉頭の炎症疾患の診断、治療について説明できる。 3. 咽頭・喉頭がんの病態、診断、治療について説明できる。 4. 咽頭・喉頭がんの術後管理、術後合併症、看護について説明できる。 5. 放射線治療、化学療法の有害事象やそれに対する対策について説明できる。
3コマ目	6. 永久気管の状態、気管切開術後との違い、代用音声について理解できる。 7. 嚥下のメカニズムについて理解できる。 8. 嚥下リハビリテーションについて理解できる。 9. 経口摂取以外の栄養投与法について説明できる。

2021年度
心理学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	池本 明弘								

科目の目標
前半は、人の心の元になる意識や感性はどこから来るのか？ 脳の生理、遺伝から心の成り立ち、発達を探りたい。後半は、医療現場のみならず、社会で心理学を生かすための知識と方法について解説する。

関連教科
YG性格検査

時間外学習（予習・復習・課題）
特に予習は必要としないが、講義中に効率的な記憶の方法や学習の方法を伝授するので活用すること。できれば、心理学に関する様々なトピックスに関心を持っておくこと。

オフィスアワー
質問等あれば、随時

成績評価方法・基準

評価項目	割合
全講義終了後、筆記試験を行う	

テキスト
オリジナル資料

参考文献
脳科学、心理学に関わる書物全般。日経サイエンス（脳と心の特集したもの）

参考URL

特記事項
講義中に簡単な実験、体験を通して進めるので、積極的な参加を期待する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学農学部 学生支援課、学生相談室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床心理学、精神療法

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	生理学的心理学1 脳の構造と機能、側性化。脳内での情報処理、文化による脳の変化。 性差による好み、行動の違いが脳の違いに由来する。 性的マイノリティとの関連。理解を深める。
2	生理学的心理学2 睡眠と覚醒のリズム。生物時計と時計遺伝子。 睡眠障害がもたらす身体的、心理的リスク。 認知症との関連性。
3	生理学的心理学3 記憶と海馬の関係。認知症の患者の脳はどうなっているか。 認知症と老化による認知機能低下の違い。その他。
4	依存の心理 精神依存と身体依存。薬物、アルコール、ゲーム、スマホ にも依存する。そのメカニズムと対策。 知覚のメカニズム 群化、プレグナンツの法則、仮現運動、知覚のあやふやさ。 錯覚はどうして起こるか。 知覚と眼球、視神経、後頭葉との関連。
5	認知活動 感覚記憶、アイコニックメモリ、エコイックメモリ。短期記憶、 維持リハーサル、精緻化リハーサル。ワーキングメモリ。長期記憶、 宣言的記憶、非宣言的記憶。 人の脳内での情報処理を心理学的に理解する。
6	記憶と忘却のメカニズム 脳科学に基づく効率よい記憶方法。 忘却のメカニズム、忘れないための工夫。 関連付けて記憶する能力の向上。
7	YG性格検査実施、判定、信頼性と妥当性。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	性格の形成 性格形成における遺伝の影響。 器官劣等性、家族、文化(環境)のかかわり。
9	Piagetの認知発達理論 感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期。 Vygotskyの発達 最近接領域、足場掛け理論。
10	総合心理発達理論 乳児期、幼児期、児童期、 思春期(前思春期、思春期前半期思春期後半期、前成人期)の特徴。
11	学習心理 学習とは何か、動機、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、モデリング、 洞察学習。学習とPTSDとの関連。
12	臨床心理学 Freudの精神分析等の第一世代の精神療法から、現代の認知行動療法への変遷。 認知行動療法の方法。 なぜ、認知行動療法だけが厚労省に保険適用認定されたのか、その根拠。
13	社会心理学 印象形成 重要な要因とは何か。印象形成を誤らせる要因。 態度変容 説得的コミュニケーションを左右する信憑性とスリーパー効果。
14	ヒューマンエラーと医療事故 エラーの分類と対策。医療安全との関わり。 災害時の心理と行動 災害時特有の心理状態と行動について理解する。 今後起こるであろう災害に備える。

2021年度
眼科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	坂本 万寿夫、山雄 さやか								

科目の目標

眼科学領域における、病態・症状・検査・治療について理解できる。

関連教科
解剖生理学

時間外学習（予習・復習・課題）
各章についての復習

オフィスアワー
月～金曜日 9～17時

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	

テキスト
系統看護学講座 専門Ⅱ 眼 成人看護学

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

坂本 万寿夫
近畿大学医学部 眼科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

眼科学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

山雄 さやか
近畿大学医学部 眼科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

眼科学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義 1	眼科疾患を理解する。（１）構造と機能、検査方法 1. 眼球、眼球付属器、視路の構造・機能・検査法について説明できる。
講義 2	眼科疾患を理解する。（２）代表的疾患と症状、診断、治療 1. 部位別に代表疾患を挙げることができる。 2. 眼科疾患による症状を説明できる。 3. 代表的疾患の診断と治療を説明できる。
講義 3	眼科疾患を理解する。（３）看護 1. 視覚障害と視覚障害者のケアについて理解する。 2. 眼科患者の看護について理解する。 3. 眼科の救急疾患について説明できる。

2021年度

皮膚科学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	柳原 茂人								

科目の目標

皮膚科診療の概要を知る

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

特になし

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
選択主体の筆記試験	

テキスト

ナースのための皮膚科学
南山堂

参考文献

参考URL

特記事項

講義はほとんどスライド（Power Point）で行われる予定
時間数に比較して学習内容が多いため、教科書での予習が望ましい

①実務経験のある教員による科目（本務先）

柳原 茂人
近畿大学病院 皮膚科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

皮膚科学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	I 1. 皮膚の構造について述べることができる 2. 皮膚の機能について述べることができる II 1. 皮膚の病変について理解する 2. 原発疹・続発疹の用語を正確に理解する III 1. 各種検査について理解する 2. 各種治療について理解する
2コマ目	IV 1. 各種疾患について理解する 湿疹・皮膚炎群・蕁麻疹・紅斑症・紫斑病・血管炎・薬疹・物理・科学的皮膚障害紅皮症・ 光線皮膚障害・水泡症・角化症・膿胞症
3コマ目	IV 1. 各種疾患について理解する 色素異常症・母斑・母斑症・皮膚腫瘍・皮膚付属器疾患・細菌感染症・ウイルス感染症真菌 感染症・その他の感染症

2021年度

臨床検査論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	上裕 俊法、田中 裕滋、竹下 律子、江口 香織								

科目の目標

看護師に必要な検査を学ぶ

関連教科

臨床医学に関わる全科

時間外学習（予習・復習・課題）

特に予習と課題は要求しない。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験	

テキスト

教科書：系統看護学講座別巻 臨床検査
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

教科書として系統看護学講座別巻 臨床検査（医学書院）を使用する。講義には必ず持参する必要がある。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

上 裕 俊法
近畿大学病院 臨床検査医学部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床検査医学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

田中 裕 滋
近畿大学病院 臨床検査医学部

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床検査医学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

江口 香 織
近畿大学病院 中央臨床検査部

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

中央臨床検査

④実務経験のある教員による科目（本務先）

竹下 律 子
近畿大学病院 中央臨床検査部

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

中央臨床検査

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第1回	臨床検査総論（担当：上裕） 指定教科書の第1章から第3章に該当する
第2回	一般検査（担当：竹下） 指定教科書の第4章に該当する
第3回	免疫血清検査（担当：上裕） 指定教科書の第7章に該当する
第4回	血液検査（担当：田中） 指定教科書の第5章に該当する
第5回	化学検査（担当：田中） 指定教科書の第6章に該当する
第6回	ホルモン検査（担当：田中） 指定教科書の第8章に該当する
第7回	微生物検査 指定教科書の第9章に該当する

2021年度

微生物学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	博多 義之、朴 雅美								

科目の目標

病原微生物の種類・性質と、微生物が原因でおこる感染症の病態を理解する。また、微生物感染に対する生態防御機構および薬剤の種類と作用機序を理解する。さらに、微生物に対する消毒法・滅菌法を正しく理解する。

関連教科

ウイルス学、細菌学、真菌学、原虫学

時間外学習（予習・復習・課題）

教科書の予習。授業スライドは教科書に沿いつつもそれ以上の内容も含ましますので、授業後は教科書およびスライドで復習する。また、新聞やニュース等で報道される感染症に注目してください。授業で紹介される病原性微生物の話題が毎年数多く報道されています。

オフィスアワー

金曜日15:00-18:30

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進
医学書院

参考文献

標準微生物学
医学書院 著）中込治/神谷茂 編集

参考URL

特記事項

出席および授業態度も評価に反映させる場合があります。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

博多 博之
近畿大学医学部 免疫学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

ウイルス学、分子生物学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

朴 雅美
近畿大学医学部 微生物教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

微生物学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1講義目	1. ヒトが微生物に囲まれ、それと共存して生きていることを理解する。 2. 病原微生物発見の歴史を概説できる。 3. 真核細胞、原核細胞、ウイルスの違いを説明できる。 4. 細菌の構造と複製のしくみを概説できる。
2講義目	1. 真菌の構造上の特徴を細菌と区別して概説できる。 2. 原虫について概説できる。 3. ウイルスと細菌の違いを概説できる。
3講義目	1. 微生物感染の経路と、感染症発症までの経過について説明できる。 2. 病原微生物を排除する免疫システムの概要を説明できる。 3. 免疫に関わる組織・器官および細胞を列挙できる。 4. 自然免疫のしくみと役割を概説できる。 5. 抗原特異的な獲得免疫反応の成立について概説できる。 6. 抗体の種類・特徴を説明できる。 7. 細胞性免疫について概説できる。
4講義目	1. 病原性微生物の感染源と感染経路について概説できる。 2. 滅菌と消毒の方法を列挙できる。 3. 現行ワクチンの種類と効果を説明できる。
5講義目	1. 感染症の診断と検査の方法について概説できる。 2. 抗生物質とは何かを説明できる。 3. 世界と日本における感染症の現状と対策について概説できる。
6講義目	1. グラム陽性球菌とグラム陰性球菌と、それらが起こすヒト疾患を挙げることができる。 2. グラム陰性好気性桿菌について概説できる
7講義目	1. グラム陰性通性菌と関連疾患について概説できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8講義目	1. カンピロバクターとヘリコバクターピロリ菌について概説できる。 2. 主な病原性グラム陽性桿菌と、それらが起こすヒト疾患を挙げることができる。 3. 主な抗酸菌と放線菌と、それらが起こすヒト疾患を挙げることができる。
9講義目	1. 主な病原嫌気性菌を概説できる。 2. 細菌とマイコプラズマ、リケッチアの違いを言える。 3. 主な性感染症と、我が国での感染の拡がりの現状を説明できる。
10講義目	1. 主な病原真菌及び原虫の名称と、それらが引き起こすヒト疾患を挙げることができる。
11講義目	1. 天然痘と種痘の歴史について概説できる。 2. ヒトヘルペスウイルス科のウイルスとそれが起こす病気を列挙できる。 3. 単純ヘルペスウイルスⅠ型、Ⅱ型と水痘ウイルスの感染経路と潜伏感染について概説できる。 4. アデノウイルスが原因である主な病気を列挙できる。 5. ヒトパピローマウイルスと腫瘍について概説できる。
12講義目	1. インフルエンザウイルスの特徴と、ワクチンによる予防の重要性を概説できる。 2. ムンプスウイルスについて概説できる。 3. 麻疹ウイルスについて概説できる。 4. RSウイルスについて概説できる。 5. 狂犬病について概説できる。
13講義目	1. ポリオウイルスと生ワクチンについて概説できる。 2. 風疹ウイルスについて概説できる。 3. フラビウイルス科の主なウイルスを挙げ、ヒトの感染症としての重要性を概説できる。 4. ノロウイルスの感染経路と症状を概説できる。
14講義目	1. ヒトリンパ球性ウイルスⅠ型が起こす病気と、地域分布について概説できる。 2. HIV感染とエイズ発症の違いを説明できる。 3. ヒト肝炎ウイルスの分類と、それぞれの感染経路、及び劇症化・慢性化の有無を説明できる。 4. 医療事故に伴うウイルス感染の危険性と、その防止について正しく説明できる。 5. プリオン病について例を挙げて概説できる。

2021年度

健康科学理論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	森脇 崇								

科目の目標

健康とスポーツのかかわりを理解し、ライフスタイルに生かすための素養を獲得する。

関連教科

健康科学実技

時間外学習（予習・復習・課題）

- ・健康とスポーツとの関わりを理解したうえで、自らの実生活において実践する。
- ・日々の生活の中で、運動を取り入れる意識づけを行い、習慣化していく。

オフィスアワー

授業の前後（あらかじめメールにて連絡をお願いします） takashi.moriwaki21@gmail.com

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験	
平常評価（授業内課題、授業態度・参加意欲など）	

テキスト

オリジナル資料

参考文献

授業内で適宜紹介する。

参考URL

特記事項

- ・講義の内容、順序については、習熟度などにより若干の変更もあり得る。
- ・講義内容の理解を深めるため、テーマに沿った映像を取り入れ解説する。
- ・講義内容と自らのライフスタイルとを結びつけて考える習慣をつけてください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

森脇 崇

一般社団法人和歌山県フライングディスク協会

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

スポーツ実技（フライングディスク）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	オリエンテーション（授業の内容、進め方、評価方法、自己紹介など）
2	健康の定義と健康マネジメント施策（１）： 身体的・精神的・社会的に良好な状態を考える
3	健康マネジメント施策（２）：ストレスと健康
4	ベッドレスト実験（寝たきり状態）からみる健康とスポーツの役割
5	高齢者とスポーツの役割
6	ライフスポーツの役割： 子どもたちの健全な心身の育成と親・地域の関わり
7	セルフジャッジとスポーツの役割： 自分のプレイを自分自身でジャッジすることの意義を考える

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	スポーツツーリズムから健康を考える
9	ライフロングスポーツから健康を考える
10	エイジレススポーツから健康を考える
11	まとめ

2021年度

健康科学実技

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	高橋 幸造、森脇 崇								

科目の目標

スポーツを通して身体的健康・心理的健康・社会的健康の三つの側面が良好な状態について理解を深め、ライフスタイルに積極的に取り入れる

関連教科

健康科学理論

時間外学習（予習・復習・課題）

「歩く」ことを日常に積極的に取り入れ、自身の健康状態に興味を持つ

オフィスアワー

授業の前後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
各時限の身体的課題の達成度（身体活動量の確保、技術・技能の獲得、戦術戦略の理解）	
各時限の心理・社会的課題の達成度（努力・意欲の度合、コミュニケーションの度合、マナー・礼節の実践）	

テキスト

特に指定なし

参考文献

特に指定なし

参考URL

特記事項

第2回以降の講義では、スポーツウエア、スポーツシューズを着用し、タオル、飲み水を持参し、スポーツウエアには名前の入ったゼッケンをつけること。平服や平靴、アクセサリ着用での受講は認めません。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

森脇 崇

一般社団法人和歌山県フライングディスク協会

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

スポーツ技術（フライングディスク）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

高橋 幸造

近畿大学

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

教育学（保健体育）

スポーツ技術（バレーボール、卓球）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	授業の進め方、スポーツ歴調査
2-11	天候とグラウンドの状態に応じて、卓球、バレーボール、サッカー、フライングディスクなどの様々なスポーツを通じ、身体的健康・心理的健康・社会的健康を学ぶ

2022年度

リハビリテーション概論

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	木村 保、磯野 千春、永吉 理香、藤田 修平、古澤 啓一								

科目の目標

リハビリテーションを理解し、チームの一員として適切な看護を行うことができる。

関連教科
特になし。

時間外学習（予習・復習・課題）
講義のポイントが理解できるよう、予習・復習を行っておくこと。

オフィスアワー
平日の午後 5 時30分以降であれば可能だが、講師個人や日によって、会議やカンファレンス、所用があって受けられないことがある。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト
ナースিং・グラフィカ 成人看護学6 リハビリテーション看護
メディカ出版 著）奥宮暁子 他

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

木村 保

近畿大学病院 リハビリテーション部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

リハビリテーション（理学療法）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

永吉 理香

近畿大学奈良病院 リハビリテーション部

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

リハビリテーション（理学療法）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

古澤 啓一

近畿大学病院 リハビリテーション部

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

リハビリテーション（作業療法）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

磯野 千春

近畿大学病院 リハビリテーション部

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

リハビリテーション（言語聴覚）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

藤田 修平

近畿大学病院 リハビリテーション部

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

リハビリテーション（理学療法）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	リハビリテーションの概念・理念とチームアプローチ（テキスト第1～4章） 【目標】リハビリテーションの概念・理念について学び、諸段階で関わる専門職種の役割およびチームアプローチについて理解する。 【内容】・リハビリテーションの定義やそこで用いられる概念について ・チームアプローチについて
2コマ目	呼吸リハビリテーション（テキスト第5・7章） 【目標】呼吸リハビリテーションの概要を理解する。 【内容】・呼吸リハビリテーションについて ・早期離床の目的と方法
3コマ目	運動器疾患のリハビリテーション（テキスト第5・7章） 【目標】・運動器リハビリテーションの概念を理解する。 ・廃用性症状の予防について理解する。 【内容】・運動器リハビリテーションの対象、評価、訓練について ・寝たきりによる廃用性症候群について／症例紹介
4コマ目	脳血管疾患のリハビリテーション（テキスト第5・7章） 【目標】脳血管疾患の障害像を理解し、適切な看護ができる。 【内容】・脳血管疾患の障害像 ・脳血管疾患のリハビリテーション
5コマ目	心臓リハビリテーション（テキスト第5・7章） 【目標】心疾患の障害像を理解し、適切な看護ができる。 【内容】・心疾患の障害像 ・心臓リハビリテーション
6コマ目	高次脳機能障害のリハビリテーションと嚥下リハビリテーション（テキスト第5・7章） 【目標】高次脳機能障害のリハビリテーションと嚥下リハビリテーションを理解する。 【内容】・高次脳機能障害の概説とアセスメント ・高次脳機能障害のリハビリテーション ・摂食嚥下障害のリハビリテーション
7コマ目	生活の再構築への援助（テキスト第6章） 【目標】患者および家族をトータルでサポートする考え方や方法を理解する。 【内容】・生活の再構築を援助する考え方やその具体的方法について

2021年度

公衆衛生学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	奥村 二郎、東 賢一、水越 厚史、井内田 科子								

科目の目標

公衆衛生活動の担い手である看護師に必要な公衆衛生の知識と技術を学ぶ。

関連教科

健康科学、社会福祉、関係法規、微生物学

時間外学習（予習・復習・課題）

予習：各講義前日までに、講義で取り上げる内容に相当する教科書の単元を読むこと。

復習：各講義終了後、講義プリントと教科書を読み直すこと。また、関連事項を調べ必要な知識を補充すること。

オフィスアワー

火曜日13:30～15:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	

テキスト

わかりやすい公衆衛生学

ヌーヴェルヒロカワ 著）清水忠彦、佐藤拓代（編集）

2021国民衛生の動向

厚生労働統計協会 著）厚生労働統計協会（編集）

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

奥村二郎
近畿大学医学部 環境医学行動科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

公衆衛生学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

東 賢一
近畿大学医学部 環境医学行動科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

公衆衛生学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

水越厚史
近畿大学医学部 環境医学行動科学

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

公衆衛生学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

井内田 科子
近畿大学医学部 環境医学行動科学

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

公衆衛生学

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目 奥村二郎	1. 公衆衛生の概念 目標：①公衆衛生の領域を列挙できる。②予防の3段階について具体的項目を列挙できる。③プライマリヘルスケアについて説明できる。④世界保健機構（WHO）の活動を説明できる。 13. 健康教育とヘルスプロモーション 目標：①健康教育の定義を説明できる。②ヘルスプロモーションの概念について説明できる。③ヘルスプロモーションの進め方について説明できる。
2コマ目 東 賢一	2. 健康と環境、疫学的方法 目標：①健康の成立要因について具体的に説明できる。②健康に影響する環境要因を列挙できる。③疫学的手法の基本概念を説明できる。④臨床疫学とその根拠に基づく医学（EBM）について説明できる。 3. 健康の指標 目標：①総人口と年齢3区分別人口の動向について説明できる。②人口動態統計の各項目とその動向について説明できる。③平均余命、平均寿命、健康寿命について説明できる。④有病率、罹患率、受療率について説明できる。
3コマ目 東 賢一	4. 感染症とその予防 目標：①感染症の成立要因と感染の伝播様式について説明できる。②感染症の類型について具体例を挙げて説明できる。③感染症予防対策について説明できる。④主要な感染症について説明できる。 5. 食品保健と栄養 目標：①食中毒の主な原因を挙げ、その特徴と予防法を説明できる。②食品衛生管理制度について説明できる。③国民健康・栄養調査からみた栄養上の問題点を列挙できる。
4コマ目 水越 厚史	6. 生活環境の安全 目標：①主な地球環境問題について説明できる。②水と空気的安全衛生について説明できる。③廃棄物処理の概要を説明できる。④住環境の衛生について説明できる。7. 医療・介護の保障制度 目標：①医療保障について説明できる。②医療保険について説明できる。③主な公的医療制度を列挙できる。④診療報酬・国民医療費について説明できる。⑤介護保険について概説できる。
5コマ目 井内田 科子	8. 地域保健活動（ヘルスサービスの構造） 目標：①保健所と市町村保健センターの役割と業務を説明できる。②医療施設の種類を説明できる。③保健・医療関係の職種を列挙し業務を説明できる。 9. 母子保健 目標：①乳児死亡率、死産率、周産期死亡率、妊産婦死亡率について説明できる。②主な母子保健事業を列挙し、説明できる。③母子保健における今後の主要課題について説明できる。
6コマ目 井内田 科子	10. 学校保健 目標：①学校保健安全法による保健事業について説明できる。②学校における感染症予防について説明できる。③学校環境衛生の検査項目を列挙できる。④学校安全の背景と内容について説明できる。 11. 生活習慣病・12. 難病対策 目標：①主な生活習慣病の動向を説明できる。②健康日本21と健康増進法を説明できる。③生活習慣と健康の関係を説明できる。④難病対策について説明できる。
7コマ目 水越 厚史	14. 精神保健福祉 目標：①地域精神保健福祉と精神障害者の援助について概説できる。②各発達ステージにおけるメンタルヘルスについて説明できる。 15. 産業保健 目標：①労働衛生管理を構成する三管理について説明できる。②主な職業病とその対策について説明できる。③トータルヘルスプロモーションについて説明できる。 16. これからの公衆衛生 目標：①これからの公衆衛生に求められる課題について説明できる。②公衆衛生の倫理について説明できる。

2021年度

社会福祉

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	竹内 伸一郎								

科目の目標

看護師として必要な社会福祉における基礎的知識や技術を習得することができる。

関連教科

特になし

時間外学習（予習・復習・課題）

受講前にテキストの該当箇所について通読しておいてください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

講義時期は1年は後期となります。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学病院 事務部
患者支援センター

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

社会福祉

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	社会保障制度と社会福祉・現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1、社会保障制度の目的と機能について説明ができる。 2、実際に看護をするうえで、どのような場面で社会保障・社会福祉との関連がでてくるのか説明できる。 3、わが国の保険医療の動向について説明ができる。 4、社会福祉サービスの動向について現代社会の問題との関連が説明できる。
2コマ目	医療保障 1、医療保障制度に関する法律にはどのようなものがあるのか説明できる。 2、高額療養費制度について説明できる。 3、医療保険の種類とその対象者、特徴について説明できる。
3コマ目	介護保障 1、介護保険制度が創設された社会的背景について説明できる。 2、介護保険の保険者と被保険者、給付内容について説明できる。 3、要介護（要支援）認定の方法について説明できる。
4コマ目	所得保障 1、わが国の所得保障制度にはどのようなものがあるのか説明できる。 2、年金保険の種類とその対象者、給付の種類について説明できる。 3、労災年金の適応となる事故や障害、疾病などにはどのようなものがあるのか説明できる。
5コマ目	公的扶助 1、生活保護実施における4つの原則について説明できる。 2、8つの扶助の内容と給付の特徴について説明できる。 3、低所得者対策について説明できる。
6コマ目	社会福祉の分野とサービス・社会福祉の歴史 1、高齢者の生活状況について説明できる。 2、ノーマライゼーションの理念について説明できる。 3、児童相談所の役割について説明できる。 4、社会福祉の歴史を各段階ごとに説明できる。
7コマ目	社会福祉の実践と医療・看護 1、看護職が行う援助にはどのようなものがあるのか説明できる。 2、医療ソーシャルワーカーが必要とされる理由について説明できる。 3、各専門職種間や医療機関内で連携する際に留意すべき点について説明できる。

2022年度

関係法規

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	前島 良弘								

科目の目標

保健医療に関する法規や制度の理解を通して、看護師の責任と義務について学ぶ。
いのちの始まりから終わりまでに深く関わる職業ゆえの学ぶ内容の難しさ厳しさはありますが、きっと将来の糧になります。

関連教科

他の専門基礎科目にもかかわる重要な教科です。横断的な授業になりますのでしっかり学んでください。

時間外学習（予習・復習・課題）

教科書の該当頁に目を通しておいてください。

オフィスアワー

すべて1限目の授業になります。個別の質問等は授業前後で受け付けます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席率、単元別問題の成績	
試験（空所補充一記述、選択問題一番号選択）	

テキスト

新版 看護を学ぶための法と社会保障制度一実践版 看護職・看護学生必携
ふくろう出版

参考文献

なし

参考URL

なし

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

看護師養成校受験専門塾 啓学館

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

社会保障法 看護法社会学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 学習内容の概説 2. 看護の国際性について（条約と国内法の関係） 3. 看護の対象及び看護者の人生 4. 看護を取り巻く社会の現況（国民衛生の動向）
2コマ目	1. 看護師国家試験必出項目（医療保険・介護保険・保助看法等）の概況 2. 法と倫理の礎（生命の始期と終期）
3コマ目	1. 看護行為の法的性格についての考察（医療過誤問題を含む） 2. complianceと法的義務 3. 医療過誤と責任の類型
4コマ目	1. 保助看法、人材確保の促進に関する法律の概説 2. 保健衛生法規、予防衛生法規、医事薬事法規 3. 環境衛生、公害、学校関係法規
5コマ目	1. 労働関係法規 2. 社会保障の概説 3. 社会保険制度、公的扶助制度
6コマ目	1. 社会福祉制度 2. 児童福祉、母子福祉 3. 障害者福祉、高齢者福祉 4. 被災者福祉、貧困者福祉
7コマ目	1. 総復習 2. 終講試験対策
テスト	試験形式は、記述と選択問題で行う。

2022年度

人間関係論

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	佐藤 栄晃								

科目の目標

講義とワークを通し、基本的な人間関係のあり方、看護におけるスタッフ間・チームの中での人間関係と病気を抱える人とその家族との関係について理解し、人の心について多面的な見方、考え方ができるようになる。

関連教科

心理学
コミュニケーション技法

時間外学習（予習・復習・課題）

授業内容を参考に自分や他人が日々どのように人との関わりをしているのか、照らし合わせてみてください。
また、自分にとってプラスになると思える内容は普段の生活に反映させてみましょう。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
授業教室（グループワークへの取り組み方、ミニレポートなど）	
出席日数	

テキスト

系統看護学講座基礎分野 人間関係論
出）医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）
関西大学大学院 心理学研究科 博士課程後期課程 満退

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
社会心理学、感情心理学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	人間関係とは？（人間関係のとらえ方、プロセスなど）
2	対人関係の成り立ち、社会的役割について
3	コミュニケーションとは？
4	他者への態度について（説得や援助など）
5	集団と個人について（課題解決と意思決定など）
6	コミュニケーションの技法
7	カウンセリングと心理療法について（理論とスキル）
8	看護におけるチームワークについて（チーム医療と人間関係）
9	看護におけるチームワークについて（チームワークとコミュニケーションエラー）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
10	患者を支える人間関係について（患者・医療関係者間の人間関係）
11	患者を支える人間関係について（様々な場面での人間関係）
12	患者と家族を支える人間関係について（家族のケアとアプローチ）
13	ソーシャルサポートについて（周りを巻き込む人間関係）
14	看護における人間関係とは？
15	試験

2021年度

看護学概論Ⅰ-1

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

看護の原点や看護の理念、歴史的背景などを学習し、「看護とはなにか」を多方面から考えられる知識を身につける。また倫理や人権擁護について学習し、専門職に求められる姿勢や態度を学ぶ。
職業としての看護の歴史や看護教育制度の変遷を学び、看護の専門職に求められる社会的使命について考える。

関連教科

看護学概論Ⅰ-2（ナイチンゲール・プロジェクト学習）

時間外学習（予習・復習・課題）

講義中にお知らせします。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
課題（講義中に提示します）	

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅰ 看護学概論 基礎看護学①

医学書院

看護覚え書

日本看護協会出版会 著）F・ナイチンゲール

看護の基本となるもの

日本看護協会出版会 著）V・ヘンダーソン

看護者の基本的責務

日本看護協会出版会

参考文献

プロジェクト学習の基本と手法

教育出版 著）鈴木敏恵

ケアの本質

ゆるみ出版 著）ミルトン・メイヤーロフ

看護理論看護理論20の理解と実践への応用

南江堂

参考URL

特記事項

指示された提出物の提出期限は厳守する。（評価点に影響）
不明な点は積極的に質問する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床；小児看護、整形外科看護
学校；小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	看護の魅力を知り、看護師を目指すにあたり、必要なものは何か考えることができる。 1) 「看護エピソード」から、看護の魅力、看護とは何かを考えることができる。 2) 「協同学習」を通して、グループ活動の意義やメンバーとしての責任について知ることができる。
2コマ目	看護理論家や看護職能団体による「看護の定義」から、看護の本質的価値について考えることができる。 1) 看護の変遷を知り、近代看護について理解する。 2) ナイチンゲールの「看護覚え書」から「看護の価値」について考えることができる。 3) ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」から「看護の価値」について考えることができる。
3コマ目	看護の役割と機能について理解する。 1) 看護理論家がとらえていた「ケア」について学び、「看護ケア」とは何かを考えることができる。 2) 看護職に関する法律から「看護の役割」について理解する。 3) 看護の質の保障に欠かせない要件から、看護師として必要な能力について知ることができる。
4コマ目	看護の対象を理解する。 1) 人間の「こころ」と「からだ」について考えることができる。 2) 人間の「暮らし」について考えることができる。
5コマ目	国民の健康と生活の全体像について理解できる。 1) 「健康のとらえ方」や「健康の定義」について理解する。 2) 国民の健康と生活の全体像を知ることができる。 3) 家族の健康について考えることができる。（ナイチンゲール・プロジェクト学習）
6コマ目	看護職者の倫理と患者の権利擁護について基本的事項を理解する。 1) なぜ倫理について学ぶのか理解する。 2) 「倫理」とは何かを理解する。 3) 医療をめぐる倫理の歴史的経緯について理解する。 4) 看護実践における倫理問題への取り組みについて知る。
7コマ目	事例を通して看護師として倫理実践のあり方について学ぶ。 1) グループ討議を通して、倫理に基づく看護実践の在り方を考えることができる。 2) 「看護者の倫理綱領」の15条を守るための学生としての姿勢・行動について考えることができる。

2021年度

看護学概論 I -2

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

職業としての看護の歴史や看護教育制度の変遷を学び、看護の専門職に求められる社会的使命について考える。
《ナイチンゲール・プロジェクト学習》
制作や発表を通して、看護の視点やコミュニケーション力や表現力、自己評価力や相互評価力などを身につける。

関連教科

看護学概論 I - 1

時間外学習（予習・復習・課題）

ナイチンゲール・プロジェクト学習

オフィスアワー

ナイチンゲール・プロジェクト学習では、個別指導を行います。
アポイントの取り方は講義の中で説明します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プロジェクト学習	
課題（講義中に提示します）	

テキスト

系統看護学講座 専門 I 看護学概論 基礎看護学①
医学書院

参考文献

ポートフォリオとプロジェクト学習
医学書院 著）鈴木敏恵

参考URL

特記事項

指示された提出物の提出期限は厳守する。
不明な点は積極的に質問する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児看護、整形外科看護
教員経験；小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	職業としての看護の歴史やキャリア開発について知り、看護が果たすべき役割を理解する。 1) わが国の看護職が専門職として発展してきた歴史的背景を知り、職業としての看護について考えることができる。 2) 看護をめぐる制度と政策についてについて知る。 3) 看護職者の就業状況と継続教育の現状を知る。
2コマ目	看護における連携と協働について理解することができる。 1) チーム医療とは何かが説明できる。 2) チーム医療における看護の役割を考えることができる。
3コマ目	<ナイチンゲール・プロジェクト学習> プレゼンテーション用掲示物の制作と発表原稿作成 1) 効果的なプレゼンテーションにつながる掲示物を制作できる。 2) プレゼンテーションが成功するための工夫や練習ができる。 3) 他者の準備状況を知ること、自己評価ができる。
4・5コマ目	<ナイチンゲール・プロジェクト学習> 発表会 1) 聞き手に伝えたい内容が伝わるプレゼンテーションにすることができる。 2) 他者の発表に対して、よかった点・こうすればもっとよくなると考えた点を伝えることができる。 3) 他者の掲示物やプレゼン内容から表現方法や手法など見習うべき点を学ぶことができる。
6コマ目	<ナイチンゲール・プロジェクト学習> 再構築／凝縮ポートフォリオの作成 1) 発表会での学びを反映し、「大切な人」へのねがい（ビジョン）が叶う内容に再構築できる。 2) 「ビジョン・ゴール」「根拠」「具体的な提案」があり、見た人の役に立つ内容に作成することができる。
7コマ目	<ナイチンゲール・プロジェクト学習> 凝縮ポートフォリオについて意見交換することにより、学生間で知の共有を図る。 1) 自分以外の考え方や発想を得て、自己の成長につなげることができる。 2) 「凝縮ポートフォリオ」を学生間で互いに評価することができる。 3) 自分の成果物をさらに改善することができる。

2022年度

看護学概論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

1. 先達の看護理論を学び、自己の看護観を構築する。
2. 看護理論が看護実践や看護研究の中から発展してきたことを理解する。
3. 臨地実習で実施した看護実践を、看護理論をもとに振り返ることができる。

関連教科

看護学概論Ⅰ

看護学全般 基礎看護学実習Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

事前に「ケアの本質」ミルトン・メイヤロフ ゆみる出版を読んでおく。

看護学で学習した理論を想起し、看護理論に対する理解を深める。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
日々の振り返り、レポート	

テキスト

看護理論 看護理論20の理解と実践への応用
南江堂 著）編集 筒井真優美

系統看護学講座 専門Ⅰ 看護学概論 基礎看護学①
医学書院

ケアの本質
ゆるみ出版 著）ミルトン・メイヤロフ

参考文献

やさしく学ぶ看護理論
日総研 著）黒田裕子

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

基礎看護学、小児看護学、小児看護、整形外科看護

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1回目	1. 自己の看護に対する考えを振り返る。 2. 看護理論を学ぶ意義を理解する。 3. 看護理論が看護実践や看護研究の中から発展してきたことを理解する。
2回目	1. 看護理論が看護実践や看護研究の中から発展してきたことを理解する。 2. 主要な看護理論家の看護概念を学ぶ。 3. ミルトン・メイヤロフ ケアの本質からケアについて考える
3回目	1. 主要な看護理論家の看護概念を学ぶ。
4回目	1. 主要な看護理論家の看護概念を学ぶ。
5回目	1. 主要な看護理論家の看護概念を学ぶ。
6回目	1. 実習で実施した看護実践をケアの本質をもとに振り返る。 2. 基礎看護学実習Ⅱグループで話し合い、発表内容をまとめ、発表原稿をまとめる。 発表方法は、パワーポイント、OHCなど各グループで決定する。
7回目	1. 発表会 基礎看護学実習Ⅱグループで話し合い、発表内容をまとめたものを発表する。 発表時間は1グループ 5分

2021年度

基礎看護学方法論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

1. 看護の対象を捉えるためのスクリーニング技術の構成内容を理解する。
2. 看護における記録・報告について学ぶ。

関連教科

看護学概論Ⅰ
コミュニケーション技法
基礎看護学技術論Ⅰ～Ⅶ
基礎看護学方法論Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

予習・復習を行い講義に臨んで下さい。
課題は講義中にお知らせします。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
課題（講義中に提示します）	

テキスト

系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ
医学書院

参考文献

看護がみえる③フィジカルアセスメント
メディックメディカ

参考URL

特記事項

指示された提出物の提出期限は厳守する。
不明な点は積極的に質問する。
グループ活動における自己の責任を果たす。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：小児看護、整形外科看護

教員経験：小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. ヘルスアセスメントの意義と目的について述べることができる。 2. ヘルスアセスメントに必要な技術の構成と運用について述べることができる。
2・3コマ目	1. 全身の概要を把握するための技術の実際について述べることができる。 2. 全身の身体的自覚症状を把握するための内容と方法について述べることができる。 3. 精神・身体機能を把握するための確認すべき項目と選択肢について述べることができる。
4コマ目	1. 健康歴と保健行動を把握するための確認すべき項目について述べることができる。
5コマ目	1. 生活状況とその背景を把握するための確認すべき項目について述べることができる。
6コマ目	1. 看護に必要なインタビューの進め方について理解する。
7コマ目	1. 看護における記録・報告の意義と目的について述べることができる。 2. 記録・報告の内容と方法について述べることができる。 3. 法律からみた記録の意義について述べることができる。

2021年度

基礎看護学方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

看護実践の方法論として、看護の守備範囲や看護問題の表記方法など看護問題／看護診断の基礎を含めて、問題志向型システムである看護過程を理解する。また、看護過程の展開について、実際の記録を使用し、具体的方法を習得する。

関連教科

論理的思考、看護学概論、基礎看護学方法論Ⅰ、基礎看護学技術論Ⅰ～Ⅴ

時間外学習（予習・復習・課題）

事前課題は必ず行って授業に臨むこと。
グループワーク中心の授業となるので、メンバーとして自己の責任を果たすこと。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
提出課題	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②

医学書院

NANDA－Ⅰ 看護診断 定義と分類

医学書院

看護がみえる④看護過程

メディックメディカ

参考文献

看護技術がみえるⅠ 基礎看護技術

メディックメディカ

看護がみえる③フィジカルアセスメント

メディックメディカ

参考URL

特記事項

「協同学習」の学びあいを通して理解を深めていきます。そのため、グループの一員として事前課題は責任を持って行ってください。

「自分で考えて書いてみる」を通して学んでいく科目です。実際に患者に看護するための大切な授業であることを認識しておいてください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児看護、整形外科看護
教員経験；小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 授業の進め方を理解する。 2. 「看護過程とは何か」について述べることができる。 3. 問題解決過程と看護過程について理解できる。
2コマ目	1. クリティカルシンキングを用いる必要性について述べることができる。 2. クリティカルシンキングの思考方法について述べることができる。
3コマ目	1. 看護における情報の必要性を述べることができる。 ※ゴードンの11の機能的健康パターンを使いながら、情報収集を行うことの必要性を理解する。
4・5コマ目	1. 知識を使って情報が持つ意味を考えることができる。
6・7コマ目	1. 事例を通して、ゴードンの機能的健康パターンに基づいて情報を整理する実際について学ぶ。 2. 既習の知識や事前学習を使って情報分析する方法がわかる。
8・9コマ目	1. 対象の全体像の把握（統合）についてわかる。 2. 統合のための関連図の書き方がわかる。 3. 関連図を基に看護問題が抽出できる。
10・11コマ目	1. 看護診断とは何かがわかる。 2. 看護診断の方法・表記の意味がわかる。 3. 看護診断（看護問題）の優先順位のつけ方がわかり、統合できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

12コマ目	1. 期待される成果の明確化について理解できる。 2. 患者目標の書き方がわかる。
13・14コマ目	1. 目標を達成するための具体的な看護計画が立案できる。 2. SOAPの記載ルールがわかる。 3. 評価の意義・目的がわかる。

2021年度

基礎看護学技術論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	椎原 由美子								

科目の目標

1. 人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための援助の方法を学ぶ。
2. 人間の生活における活動と休息について学ぶ。
- ① 生活・活動とリネン交換の目的・準備物品・手順・根拠について理解し、活動と休息への援助方法について

関連教科

- ・解剖生理学Ⅰ
- ・解剖生理学Ⅱ
- ・看護学概論Ⅰ
- ・基礎看護学方法論Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

1. 課題 ①ベッドメイキング：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
- ②リネン交換の目的：準備物品、手順、根拠、留意点
- ③体位変換・体位保持：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
- ④車椅子移乗・移送：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
- ⑤ストレッチャー移乗・移送：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
2. ベッドメイキング、リネン交換の練習

オフィスアワー

月～金 8：30～17：30 教務室担当者に申し出てください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
提出物、練習状況	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③

医学書院

看護技術がみえる vol.① 基礎看護技術

MEDIC MEDIA

参考文献

参考URL

特記事項

- ・学内演習時の身だしなみについて理解した上で、学内演習に臨んでください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

椎原由美子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：救急看護、呼吸器内科看護
教員経験：在宅看護論、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

武田 ひとみ
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：小児看護
教員経験：小児看護学、基礎看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

山下 久美子
近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護（循環器・消化器）、脳神経外科看護、小児看護、母性看護
教員経験：基礎看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	看護技術について 1. 看護技術の特徴について知ることができる。 環境調整技術 1. 生活環境の意義について理解する。 2. 生活環境が健康に及ぼす影響について理解する。
2	環境調整技術 援助の基礎知識 1. 病室の環境のアセスメントと調整について理解する。 2. ベッド周囲の環境整備について理解し、実践をイメージできる。
3	環境調整技術 1. ベッドメイキングの目的・実施方法を理解し、実践をイメージできる。
4～5	環境調整技術 援助の実際 * 学内演習 1. 学内演習でベッドメイキングを実践する。
6	活動・休息援助技術 睡眠と休息の援助 1. 睡眠と休息が人間の生命や生活に与える影響を理解する。 2. 睡眠を促す必要がある状況と対応した援助について理解する。
7～10	活動・休息援助技術 基本的活動の援助 * 講義・学内演習 1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解する。 2. さまざまな体位とその目的を理解し、身体を動かすこと・保持することの生理的・身体的意義を理解する。体位変換の援助を学ぶ。 3. 移送の基本と移動を補助する器具について理解し、杖歩行の援助を学ぶ。 4. 車椅子・ストレッチャーについて理解し、移乗の援助と移送の方法を学ぶ。 苦痛の緩和・安楽確保の技術 1. 体位保持（ポジショニング）の意義を理解し、移乗の援助と移送の方法を学ぶ。
11～12	活動・休息援助技術 * 学内演習 1. 安楽な体位を保持する方法を身につける。 2. 車椅子移乗・移送を実践する。 3. 対象が安全・安楽に移動できる援助方法を習得する。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

13～14	環境調整技術 * 学内演習 1. 臥床患者のシーツ交換の目的・実施方法を理解し実践をイメージできる。 2. 学内演習で臥床患者のベッドメイキングを実践する。 3. 活動・休息援助技術で学んだ知識・技術・態度を活用し実践する。
15	筆記試験

2021年度

基礎看護学技術論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山下 久美子、椎原 由美子、武田 ひとみ								

科目の目標
皮膚・粘膜の構造と機能を知り、人間の生活における身体の清潔と衣生活の意義を理解し、清潔および更衣の援助方法について学ぶ。
学内実習を通し、清潔の援助・寝衣交換について考え実施する。

関連教科
解剖生理学
基礎看護学技術論Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）
課題：全身清拭（石鹸清拭）・足浴・手浴・洗髪・陰部洗淨・寝衣交換の根拠と手順
課題についての詳細は、講義内で説明します。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況（技術練習含む）態度、提出物	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③
医学書院
看護がみえる① 基礎看護技術
MEDIC MEDIA

参考文献

講義内で、紹介します。

参考URL

特記事項

3コマ目から14コマ目の学内実習期間中は、講義以外に自己練習の時間（土曜日含む場合がある）があります。
平日：朝練習は8：00より 夕練習は講義終了後から18：00まで（18：00には下校すること）
土曜：朝練習は8：00から12：00まで

①実務経験のある教員による科目（本務先）

山下久美子

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護（循環器・消化器）脳神経外科看護、小児看護、母性看護

教員経験：基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

椎原 由美子

近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：救命救急センター、呼吸器内科看護

教員経験：在宅看護論、基礎看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

武田 ひとみ

近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：小児看護

教員経験：小児看護学、基礎看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 皮膚、粘膜の構造と機能について理解することができる。 2. 身体の清潔が生体や精神に及ぼす影響と意義について理解できる。 3. 清潔を保持するための方法と留意事項について理解できる。
2コマ目	1. 衣生活の意義を理解する。 2. 病衣交換の方法と留意事項について理解できる。
3・4コマ目	清潔援助 演習①② 手浴・足浴の技術練習を行う。
5・6コマ目	清潔援助 演習③④ 洗髪 of 技術練習を行う。
7・8コマ目	清潔援助 演習⑤⑥ 全身清拭・寝衣交換の技術練習を行う。
9・10コマ目	清潔援助 演習⑦⑧ 全身清拭・寝衣交換の技術練習を行う。
11・12コマ目	清潔援助 演習⑨⑩ 陰部洗浄の技術練習を行う。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

13・14コマ目	学内実習 グループ別に指導教員の指導を受け、全身清拭・寝衣交換を実施する
15コマ目	筆記試験

2021年度

基礎看護学技術論Ⅲ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	椎原 由美子、山下 久美子								

科目の目標

1. 対象の身体的情報を客観的に把握する技術として、身体計測とバイタルサイン測定の意義と方法を学ぶ。
2. 学内実習を通し、バイタルサイン測定の基本的方法を習得する。

関連教科

解剖生理学
基礎看護学方法論Ⅰ
基礎看護学技術論Ⅶ

時間外学習（予習・復習・課題）

1. バイタルサイン（意識・呼吸・循環・体温）に関連する解剖生理学の知識を想起して臨む。
2. ヘルスアセスメントとしてのスクリーニングの技法について想起して臨む。
3. 8コマ目の学内実習ガイダンスまでに、バイタルサインに関連する自己学習を進める。
（課題：①設定患者の発達段階の特徴 ②体温調整のメカニズム ③バイタルサインの生理的変動因子 ④バイタルサイン測定の意義、観察内容、測定方法と留意事項）
4. 技術練習についてはガイダンス時に説明します。

オフィスアワー

- ・月～金 8:30～17:30
- ・学内実習期間中の授業時間外に技術指導が可能な時間は、学内実習ガイダンス時に説明します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
学内実習：記録類（基礎看護技術実施要項）、提出物（課題）	
学内実習：技術の習得状況、練習状況	

テキスト

系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ
医学書院

系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ
医学書院

フィジカルアセスメントがみえる
メディックメディカ

参考文献

基礎看護技術 第7版
医学書院 著）阿曾洋子・井上智子・氏家幸子

参考URL

特記事項

バイタルサインに関連する解剖生理学の知識を想起して臨む。
学内実習では時間を有効に活用し、積極的に技術練習を行う。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

椎原由美子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、呼吸器内科看護
教員経験；在宅看護論、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

山下 久美子
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；内科看護（循環器・消化器）脳神経外科看護、小児看護、母性看護
教員経験；基礎看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	ヘルスアセスメントとして、バイタルサインの観察を行う意義について理解できる。
2コマ目	バイタルサインの観察：体温 1. 体温調節機能に関する復習ができる。 2. 体温の正常と異常が理解できる。 3. 体温の観察と測定方法について理解できる。
3コマ目	バイタルサインの観察：呼吸 1. 換気のみカニズムと呼吸の調整について復習できる。 2. 呼吸の正常と異常について理解できる。 3. 呼吸の観察と測定方法について理解できる。
4～5コマ目	バイタルサインの観察：循環（脈拍・心拍・血圧） 1. 循環動態の基礎的知識の復習ができる。 2. 脈拍・心拍・血圧の正常と異常、環境因子について理解できる。 3. 脈拍・心拍・血圧の観察と測定方法について理解できる。
6コマ目	バイタルサインの観察：意識レベル 1. 意識が正常に保たれるしくみについて理解できる。 2. 意識レベルの正常と異常、観察と測定方法について理解できる。
7コマ目	ヘルスアセスメントとして、身体計測を行う意義について理解できる。 身体計測 1. 身体各部の計測方法と留意点について理解できる。
8コマ目	学内実習：ガイダンス 1. 学内実習において何を学ぶか明確にする。 2. 模擬事例について具体的にイメージできる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

9～12コマ目	学内実習：実習関係 1. デモンストレーション見学後、グループ別にバイタルサイン測定の練習を行う。 2. バイタルサインの測定結果を正しく記録する。
13～14コマ目	学内実習 グループ別に指導教員の指導を受け、「臥床患者のバイタルサイン測定」を実施する。
15コマ目	筆記試験

2021年度

基礎看護学技術論Ⅳ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	武田 ひとみ								

科目の目標

1. 人間の生活における食と排泄の意義を理解し、その援助方法を学ぶ。
2. 学内演習を通し、排泄援助について考え、実施する。

関連教科

- ・解剖生理学
- ・代謝栄養学
- ・看護学概論Ⅰ
- ・基礎看護学方法論Ⅰ
- ・基礎看護学技術論Ⅰ～Ⅲ

時間外学習（予習・復習・課題）

- ・受講前に「経鼻経管栄養法」「中心静脈栄養法」「導尿」「グリセリン浣腸」「摘便」「罨法」「包帯法」について、目的、必要物品、手順、留意点について学習しておくこと。
- ・「グリセリン浣腸」DVDを視聴したうえで9コマ目を受講すること。

オフィスアワー

講義時間外に技術練習を行う場合は、事前に申し出る

こと
朝：8：00～講義開始（講義開始時間に遅刻しない

ように）
放課後：講義終了～17：45（18：00には全員下校で

きるように）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況（自己練習を含む）、態度、提出物	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③

医学書院

看護がみえるvol① 基礎看護技術

メディックメディア

看護がみえるvol② 臨床看護技術

メディックメディア

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

武田ひとみ

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児看護

教員経験；小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	食事援助技術 1. 対象の栄養状態および食欲・摂食能力のアセスメントの方法を理解する。
2	食事援助技術 1. 食事介助の具体的な方法を学ぶ。 2. 経口的な栄養摂取が行いにくい場合の摂食・嚥下訓練について学ぶ。
3	食事援助技術 1. 非経口的な栄養摂取の援助の概略について理解し、経鼻経管栄養法の具体的な方法を学ぶ。 2. 中心静脈栄養法について学ぶ。
4	排泄援助技術 1. 排泄の意義とメカニズム、アセスメントの方法を理解する。 2. 自然排尿、排便の介助を学ぶ。
5	排泄援助技術 * 実習室使用予定 1. 自然排尿および自然排便の介助の実際を学ぶ。 1) トイレにおける排泄介助 2) 床上排泄援助 3) おむつによる排泄援助
6	排泄援助技術 * 実習室使用予定 1. 一時的導尿、持続的導尿について学ぶ。
7～8	排泄援助技術 1. 排便を促す援助について学ぶ。 2. 臥床患者に対する床上排泄の援助技術を学ぶ。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

9～10	排泄援助技術 *実習室使用予定 1. グリセリン浣腸実施時の援助の実際を学ぶ。 2. 学内実習の進度を理解し、グループで活動できる。 3. 排泄援助技術（グリセリン浣腸）についてイメージできる。
11～12	学内演習 *実習室使用予定 1. 臥床患者に対して安全・安楽にグリセリン浣腸の実施ができる。
13	罨法 1. 罨法の目的と種類、使用方法について理解する。
14	包帯法 *実習室使用予定 1. 包帯法の種類と方法、選択について理解する。 2. 包帯の巻き方について理解する。
15	筆記試験

2021年度

基礎看護学技術論Ⅴ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山下 久美子、武田 ひとみ								

科目の目標

感染予防の意義と原則を理解し、院内感染の原因やその制御のための基礎知識と感染予防の方法を学ぶ
学内演習を通し、無菌操作を習得する。

関連教科

解剖生理学
微生物学
基礎看護学技術論Ⅳ

時間外学習（予習・復習・課題）

「導尿」DVDを視聴したうえで8コマ目を受講してください。
9～13コマ目 学内演習期間は、平日の16：30～18：00、土曜日の9：00～12：00技術練習を設けています。

オフィスアワー

特になし

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況（自己練習を含む）、態度、実技、提出物	

テキスト

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③

医学書院 著）有田清子他

看護が見える① 基礎看護技術

メディック メディカ 著）岡庭 豊

参考文献

写真でわかる基礎看護技術

インターメディカ 著）吉田みつ子他

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

山下久美子

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；内科看護（循環器・消化器）、脳神経外科看護、小児看護、母性看護

教員経験；基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

武田 ひとみ

近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：小児看護

教員経験：小児看護学、基礎看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	感染予防① 1. 感染のメカニズムおよび感染予防の意義と目的を理解する。 2. 標準予防策（スタンダードプリコーション）の基礎知識について理解する。
2コマ目	感染予防② 1. 標準予防策（スタンダードプリコーション）の実際の方法について理解する。 2. 感染経路別予防策について理解する。
3コマ目	感染予防③ 1. 洗浄・消毒・滅菌について理解する。
4コマ目	感染予防④ 1. 無菌操作の基礎知識と方法について理解する。 2. 感染性廃棄物の取り扱いについて理解する。
5コマ目	創傷管理 1. 創傷の治癒過程と治癒形態について理解する。
6・7コマ目	感染予防 演習 演習内容：衛生的な手洗い、滅菌手袋の着脱方法、ガウンテクニック、無菌操作
8コマ目	ガイダンス 学内演習「無菌操作・導尿」 1. 学内実習において何を学ぶかを明確にする。 2. 模擬事例について具体的にイメージできる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

9～11コマ目	実習関係 デモンストレーション見学後、グループ別に無菌操作による導尿の練習を行う。
12コマ目	実習準備 環境整備、必要物品の準備
13～14コマ目	学内実習 装着モデルを使用し、「臥床患者の導尿」を教員の指導のもとグループ別を実施する。
15コマ目	筆記試験

2021年度

コミュニケーション技法

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	菊地 美鈴、岩戸 さゆき								

科目の目標
コミュニケーションの基本的技術を習得し、対象が思いや考えを表出できる関係構築の技法を演習を通して身につけることができる

関連教科
心理学、人間関係論

時間外学習（予習・復習・課題）
6回目・12回目後にレポート提出があります。

12・13回目は、実習室で演習をします。学校指定の体操着、ナースシューズを着用してください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席状況・提出物	
筆記試験	

テキスト
看護コミュニケーション（基礎から学ぶスキルトレーニング）
医学書院

参考文献
基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護学②
医学書院

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

菊地 美鈴
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神神経科・心臓血管外科・精神看護学・成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

岩戸 さゆき
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児看護学・在宅看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1 回目	コミュニケーションとは何か ・コミュニケーションの構成要素と成立過程 ・コミュニケーションの特徴
2 回目	1. コミュニケーションの種類 ・言語的・非言語的コミュニケーション
3 回目	コミュニケーションに影響するもの ・良好なコミュニケーションに必要なこと ・コミュニケーションに影響する要因とは
4 回目	医療（看護）におけるコミュニケーション ・看護におけるコミュニケーションとは ・患者中心の看護面接
5 回目	良好なコミュニケーションに必要な技法 - 質問技法 ・聴くための技法・質問技法
6 回目	積極的傾聴と共感 ・積極的な傾聴と共感 ・看護学生にとっての共感とは
7 回目	良好なコミュニケーションに必要な技法 - 関係構築の技法 ・感情探索の技法 ・表出された感情に対応する技法

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8 回目	看護面接のプロセスの 1 3 STEP ・ 患者中心の面接 ・ 医療者中心の面接への移行 ・ 統合された看護面接
9 回目	看護面接トレーニング
10 回目	高度なコミュニケーション
11 回目	多職種連携とコミュニケーション
12 回目	患者家族とのコミュニケーション
13 回目・14 回目	学生間でロールプレイングする
15 回目	筆記試験

2022年度

基礎看護学技術論Ⅵ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	武田 ひとみ								

科目の目標

薬剤が人体に及ぼす影響を理解し、与薬に関する基礎的知識と安全な与薬方法を学ぶ。
診察の目的と看護師の役割を理解し、診察時の対象の援助方法を理解する。

関連教科

解剖生理学
薬理学
臨床検査論
看護学概論Ⅰ
基礎看護学方法論Ⅰ・Ⅱ
基礎看護学技術論Ⅰ～Ⅴ

時間外学習（予習・復習・課題）

既習の関連教科について復習を行い、講義に臨む「経口与薬・口腔内与薬」「吸入」「点眼」「点鼻」「経皮的与薬」「直腸内与薬」「注射（皮下注射・皮内注射・筋肉内注射・静脈内注射）」「輸血管理」について予習しておくこと
（事前に配布した課題用紙を参照してください）

オフィスアワー

講義時間外の技術練習（事前に申し出ること）
朝：8：00～講義開始（講義の開始時間に遅刻することがないように）
放課後：講義終了～17：45（18：00には全員が下校できるように）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況、態度、提出物	

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3
医学書院
看護がみえる vol. ① 基礎看護技術
メディックメディア
看護がみえる vol. ② 臨床看護技術
メディックメディア

参考文献

基礎看護技術Ⅱ 第7版
医学書院

参考URL

特記事項

技術練習時には、安全に留意して実施すること

①実務経験のある教員による科目（本務先）

武田ひとみ

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児看護

教員経験；小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第1回	与薬の基礎 1. 与薬に関する基礎知識を学ぶ。 2. 各与薬方法の違いを知り、薬物による人体への影響を理解する。 3. 薬物療法における看護師の役割について理解する。 4. 与薬に伴う危険性と法的責任を理解する。
第2～3回	与薬の基礎 1. 与薬の種類と目的について理解する。 2. 注射の種類と目的について理解する。 3. 安全な注射の実施方法を理解する。 4. 安全な注射部位の確認方法を理解する。
第4～6回	注射の実際 1. 安全な注射の実施方法を理解する。 皮内注射・皮下注射・筋肉内注射・静脈内注射
第7回	輸血管理 1. 輸血の取り扱いの基本について理解する。 2. 安全に輸血を実施するための援助方法を理解する。
第8回	診察・検査 1. 診察・検査時の看護師の役割について理解する。 2. 診察・検査時の対象者の心理を理解する。 3. 診察時の援助方法を理解する。 4. 検査の意義と目的・方法について理解する。 5. 検査の種類と検体採取方法を理解する。 6. 検査時の援助方法・看護を理解する。
第9～10回	学内演習：静脈血採血 1. 静脈血採血の実施方法を理解する。
第11～13回	学内演習：点滴静脈内注射 1. 点滴静脈内注射の準備が正確にできる。 2. 装着モデルを用いて、点滴静脈内注射が実施できる。 3. 対象の安全・安楽を考え、実施時の観察・説明ができる。 ※第11回は演習に向けた練習になります。 第12・13回は技術演習になります。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

第14回	学内演習：輸液管理 1. 点滴静脈注射中の滴下調整が実施できる。 2. 三方活栓の使用方法・注意点が理解できる。 3. 点滴静脈注射実施中の観察点がわかる。
第15回	筆記試験

2022年度

基礎看護学技術論Ⅵ-実習

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	武田 ひとみ、中谷 能子								

科目の目標

薬剤が人体に及ぼす影響を理解し、与薬に関する基礎的知識と安全な与薬方法を学ぶ。
校内実習を通し、安全で確実な筋肉内注射、皮下注射の技術を習得する。

関連教科

解剖生理学
臨床薬理学
臨床検査論
看護学概論Ⅰ
基礎看護学方法論Ⅰ・Ⅱ
基礎看護学技術論Ⅰ～Ⅴ

時間外学習（予習・復習・課題）

筋肉内注射の動画を視聴したうえで受講すること。
基礎看護技術実施要項P89～について内容を確認し、筋肉内注射の模擬患者の状態を理解したうえで受講すること。

オフィスアワー

講義時間外の技術練習
朝：8：00～講義開始（講義の開始時間に遅刻することがないように）
放課後：講義終了～17：45（18時には全員が下校すること）

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②
医学書院
系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③
医学書院
看護がみえる vol. ① 基礎看護技術
メディックメディア 著）編集：医療情報科学研究所
看護がみえる vol. ② 臨床看護技術
メディックメディア 著）編集：医療情報科学研究所
フィジカルアセスメントがみえる
メディックメディア 著）編集：医療情報科学研究所

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	
出席状況（自己練習含む）、態度、提出物	

参考文献

参考URL

特記事項

・技術練習、実技試験において、各自が安全に留意し実施すること

①実務経験のある教員による科目（本務先）

武田ひとみ
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：小児看護
教員経験：小児看護学、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

中谷 能子
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：母性看護、新生児看護
教員経験：基礎看護学、小児看護学、母性看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1～5コマ目	ガイダンス・実習関係 ガイダンス実施後、デモンストレーションを見学したうえでグループ毎に筋肉内注射の練習を行う。
6コマ目	実習関係 1. 実技試験についてイメージし、環境整備、準備ができる。 2. 実技試験に向けて技術練習ができる。
7・8コマ目	実技試験 1. 対象の安全・安楽に配慮し、筋肉内注射、皮下注射を実施する。

2022年度

基礎看護学技術論Ⅶ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	横山 博美、富森 洋子、杉本 美恵、森 文美代								

科目の目標

- 1. フィジカルアセスメントの意義について理解する。
- 2. 問診・身体診察で得られた情報を解釈・分析する思考過程を学ぶ。
- 3. 演習を通し、対象の身体的状態を系統別に観察する技術を学ぶ。

関連教科

解剖生理学、基礎看護学方法論Ⅰ、基礎看護学技術論Ⅲ
【疾病論】

オフィスアワー

特になし

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ
医学書院
フィジカルアセスメントがみえる③
メディックメディカ

参考URL

特記事項

- 1. 事前課題・演習の課題は確実に行之い、提出物の期限を守ってください。
- 2. 演習では、学生同士で実施するためパートナーのプライバシーに十分配慮してください。
- 3. シミュレーションセンター演習の前にガイダンスを実施します（1コマ）。

時間外学習（予習・復習・課題）

- 1. ナーシングスキルを活用のうえ、映像があれば視聴し、テストも実施し、授業に臨んで下さい
①呼吸・循環；春期休暇および授業前（3月22日配布資料参照）
②脳神経系；第10回までに動画視聴をした上で参加してください。
③消化器；第12回までに動画視聴しておいてください。

- 2. 系統別に事前課題（解剖学的位置・生理機能に関する内容）があります。
①呼吸・循環（1年次3月22日配布資料参照）
・事前課題シート（呼吸）（循環）：基礎看護学技術論Ⅶ1回目（4月8日（金））8：45までに提出箱に提出
・シミュレーションセンター実習前にも課題を提示しま

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
提出物・出席状況・受講態度	

参考文献

フィジカルアセスメント完全ガイド第2版
学研
フィジカルアセスメントガイドブック第2版
医学書院

①実務経験のある教員による科目（本務先）

横山 博美
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；外科看護（循環器外科・呼吸器外科・消化器外科・耳鼻咽喉科）
教員経験；成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

森 文美代
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；内科看護（消化器・血液・膠原病・腎臓）
教員経験；基礎看護学、成人看護学、在宅看護論

③実務経験のある教員による科目（本務先）

富森 洋子
近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、内科看護（呼吸器・内分泌代謝・腫瘍・神経内科）、眼科
教員経験；成人看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

杉本 美恵
近畿大学附属看護専門学校

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；脳外科看護、内科看護、在宅看護
教員経験；在宅看護論

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	総論 第1回 フィジカルアセスメントの意義と基礎 第1回：講義 1. 看護におけるフィジカルアセスメントの意義を理解できる。 2. フィジカルイグザミネーションの基本が理解できる。 3. フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ※ 聴診器を持参ください。
2-4	呼吸器系 第2・3回：講義 1. 呼吸器の構造と機能が理解できる。 2. 呼吸の観察方法が理解できる。 3. 異常呼吸音と病態が理解できる。 呼吸器系 第4回：演習 1. 問診・視診・触診・打診・聴診の基本的技法を実施できる 2. 意図的・系統的に観察できる 3. 倫理的配慮をしながら対象の協力を得て実施できる 4. 得られた情報の意味を評価できる
5-7	循環器系 第5回：講義、第6・7回：演習 1. 心臓の構造と機能が理解できる。 2. 心臓・血管について観察方法が理解できる。 3. 末梢循環の観察が実施できる。 4. 心音の聴取が実施できる。
8	1. シミュレーションセンター演習 ※別途、別日にガイダンスを行う。 2. シミュレーションモデルを通して呼吸音・心音（正常・異常）の聴取ができる。
9-11	神経系 【第9回：講義】【第10回：講義、第11回：演習】 1. 中枢神経系の構造と機能が理解できる。 2. 生命維持機能の観察方法が理解できる。 3. 意識状態を評価できる。 4. 脳神経系の観察が実施できる。
12-14	消化器系 第12回：講義、第13・14回：演習 1. 消化器系の構造と機能が理解できる。 2. 消化器系の観察方法が理解できる。 3. 消化器系の問診・視診・聴診・打診・触診を実施できる。 4. 観察結果に基づき機能面についてアセスメント・記録できる。
15	終講試験

2021年度

成人看護学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	加藤 あゆみ								

科目の目標

1. 成人各期の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、それぞれのライフサイクルがもたらす健康障害を理解できる。
2. 成人看護の役割を理解し、成人を看護するときのアプローチについて理解できる。
3. 成人看護における健康活動の理解し、健康の維持・増進し疾病予防を図る活動について

関連教科

基礎看護学方法論1
精神看護学総論

時間外学習（予習・復習・課題）

社会生活をおくる成人期の身近な人、自分自身の生活をイメージしながら講義に臨んでください。
健康に関するニュースや記事、市町村が発行している健康だよりに興味・関心を持ち、看護の視点につなげられるようにしましょう。
上記の内容が授業に対しての予習、課題となります。

オフィスアワー

月～金曜日 9：00～17：30
※上記以外の時間に関しては相談してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席・提出物などの内容も含む評価	

テキスト

成人看護学 成人看護学概論
南江堂

参考文献

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔1〕成人看護学総論
医学書院
中範囲理論入門
日総研出版
ナースング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論
メディカ出版
生涯人間発達論
医学書院
国民衛生の動向
厚生労働統計協会

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

加藤あゆみ

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：心臓血管外科、内科（消化器・血液膠原病）、皮膚科、形成外科

教員経験：成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 人間の一生の中での成人期を述べることができる。 2. 成人の発達課題を述べることができる。
2・3コマ目	1. 成人各期の身体的・精神的・社会的特徴を述べることができる。
4・5コマ目	1. 成人各期に起こりやすい健康障害を述べることができる。 2. セクシャリティ・性感染症に関する健康障害を述べることができる。
6コマ目	1. 成人期の生活（生活環境・余暇・家族・役割・価値・信念など）について理解することができる。
7コマ目	1. グループワークを通して、成人期の生活をアセスメントする視点を考えることができる。
8コマ目	1. 生活習慣に関連する健康障害について述べることができる。
9コマ目	1. 生活習慣病対策について述べることができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

10コマ目	1. 成人期を対象とした保健対策の現状について述べることができる。 2. 成人期の健康状況の動向について述べることができる。
11コマ目	1. 職業に関する健康障害について述べることができる。 2. 職場における成人の健康生活への活動について述べることができる。
12コマ目	1. 成人期におけるストレスに関連する健康障害について理解することができる。
13コマ目	各市町村が実施している健康に関する事業について調べ、発表を行う。
14コマ目	1. 多様な健康問題に対する看護の役割について述べることができる。 2. 成人学習者の特徴と成人への看護アプローチの方法を述べることができる。
15コマ目	筆記試験

2022年度

成人看護学方法論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	富森 洋子、加藤 あゆみ								

科目の目標
生涯にわたり疾患のコントロールが必要な人が、自己をコントロールしながら可能性と限界を受け入れ生きる希望を見いだせる関わりを学ぶ。

関連教科
成人看護学総論、疾病論Ⅱ、代謝栄養学、基礎看護学方法論Ⅱ

オフィスアワー
月～金曜日 8：40～17：00
※上記以外の時間は相談してください。

テキスト
パーフェクト 臨地実習ガイドⅡ 慢性期・回復期・終末期
照林社 著）編集 野並葉子
糖尿病食事療法のための食品交換表
文光堂 著）日本糖尿病協会 編
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝
医学書院
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学5 消化器
医学書院
看護学テキストNICE 成人看護学概論
南江堂 著）編集 林直子
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学8 腎・泌尿器
医学書院
看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護
南江堂 著）鈴木 久美、旗持 知恵子他

参考URL
特になし

特記事項
1. 課題はルールに則り確実に行いましょう
2. 講義に必要と考える既習の講義資料・文献等も自己で判断し持参し活用しましょう

時間外学習（予習・復習・課題）
令和4年3月22日配布資料にて伝達
《 事前課題 》
1) 事前課題
1. 肝臓・胆道・膵臓・腎臓の解剖生理と働き（※この項目は必ず手書きとする）
2. 血液検査データーの正常値・異常値、ICG検査について（目的・手順・注意事項）
3. ファイリング：成人総論・老年看護学総論で作成した『各発達段階とその特徴』
アセスメント1 見本 No.3 - ①
成人看護学総論の講義資料をファイリングしているので、そのファイルを使用する
（今回の課題、成人看護学総論の講義資料の順にはさむこと）

成績評価方法・基準	
評価項目	割合
終講試験	
受講態度、課題などの提出物、グループワークの内容も含む総合評価	

参考文献
糖尿病療養指導ガイドブック 2021—糖尿病療養指導士の学習目標と課題
メディカルレビュー社 著）日本糖尿病療養指導士認定機構編・著

①実務経験のある教員による科目（本務先）

富森洋子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、内科看護（呼吸器・内分泌代謝・腫瘍・神経内科）、眼科
教員経験；成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

加藤あゆみ
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；心臓血管外科、内科（消化器・血液膠原病）、皮膚科、形成外科
教員経験；成人看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	1. 疾患を持ちながら生活することの意味を考えることができる。 2. ヘルスビリーフモデルや変化ステージモデルについて述べるができる。
2・3・4・5	1. 肝機能障害のある患者（B型肝炎・肝硬変）の看護を考えることができる。 2. 肝機能障害のある患者に対する治療（特に腹部血管造影・内視鏡）について理解し、看護を考えることができる。
6・7・8・9・10・11	糖尿病教育入院患者の事例展開 1. 事例展開を通して必要な看護を考えることができる。 2. 自己血糖測定・インスリン注射の体験 ※グループワーク実施
12・13・14	腎不全とともに生きるセルフマネジメント支援 1. 腎機能障害のある看護を考えることができる 2. 透析療法を受ける人の看護を学ぶことができ、血液透析と腹膜透析の違いを述べるができる。
7	腎不全とともに生きるセルフマネジメント支援 1. 腎機能障害のある看護を考えることができる 2. 透析療法を受ける人の看護を学ぶことができ、血液透析と腹膜透析の違いを述べるができる。
8・9・10	糖尿病教育入院患者の事例展開 1. 事例展開を通して必要な看護を考えることができる。 2. 自己血糖測定・インスリン注射の体験 ※グループワーク実施
11・12・13・14	1. 肝機能障害のある患者（B型肝炎・肝硬変）の看護を考えることができる。 2. 肝機能障害のある患者に対する治療（特に腹部血管造影・内視鏡）について理解し、看護を考えることができる。
15	終講試験

2022年度

成人看護学方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	横路 香吏、横山 博美、紺屋 洋子								

科目の目標

周手術期にある成人期の対象と家族を理解し、周術期の経時的変化をとらえながら必要な看護を理解できる

関連教科

解剖生理学、病理学、疾患論(麻酔科学、消化器、女性生殖器)、基礎看護学技術論Ⅳ、基礎看護学技術論Ⅶ、成人看護学総論、成人看護学方法論Ⅲ

オフィスアワー

月～金曜日 8：40～17：00

※上記以外の時間に関しては相談してください。

テキスト

成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改定第3版
南江堂

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論
医学書院

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論
医学書院

系統看護学講座 専門9 成人看護学5 消化器
医学書院

系統看護学講座 専門13 成人看護学9 女性生殖器
医学書院

参考URL

特記事項

事例課題では、1年次・2年次に学んだ解剖生理、病態生理、疾患学を踏まえ、周術期の患者がどのような回復経過を進むか具体的にイメージし、必要な看護を学習しましょう。また、成人期の患者が手術により身体面・精神面・社会面にどんな影響を受けるか考えましょう。

時間外学習（予習・復習・課題）

事前に課題の提示をします。詳細は別紙参照。指定の課題プリントNo.1～6あり

課題1 周手術期の看護について

課題2 乳がん

課題3 大腸がん・直腸がん

※課題の学習は、講義や実習で活用できるように、自分で分かりやすく工夫してまとめましょう。

講義で使用する事例については、課題の自己学習を用いて自主的に思考を深め、意見交換ができるようにして下さい。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況・受講態度・課題	

参考文献

パーフェクト臨床実習ガイド 成人実習Ⅰ（急性期・周術期）第2版
照林社

パーフェクト臨床実習ガイド 成人看護Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）
照林社

フィジカルアセスメントがみえる
メディックメディア

①実務経験のある教員による科目（本務先）

横山博美
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（循環器外科・呼吸器外科・消化器外科・耳鼻咽喉科）
教員経験：成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

横路 香吏
非常勤講師

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（耳鼻咽喉科）
教員経験：成人看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

紺屋 洋子
近畿大学病院 看護部

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

看護師：褥瘡対策室、認定看護師（皮膚・排泄ケア）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ	講義 周手術期看護の役割が理解できる。
2・3コマ	講義 術前患者の看護が理解できる。
4コマ	講義 術中患者の看護が理解できる。
5コマ	講義 1. 全身麻酔・手術侵襲による生体反応が理解できる。 2. 術後経過と主要な術後合併症が理解できる。
6～7コマ	講義 1. 術後患者の看護が理解できる。 2. 回復期の看護が理解できる。
8～9コマ	講義 乳がん患者の術前・術後の経過と看護が理解できる。
10コマ	講義 大腸がん・直腸がん患者の術前・術後の経過が理解できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11コマ	講義（看護部） 人工肛門造設術を受ける患者への看護が理解できる。
12～14コマ	講義 手術を受ける大腸がん患者の事例を用いて、術前・術後の看護問題をアセスメントし看護を考えることができる。

2022年度

成人看護学方法論Ⅲ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	富森 洋子								

科目の目標

呼吸機能の低下が予測される患者に必要な看護や援助を理解し、援助を通して呼吸を促進する方法を学ぶ

関連教科

解剖生理学・疾病論Ⅰ・成人看護学総論・成人看護学方法論Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

1) 事前課題1

1. ナーシングスキル視聴し、熟読、テストをチャレンジしてから授業に臨むこと

・「呼吸・循環を整える技術」（酸素吸入療法・気管吸引）

・低圧持続吸引：胸腔ドレーン挿入中の管理

※ 期限：各講義日まで

2. 気管内吸引の手順を作成

：目的・準備物品・観察点・手順・根拠・留意点を記載する

：レイアウトは基礎看護学技術論の課題学習に準ずる

※ 提出日：成人看護学方法論Ⅲ 初回講義日始業15分前まで

3. 1年時における講義資料をファイリングして準備し、講義の際に持参すること

①疾病論 胸部外科 ②臨床検査論 第3章 ③麻酔科学（松本先生）など…

2) 事前課題2

「肺葉切除術を受ける肺がんの看護について」

肺がんの病態生理と手術療法と退院までの看護のポイント

（※詳細は、講義中に説明します）

3) 講義内課題

講義中に肺がん 手術療法を受ける患者の事例展開を行う。講義時に詳細を伝達予定

※ 課題1) 2) 3) とも 最終提出：終講試験日、試験終了後提出

オフィスアワー

月～金曜日 8：40～17：00

※上記以外の時間は相談してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
受講態度・課題などの提出物・演習・グループワークの内容も含む総合評価	

テキスト
系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院
系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔2〕 呼吸器 医学書院
系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
看護がみえる vol. ② 臨床看護技術 MEDICMEDIA
パーフェクト臨床実習ガイド成人看護Ⅰ 照林社
成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 南江堂

参考文献

参考URL

特記事項

- 準備するもの
 - ① 成人看護学の看護過程のファイル1冊準備し
 - ・ 成人総論・老年看護学総論で作成した『各発達段階とその特徴』
 - ・ アセスメントⅠ 見本 No.3 - ① をはさんでおく
 - ② それぞれの方法論に使用できる「1年次における講義資料」をファイリングしておくこと
- 提出時の約束
 - ① 表紙をつける。表紙に参考文献をつける
 - ② インデックスをつける
 - ③ 1年次の使用した課題を整理して利用しても良い
- 演習に関しては、演習時間以外に準備・後片付けが必要となります。
- 学生同士で演習するのでパートナーのプライバシーに十分配慮しましょう。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

富森洋子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、内科看護（呼吸器・内分泌代謝・腫瘍・神経内科）、眼科
教員経験；成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

横山博美
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；外科看護（循環器外科・呼吸器外科・消化器外科・耳鼻咽喉科）
教員経験；成人看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	排痰法・肺理学療法について 1. 呼吸訓練の目的・方法・必要性を理解することができる。 2. 排痰法の目的・方法・必要性を理解することができる。
2	吸入療法 1. 酸素療法の目的・方法・必要性を理解することができる。 2. ネブライザーの目的・方法・必要性を理解することができる。
3	吸引（一時吸引・持続吸引）/演習 1. 吸引の目的・方法・必要性を理解することができる。 2. 一時吸引時の看護のポイントを述べることができる。 3. 持続吸引についてイメージすることができる。
4・5	演習（酸素療法・排痰法・吸引） 1. 酸素療法・排痰法・吸引の技術を実施することができる。
6	持続吸引中の看護
7・8	肺切除術を受ける患者への看護（講義・事例のグループワーク） 1. 病態と経過を理解しアセスメントができる。 2. 術前・中・後時の看護問題を抽出し、看護計画を立案することができる。 3. 看護計画をもとに術後患者の呼吸援助について具体的な方法を考える。
9・10	肺切除術を受ける患者への看護（術後の看護過程展開）/講義・演習 1. 事例の看護計画をもとに術後患者の呼吸援助を実施することができる。 2. 援助時に必要な注意点を述べることができる。 3. 対象にとって安全な方法で援助することができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11・12	演習（肺切除を受ける患者への看護（術後の看護過程展開））講義/演習 1. 事例の看護計画をもとに術後患者の呼吸援助を実施することができる。 2. 援助時に必要な注意点を述べることができる。 3. 対象にとって安全な方法で援助することができる。
11・12	演習（肺切除を受ける患者への看護（術後の看護過程展開）） 1. 事例の看護計画をもとに術後患者の呼吸援助を実施することができる。 2. 援助時に必要な注意点を述べることができる。 3. 対象にとって安全な方法で援助することができる。
13	肺切除術を受ける患者への看護（講義・事例のグループワーク） 1. 看護計画に基づいた援助実施後の追加・修正・目標達成度評価をすることができる。 2. 演習での学びを発表することで共有することができる
14	胸腔鏡術、退院指導について 1. 胸腔鏡術を受ける患者への看護について理解することができる。 2. 退院指導の必要性を理解することができる。
15	終講試験

2022年度

成人看護学方法論Ⅳ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	横山 博美、遠藤 美幸								

科目の目標

がん患者の全人的苦痛を理解し、症状の苦痛緩和の方法や日常生活動作の障害に応じた看護を学ぶ。終末期において尊厳を保ちながら、その人らしく最後まで生きることを支えるための援助を学ぶ。

関連教科

解剖生理学、病理学、臨床薬理学、疾病論（腫瘍内科、消化器外科・消化器内科・放射線科学）、基礎看護学方法論Ⅱ、成人看護学総論

時間外学習（予習・復習・課題）

事前課題
詳細は別紙参照。指定のプリントあり。
実習でも活用できるよう自分の学習として工夫し作成しましょう。

食道がんについて：
解剖生理・病態生理・検査・治療・看護（手術療法・化学療法・放射線療法）を
関連付け、学習しましょう。

※講義で展開する事例については、事前課題の学習ノートを用いて自主的に思考を
深め、意見交換ができるようにしましょう。

終末期にある患者や家族に関する闘病記を読み、死について感じたこと、考えた
ことを記載しましょう

オフィスアワー

月～金曜日 8：40～17：00
※上記以外は相談してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況・受講態度・課題	

テキスト

緩和ケア
南江堂
系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 消化器
医学書院

参考文献

パーフェクト臨床実習ガイド 成人看護Ⅰ
照林社
パーフェクト臨床実習ガイド 成人看護Ⅱ
照林社
がん看護学
医学書院

参考URL

特記事項

成人期の終末期にある患者や家族に関する文献を読み、患者の思い・家族の思いについての理解を深めましょう。
自己の生命観・死生観について考えを深める機会となるよう取り組みましょう。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

横山博美
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（循環器外科・呼吸器外科・消化器外科・耳鼻咽喉科）
教員経験：成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

遠藤 美幸
近畿大学病院

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

看護部：緩和ケアセンター

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	講義 1. 終末期の定義について述べることができる。 2. 緩和ケアの概念を理解することができる。
2コマ目	講義 1. 緩和ケアにおける倫理的課題について考えることができる。
3コマ目	講義 1. 終末期における心身の苦痛について考えることができる。 2. 全人的苦痛のアセスメントの視点を述べることができる。
4コマ目	講義 1. 死の受容過程が理解できる。 2. 終末期にある患者へのかかわり方について考えることができる。
5コマ目	講義（看護部） 1. がん性疼痛について述べられる。 1) 痛みの定義が述べられる。 2) 痛みのアセスメントの視点が述べられる。
6コマ目	講義（看護部） 1. 疼痛コントロールについて述べられる。 1) 鎮痛薬の種類と使用方法がわかる。 2) 鎮痛薬の副作用と副作用対策が述べられる。 3) 疼痛時の看護について述べられる。
7コマ目	講義 1. 緩和ケアにおける化学療法時の看護が述べられる。 1) 投与時の主な副作用と発現時期について述べられる。 2) 投与時の必要な看護について述べられる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	講義 1. 緩和ケアにおける放射線療法時の看護について述べられる。 1) 放射線療法時の主な副作用と発現時期について述べられる。 2) 治療期間中の必要な看護について述べられる。
9コマ目	講義 1. 終末期における主要な症状とその看護について述べられる。 1) 呼吸困難 2) 消化器症状 3) 倦怠感
10コマ目	講義 1. 臨死期の患者について述べられる。 2. 臨死期の患者と看取りを迎える家族への看護について考えることができる。
11～14コマ目	講義・事例展開 1. 終末期にある食道がん患者への看護について考えることができる。 1) 患者の病状経過を理解し、アセスメントすることができる。 2) 患者の全人的苦痛を理解し、患者の看護問題を抽出することができる。 3) 患者の看護問題について看護計画を考えることができる。

2022年度

成人看護学方法論Ⅴ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	横山 博美、富森 洋子、加藤 あゆみ								

科目の目標

身体的に生命の危機状態にある人の救命及び生命維持に必要な看護の視点を理解し、その人が心身共に生活リズムを取り戻すための援助や社会復帰に向けての関わりを学ぶ

関連教科

解剖生理学、疾病論Ⅰ、疾病論Ⅲ、基礎看護学方法論Ⅱ、成人看護学総論、成人看護学方法論Ⅱ、成人看護学方法論Ⅲ、災害看護

時間外学習（予習・復習・課題）

1) 事前課題

1. 循環器疾患の看護について（検査・治療は『前・中・後の看護まで』）

①心臓の解剖と働き（手書きで記載）

②狭心症（分類）、薬剤（抗血小板薬・抗凝固薬）

③心筋梗塞の病態（フォレスト分類・キリップ分類）

検査・心電図（12誘導・モニター心電図・ホルター心電図・負荷心電図・心臓カテーテル検査）

治療（PCIの分類・種類、クリニカルパス）

心臓リハビリテーション

④心房細動（波形）、アブレーション治療

※ 提出日：成人看護学方法論Ⅴ 初回講義日 始業15分前まで

2. 1年時における講義資料をファイリングして準備し、講義の際に持参すること

① 循環器内科・外科 ② 脳神経内科・外科

③ その他

2) 講義内課題

講義中に心房細動 アブレーション治療を受ける患者の事例展開を行う。講義時に詳細を伝達予定

※ 課題1) 2) とも 最終提出：終講試験日、試験終了後提出

オフィスアワー

月～金曜日 8：40～17：00

※上記以外の時間に関しては相談してください。

成績評価方法・基準	
評価項目	割合
筆記試験	
提出物・演習・グループワークの内容も含む総合評価	

テキスト

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論
医学書院

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学3 循環器
医学書院

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学7 脳・神経
医学書院

パーフェクト臨地実習ガイド 成人看護Ⅰ
照林社 著）編集 井上智子

パーフェクト臨地実習ガイド 成人看護Ⅱ
照林社 著）編集 野並葉子

看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅱ
南江堂 著）佐藤まゆみ/林直子

参考文献

看護がみえるvol.② 臨床看護技術
MEDICMEDIA

参考URL

特になし

特記事項

1. 準備するもの

① 成人看護学の看護過程のファイル1冊準備し

・ 成人総論・老年看護学総論で作成した『各発達段階とその特徴』

・ マルティン・ヘルムス マルティン・ヘルムス ① 各発達段階とその特徴

①実務経験のある教員による科目（本務先）

富森洋子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、内科看護（呼吸器・内分泌代謝・腫瘍・神経内科）、眼科
教員経験；成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

加藤あゆみ
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；心臓血管外科、内科（消化器・血液膠原病）、皮膚科、形成外科
教員経験；成人看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

横山博美

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；外科看護（循環器外科・呼吸器外科・消化器外科・耳鼻咽喉科）
教員経験；成人看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	看護に求められる資質、家族の心理的特徴と看護、倫理的問題について 1. クリティカルケアを受ける患者とその家族にニーズを学ぶことができる。 2. 救急看護の役割について学ぶことができる。
2	経皮的冠状動脈を受ける患者の看護 1. 急性期の経過を踏まえた観察・看護のポイントを学ぶことができる。
3	心臓手術を受ける患者の看護 1. 急性期の経過を踏まえた観察・看護のポイントを学ぶことができる。
4-7	心房細動 アブレーション治療を受ける患者の看護（講義・事例のグループワーク） 1. 病態と経過を理解し、アセスメントができる。 2. アブレーション治療（治療前）時の看護問題を抽出し看護計画を立案することができる。 3. アブレーション中・後の看護問題を抽出し看護計画を立案することができる。 4. 回復期（退院に向けて）の看護問題を抽出し看護計画を立案することができる。 ※看護問題・看護計画は3つ立案します。各講義前に# 1～3までの看護計画を提出して頂き、その講義時間内に、各グループ毎に提出した看護計画に対する指導を行います。提出に関しては、後日指示します。
8	脳血管障害のある患者の看護 1. 病態と患者の特徴に対するアセスメントと観察のポイントについて学ぶことができる。
9	頭部外傷患者の看護 1. 頭蓋内圧亢進、ドレーン管理について学ぶことができる。
10	脳神経外科の周手術期看護 1. 術前・術後の看護について学ぶことができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11・12	緊急時の援助技術について（講義） 1. 心肺蘇生法（BLS・ALS）の目的・方法について述べることができる。 2. 院外・院内での急変時の看護者への役割 3. 気管挿管の必要物品と使用方法を述べることができる。 4. 緊急時の援助技術をイメージすることができる。
13・14	緊急時の援助技術について（シミュレーションセンター演習） 1. 心肺蘇生法（BLS・ALS）の目的・方法について述べることができる。 2. 院外・院内での急変時の看護者への役割 3. 気管挿管の必要物品と使用方法を述べることができる。 4. 緊急時の援助技術をイメージすることができる。
15	終講試験

2021年度

老年看護学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	寺山 有香里								

科目の目標

1. 高齢者の特性を身体的・精神的・社会的側面から統合的に捉え、ライフサイクルにおける老年期とその健康問題を学ぶ
2. 高齢者のその人らしさ、生活史を尊重しながら、自らの看護観を養う
- ② 高齢者を抱える社会構造の理解・医療・福祉の現状と高齢者を支える社会システムについて学ぶ看護の役割を理解する

関連教科

心理学 コミュニケーション技法 文化人類学 社会学 生命倫理 家族論 解剖生理学社会福祉 家族論 公衆衛生学 看護学概論Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

これまでの生活で、高齢者と接する機会が少ない学生も多いと思います。身近な高齢者と関わる機会を増やす、すれ違う高齢者をそっと観察するなどして、普段から高齢者に関心を寄せてください。近年、高齢者に関するニュースは、どんなものがありますか？高齢者を取り上げている新聞・書籍・テレビ番組などを意識的に読んで鑑賞してください。

※老年看護学総論では、資料を配布しないこともあります。自分で試験勉強ができるように、A4サイズのルーブリーフに講義内容をまとめることができるように、準備してください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	
提出物・提出物の期限	

テキスト

系看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学
医学書院 著）北川公子 他

参考文献

新体系 看護学全書 老年看護学① 老年看護学概論・老年保健
メヂカルフレンド社 著）鎌田ケイ子 川原礼子
老年看護学
看護の科学者 著）川島みどり
ナースングラフィカ 老年看護①「高齢者の健康と障害」
メディカ出版

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

寺山 有香里

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護・外来看護・内視鏡看護・放射線科看護

教員経験：老年看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 高齢者の理解の基本となる概念 ○高齢者をイメージしよう
2コマ目	1. 高齢者の理解の基本となる概念 ○高齢者とは、老年期とは ○高齢者ってどんな人（発達課題・理論・恒常性・知能と記憶）
3コマ目	1. 加齢に伴う身体的変化の特徴 ○加齢によって高齢者の身体はどう変わる？
4コマ目	1. 加齢に伴う身体的変化の特徴 ○加齢によって高齢者の身体はどう変わる？
5コマ目	1. 加齢に伴う身体的変化の特徴 ○加齢によって高齢者の身体はどう変わる？
6コマ目	1. 加齢に伴う身体的変化の特徴 ○加齢によって高齢者の身体はどう変わる？
7コマ目	1. 超高齢社会にある日本の現状 ○高齢化社会ってどんな社会？ ○高齢者にとっての社会とは？

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	1. 高齢者の権利擁護 ○加齢によって高齢者の心はどう変わる？ ○高齢者を尊重するとはどんなこと？
9コマ目	1. 高齢者の安全を守るとは ○高齢者にはどんな危険がある？
10コマ目	1. 高齢者と自然災害 ○災害における高齢者の脆弱性と避難所での看護活動
11コマ目	1. 高齢者が活用する社会資源や高齢者を取り巻く医療者の連携 ○高齢者の社会資源ってどんなものがある
12コマ目	1. 高齢者が活用する社会資源や高齢者を取り巻く医療者の連携 ○高齢者の生活の場
13コマ目	1. 老年看護の役割 様々な場で生活する高齢者と関わる視点って？
14コマ目	1. 老年看護の役割 どのように高齢者と関わる？

2021年度

英語（英文法）

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山中 由香								

科目の目標

基本的な英文法を整理しながら、英語を実際に「使う」機会を持ち、「使える」実感を味わうことが目標です。
また、教室外での学習を計画的に行うことにより、自律した学習者になることも目標とします。

関連教科
英語（英会話）

時間外学習（予習・復習・課題）
小テストの準備、復習
授業で指示するプリント等

オフィスアワー
授業のある水曜日 12:30～13:00
上記以外にも事前連絡があれば、別の時間に設定可能

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Quiz（小テスト）	
Final Exam（終講試験）	
Group Teaching（グループ発表）	
単語テスト	
提出物、授業での活動等	

テキスト
The ABC of English Grammar ー 声に出して覚える英文法
鷹書房弓ブレス 著）原口庄輔、白野伊津夫、JesseGlass, Jr.

参考文献

参考URL

特記事項
グループ発表は、教室外での準備、ハンドアウト内容、及び実際の発表を総合的に評価します。

①実務経験のある教員による科目（本務先）
近畿大学（非常勤）、甲南女子大学（非常勤）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
英語教育

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義1	オリエンテーション Lesson 2: 名詞・冠詞
講義2	Lesson 4: 形容詞・副詞 & 英語の構文 Group Teachingについての説明 Quiz 1
講義3	Lesson 5: 比較 Group Teaching 1 Quiz 2
講義4	Lesson 6: 疑問文・命令文・感嘆文・There is(are)の文 & 単語 1 Group Teaching 2 Quiz 3
講義5	Lesson 7: 助動詞 & 単語 2 Group Teaching 3 Quiz 4 & 単語テスト 1
講義6	Lesson 9: 時制(2) 現在完了 Group Teaching 4 Quiz 5 & 単語テスト 2
講義7	Lesson 10: 不定詞 Group Teaching 5 Quiz 6

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

講義8	Lesson 11: 動名詞・分詞 Group Teaching 6 Quiz 7
講義9	Lesson 12: 受動態 Group Teaching 7 Quiz 8
講義10	Lesson 13: 関係代名詞 Group Teaching 8 Quiz 9
講義11	Lesson 14: 関係副詞・仮定法 前期学習分のまとめ Quiz 10
試験	Final Exam (終講試験)

2022年度

老年看護学方法論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	本村 由里、林 真由美、北井 園子								

科目の目標

健康障害のある老年期の対象に応じた看護援助を学ぶ。

関連教科

基礎分野・専門基礎分野・老年看護学総論 老年看護学法論Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

日々の生活の中で、高齢者に意識的に関心をもって関わってください。その中で、自分の中の高齢者観を述べられるようにしてください。

4月：医学書院「老年看護学」や、「生活機能からみた老年看護過程」を参考に、疾患を持つ高齢者の看護について、予めまとめて講義に臨んで下さい。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	
課題・提出物	

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅱ 老年看護学
医学書院

生活機能からみた老年看護過程
医学書院

参考文献

ナーシング・グラフィカ 老年看護① 高齢者の健康と障害
メディカ出版

ナーシング・グラフィカ 老年看護② 高齢者看護の実践
メディカ出版

高齢者の理解とケア 加齢・症状のメカニズムと対応
Gakken

系統別 高齢者フィジカル・メンタルアセスメント
日総研

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

本村 由里
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：集中治療看護・外科看護（循環器・脳神経・消化器）
内科看護（循環器・腎・泌尿器）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

寺山 有香里
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護・外来看護・内視鏡看護・放射線科看護
教員経験：老年看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

林 真由美
近畿大学病院 看護部

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

看護師：SCU病棟、認定看護師（脳卒中リハビリテーション看護）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

北井 園子
近畿大学病院 看護部

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

看護師：老人看護専門看護師

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 高齢者の加齢変化による健康障害のアセスメントができる ○老年症候群と高齢者総合的機能評価
2コマ目	1. 高齢者の生活の基本となる日常生活動作 ○高齢者の動作を判断する様々な判断指標を知る ○廃用症候群とは
3・4コマ目	担当：北井 1. 認知症の発生状況がわかる 2. 認知症の評価方法について述べられる。 3. 認知症の臨床像・経過が述べられる。 4. 認知症おける情動と知的活動の障害について述べられる。 5. 認知症の治療について述べられる。 6. 認知症のある高齢者の看護について述べられる。
5コマ目	担当：林 1. 失語症・構音障害の原因・症状を述べられる 2. 失語症や構音障害のある高齢者とのコミュニケーションの方法が述べられる
6コマ目	1. 高齢者の疾患と看護 ○脳神経系の疾患を持つ高齢者の看護
7コマ目	1. 高齢者の疾患と看護 ○循環器系の疾患を持つ高齢者の看護
8コマ目	1. 高齢者の疾患と看護 ○呼吸器系の疾患を持つ高齢者の看護

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

9コマ目	1. 高齢者の疾患と看護 ○運動器の疾患を持つ高齢者の看護
10コマ目	1. 検査を受ける高齢者の看護 2. 手術療法を受ける高齢者の看護
11コマ目	1. 薬物療法を受ける高齢者の看護
12・13コマ目	1. 高齢者を安全に車いす移乗する時に必要なアセスメントと視点（講義） 2. 高齢者を安全に車いす移乗する（演習）
14コマ目	1. 終末期にある高齢者の看護

老年看護学方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	2単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	本村 由里、寺山 有香里、宇城 恵、津田 美沙緒								

科目の目標

1. 老年期にある加齢による生活行動や健康レベルが低下した対象と家族に対する看護技術を学ぶ。
2. 食事介助・口腔内清拭・嚥下食体験・おむつ交換・陰部洗浄の演習を行い、老年看護における基本的技術を習得する。
2. 嚥下食体験について基本的技術を習得する

関連教科

老年看護学総論 老年看護学方法論Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

講義・演習を通して、高齢者が、どのような日常生活を送っているのかを知り、高齢者に必要な看護について考えてください。協同学習を用いて看護過程の展開の講義を行います。実践での看護に繋げることができるよう、自らが考える力とグループで協力する力を育みたいと考えていますので主体的に取り組んでください。

- 9・10コマ目は高齢者の食の援助の演習を行います。事前課題を行い演習に臨んで下さい。
- 11・12コマ目は陰部洗浄の演習を行います。事前課題を行い演習に臨んで下さい。
- 13コマ目～16コマ目は介護療養型病床での1日見学実習があります。
- 17コマ目～22コマ目は老年看護過程の看護展開を学びます。授業前に各看護学で学んだ看護過程の復習、学びに必要な対象の疾患等を伝達しますので事前学習を行い必要な文献を用意しておきましょう。

詳細は講義時にお伝えします。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験評価	
課題・提出物	

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅱ 老年看護学

医学書院

生活機能からみた老年看護過程 病態・生活機能関連図

医学書院

参考文献

ナーシンググラフィカ 老年看護①高齢者の健康と障害
メディカ出版

ナーシンググラフィカ 老年看護②高齢者看護の実践
メディカ出版

高齢者の理解とケア加齢・症状のメカニズムと対応
Gakken

写真でわかる臨床看護技術②
インターメディカ

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

本村 由里
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：集中治療看護・外科看護（循環器・脳神経・消化器）
内科看護（循環器・腎・泌尿器）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

寺山 有香里
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：血液内科・消化器内科・内視鏡・放射線科・外来看護
教員経験：老年看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 高齢者の生活機能を整える看護 2. 高齢者にとって食生活の意義と食生活に影響を及ぼす因子について述べられる 3. 高齢者の食生活についての看護の基本的な視点について述べられる
2・3コマ目	担当：宇城 1. 高齢者の嚥下障害に対する援助の方法について述べられる 2. 高齢者の口腔ケアについて述べられる
4コマ目	担当：林 1. 高齢者に排泄障害が起りやすい因子について述べられる 2. 高齢者の失禁・便秘に対する援助の方法について述べられる
5コマ目	1. 排泄障害が高齢者の日常生活に及ぼす影響について述べられる
6・7コマ目	担当：津田 1. 褥瘡の原因・誘因を述べられる 2. 褥瘡の予防方法について述べられる。 3. 褥瘡ケアの実際を述べられる。
8コマ目	1. 高齢者の清潔を保持する意義とその援助方法を述べられる
9, 10コマ目	1. 高齢者の食の特徴を理解し、食事摂取時の看護を計画し実施することができる 2. 口腔内の清潔を保つことができる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11、12コマ目	1. 高齢者の排泄の特徴を理解し、排泄時の看護を計画し実施することができる 2. 陰部の清潔を保つことができる
13～16コマ目	1. 療養型病院での高齢者の生活を通して、老化による影響を知り老年看護の理解を深めることができる
17～22コマ目	1. 老年看護学における基本的な看護過程の展開について理解できる。 2. 老年期の対象の全体像を把握し、看護問題を抽出できる。 3. 看護問題の優先順位を考え、看護計画を立案することができる。 4. 計画に基づき対象に必要な看護を考え、実施することができる。 5. 実施した看護をSOAP記録に記載することができる。 6. 実施した看護を評価し、計画の追加修正ができる。
23コマ目	1. 筆記試験

2022年度

小児看護学総論

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	2単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	岩戸 さゆき、谷上 将生、中谷 能子								

科目の目標

小児看護における目標や役割、倫理を学び、看護の特徴が理解できる。
小児の成長発達や小児を取り巻く社会環境を学び、養護について理解できる。
健康問題が小児や家族に及ぼす影響を理解し、成長発達に応じたかかわりができる。

関連教科
心理学
看護学概論（協同学習、倫理など）

時間外学習（予習・復習・課題）
身近な子どもと遊び、観察して子どもの特徴を知っておきましょう。
グループワークや幼稚園実習に関する課題があります。
講義時にお知らせします。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
課題・レポート幼稚園実習時に使用する作成物の提出	

テキスト
系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学 1 小児臨床看護概論
医学書院
系統看護学講座専門Ⅱ 小児看護学 2 小児臨床看護各論
医学書院

参考文献
医療を受ける子どもへの上手なかかわり方
日本看護協会出版会 著）原田香奈他

参考URL

特記事項
グループワークもありますので、積極的に参加してください。
幼稚園実習を予定しています。ガイダンス資料を読み直し、しっかりと取り組んでください。夏休みに課題の提出があります。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

岩戸さゆき
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児病棟、重度心身障害児施設、内科病棟、訪問看護ステーション
教員経験；小児看護学、在宅看護論

②実務経験のある教員による科目（本務先）

谷上将生
大阪急性期・総合医療センター

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

循環器看護、小児救急看護
小児救急看護認定看護師

③実務経験のある教員による科目（本務先）

中谷能子
近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；母性看護、新生児看護
教員経験；母性看護学、基礎看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1・2コマ目	小児看護の特徴と理念 1. 小児の特徴が述べられる。（身体的・精神的・社会的特徴） 2. 小児看護の対象、看護の目標が述べられる。 3. 子どもの最善の利益を踏まえた考え方ができる。
3・4コマ目	子どもの成長・発達 1. 成長発達の進み方、成長発達に影響する因子が述べられる。 2. 成長発達の評価の仕方がわかる。 3. 子どもの成長・発達の理解
5コマ目	子どもの栄養 1. 小児にとっての栄養の意義がわかる。 2. 授乳期・離乳期、幼児期の栄養の特徴と世話についてわかる。 3. 学童期・思春期の食生活の問題と原因がわかり、対応について考えることができる。
6コマ目	日常生活習慣の獲得 1. 基本的生活習慣の獲得時期が述べられる。 2. 基本的生活習慣獲得に向けてのかかわりの視点が述べられる。 3. 小児の遊びの意義、発達（機能的・社会的）が述べられ、発達に応じた玩具や遊びの選択ができる。
7・8コマ目	子どもと家族を取り巻く社会 1. 児童福祉法、母子保健法、児童虐待防止法、学校保健安全法の目的や主な政策が述べられる。 2. 予防接種法の意義、小児の接種方法が述べられる。
9コマ目	病気・障害をもつ子どもと家族の看護 1. 病気・障害に対する子どもの受け止めや理解が述べられる。 2. 病気・障害に対する家族の反応が述べられる。 3. 子どもの治療、健康管理へのかかわりが述べられる。
10コマ目	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 1. 子どもの入院環境と入院が子どもと家族に及ぼす影響が述べられる。 2. 外来環境の特徴と受診時の子ども及び家族に対しての看護が述べられる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11コマ目	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 3. 災害時の子どもと家族を取り巻く環境と看護の役割が述べられる。 4. 在宅療養中の子どもと家族を取り巻く環境と看護の役割が述べられる。
12コマ目	慢性期にある子どもと家族の看護 1. 子どもにおける慢性期の特徴が述べられる。 2. 子どもと家族が行う自己管理へのかかわりがわかる。
13コマ目	急性期にある子どもと家族の看護 1. 子どもにおける急性期の特徴が述べられる。 2. 子どもと家族に対する生命維持や苦痛の緩和に対するかかわりがわかる。
14コマ目	周手術期の子どもと家族の看護 1. 周手術期の特徴が述べられる。 2. 手術を受ける子どもや家族へのかかわりがわかる。
15コマ目	終末期の子どもと家族の看護 1. 子どもにおける終末期の特徴が述べられる。 2. 子どもの生命と死の捉え方について述べられる。 3. 終末期にある子どもや家族へのかかわりについてわかる。
16コマ目	障害のある子どもと家族の看護 1. 障害のある子どもと家族の特徴について述べられる。 2. 障害のある子どもと家族の社会的支援について述べられる。
17コマ目	子どもの虐待と看護（谷上） 1. 児童虐待の定義と現状が述べられる。 2. 虐待に対する看護師の役割が述べられる。 3. 虐待の発生要因を理解し、子どもや家族へのケアを考えることができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
18コマ目	子どもの事故防止（谷上） 1. 子どもの成長発達段階から起こりやすい事故を考えることができる。 2. 子どもの事故防止の具体的方法を考えることができる。 3. 事故時の対処方法についてわかる。
19・20コマ目	幼稚園・保育所実習ガイダンス、実習関係 1. 子どもと関わる際の留意事項がわかる。 2. 子どもと関わるにあたっての自覚と責任を持つことができる。 《ガイダンス時》 1. ガイダンスまでに幼稚園・保育所実習で身だしなみのチェックをします。髪型、髪色などもきちんと整えて参加してください。 2. 園児のお手本となるため、身だしなみが整っていない場合には、実習に参加することが出来ません。 3. ガイダンスまでに、幼稚園・保育所実習で使用する名札を作成しておく。
21～28コマ目	幼稚園・保育所実習 近畿大学附属幼稚園、大阪狭山市内の幼稚園、こども園で実習を行う。 1. 子どもの発達段階に応じたコミュニケーションができる。 2. 実習での子どもとの関わりを通して、子どもの成長発達や基本的生活習慣の獲得、遊びへの関わり方がわかる。
29コマ目	発表会 1. 幼稚園・保育所実習での学びを共有する。

2022年度

小児看護学方法論Ⅰ-1

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	丸谷 怜、井庭 慶典、竹村 豊、宮崎 紘平、小西 悠平、森本 優一、坂田 尚己								

科目の目標

小児科学の基礎知識を習得する。

関連教科

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論

時間外学習（予習・復習・課題）

身近にいる子供の成長と発達を観察しておいてください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	

テキスト

小児臨床看護各論 小児看護学2
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

丸谷 怜

近畿大学医学部 小児科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（循環器）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

森本 優一

近畿大学医学部 小児科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（腎臓・膠原病）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

井庭 慶典

近畿大学医学部 小児科学教室

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（神経・精神）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

小西 悠平

近畿大学医学部 周産期母子医療センターNICU部

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（新生児）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

宮崎 紘平

近畿大学医学部 小児科学教室

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（感染症）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

竹村 豊

近畿大学医学部 小児科学教室

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（アレルギー・免疫）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

坂田 尚己

近畿大学病院 小児科学教室

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

小児科学（血液・腫瘍）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
循環器	先天性心疾患、不整脈、心不全、川崎病など
腎	ネフローゼ症候群、腎炎、腎不全など
神経・発達	神経・筋疾患、発達障害、脳性麻痺など
新生児	低出生体重児、呼吸障害、新生児仮死、新生児マススクリーニングなど
感染・予防接種	細菌感染症、ウイルス感染症、予防接種など
アレルギー	食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎など
血液・腫瘍	貧血、出血性疾患（血友病）、小児がんの総論、白血病、固形腫瘍、トータルケアの重要性など。

2022年度

小児看護学方法論 I-2

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	岩戸 さゆき								

科目の目標

小児の成長発達に応じた診療の補助技術を、講義・演習を通して具体的に理解することができる。

関連教科

小児看護学総論Ⅰ、基礎看護学技術論Ⅵ、基礎看護学技術論Ⅶ

時間外学習（予習・復習・課題）

看護技術において、大人と子どもの違いは何なのか、留意点や工夫点を具体的に考えられるように学習しましょう。思考の整理、演習、知識の定着ができるようにグループワークを行い進めていきます。グループでの発言をできるように、準備してください。

オフィスアワー

特になし

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
グループワーク評価課題レポート演習参加状況	

テキスト

看護学テキストNICE 小児看護学Ⅰ 第4版
南江堂

看護学テキストNICE 小児看護学Ⅱ 第4版
南江堂

医療を受ける子どもへの上手なかかわり方 第2版
日本看護協会出版会

参考文献

写真でわかる小児看護技術
インターメディカ

DVD 小児への経口与薬
医学映像教育センター

DVD 子どもの病気と看護技術 VOL.3骨髄穿刺、腰椎穿刺を受ける子どもへの技術

医学映像教育センター

DVD 子どものバイタルサインズの測定

ビデオ・パック・ニッポン

DVD 子どもの身体計測

ビデオ・パック・ニッポン

参考URL

特記事項

1. 演習時は、学校指定のトレーニングウェアとナースシューズ、名札をつけて出席して下さい。
2. 出席、授業態度は評価に反映しますので、注意して下さい。
3. 提出物は期限を厳守して下さい。正当な理由がなく遅れた場合は、評価対象外になるので注意して下さい。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

岩戸さゆき

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児科病棟、重度心身障害児施設、内科病棟、訪問看護ステーション
教員経験；小児看護学、在宅看護論

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	講義テーマ：小児のバイタルサイン 1. 小児のバイタルサインの測定の目的、必要物品、実施手順を述べることができる。
2コマ目	講義テーマ：小児の経口与薬・坐薬 1. 成人と異なる小児の薬物動態と適切な薬用量がわかる。 2. 発達段階に応じた安全な与薬（経口与薬、坐薬）の技術がわかる。
3コマ目	講義テーマ：検査・処置を受ける子どもの看護 1. 子どもにとって検査・処置がどのような体験になるのかを考えることができる。 2. プレパレーション・ディストラクションの意義がわかる。 3. 検査・処置を受ける子どものストレス緩和に向けての援助が考えられる。
4コマ目	演習テーマ：子どもの検査（採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺） 1. 子どもの採尿方法がわかる。 2. 骨髄穿刺、腰椎穿刺時の看護について考えることができる。
5コマ目	演習テーマ：プレパレーション、ディストラクションを行い、子どもの痛みを軽減する方法を具体的に実践できる。 1. プレパレーションを体験する。 2. ディストラクションを体験する。 3. 体験を通して、痛みを伴う検査を受ける子どもへの援助を考える。 4. 振り返ることができ、自己の課題を見出す。
6・7コマ目	演習テーマ：輸液管理（点滴静脈内注射、シーネ固定、輸液ポンプの管理） 1. 小児の点滴静脈内注射の実際を知り、固定や管理ができる。 2. 輸液ポンプ、シリンジポンプの基本的な操作ができる。 3. 点滴静脈内注射をしている患児への日常生活援助について考えることができる。 4. 静脈内持続点滴を受けている患児の観察項目、コミュニケーションがわかる。

2022年度

小児看護学方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	岩戸 さゆき、中野 美紀、西田 真理								

科目の目標

健康問題や障害をもつ小児と家族に対し、成長発達を踏まえた看護援助が理解できる。
小児看護における看護過程の展開方法が理解できる。

関連教科

小児看護学方法論Ⅰ－Ⅰ
母性看護学方法論Ⅰ－Ⅰ
母性看護学方法論Ⅱ－Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

本講義は疾患別の学習ではなく、症状別看護を学びます。代表的な疾患は学びますが範囲が限定されるため自己学習をしてください。
看護展開では、子どもならではの工夫点を学びます。ポイントを中心に進めますので、自己学習をしないと理解ができなくなります。また質問は、積極的に行ってください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
看護過程：アセスメントシート・関連図・看護計画表・プロブレムリスト	

テキスト

系統別看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学各論
医学書院
系統別看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論
医学書院

参考文献

発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図
医学書院
小児看護過程 第2版
医歯薬出版株式会社

参考URL

特記事項

他の看護学でも同じ時期に看護過程の授業が展開されています。本授業では、発達段階に応じて生じる課題の解決に向けて、具体的に看護展開ができるようにします。
疾患や発達段階の自己学習など計画的に進めてください。
講義回数が限られていますので、仕切りおこなってください。体調管理をお願いします。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

中野 美紀
近畿大学病院 看護部

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

NICU病棟、認定看護師（新生児集中ケア）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

西田 真理
近畿大学病院 看護部

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

NICU病棟

③実務経験のある教員による科目（本務先）

岩戸 さゆき
近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；小児看護、内科看護、訪問看護
教員経験；小児看護、在宅看護

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1・2コマ目	循環器系疾患と看護（岩戸） 1. 小児の心疾患の特徴が述べられる。 2. 心疾患をもつ小児と家族への援助について考えることができる。 3. 周手術期の小児と家族への関わりについて考えることができる。
3・4コマ目	消化器系疾患と看護（岩戸） 1. 消化器疾患をもつ小児と家族への影響を考えることができる。 2. 先天性形態異常をもつ子どもと家族への必要な援助及び療養行動を支える看護について考えることができる。
5・6コマ目	腎・泌尿器疾患と看護（岩戸） 1. 腎・泌尿器疾患をもつ子どもと家族の身体的苦痛や心理・社会的問題について考えることができる。 2. 長期療養の必要な子どもについて生活上の問題点を考えることができる。 3. 食事や安静などの制限がある子どもの日常生活の工夫を考えることができる。
7・8コマ目	悪性新生物と看護（岩戸） 1. 悪性新生物をもつ子どもと家族に与える影響について考えることができる。 2. 化学療法を受けている子どもと家族に必要な援助について考えることができる。
9・10コマ目	低出生体重児の看護（中野・西田） 1. 低出生体重児の特徴と起こりやすい疾患が述べられる。 2. 胎外生活への適応について必要な援助が述べられる。 3. 治療・処置が成長発達に与える影響について述べられる。 4. ディベロップメンタルケアの必要性がわかり、具体的な援助について述べられる。
11・12・13・14コマ目	事例展開（岩戸） 1. 疾病の経過や治療、小児の成長発達を踏まえ、問題の抽出、計画の立案ができる。

2021年度

母性看護学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	奥田 裕紀子								

科目の目標

- 1. 母性看護の対象を理解する
- 2. 対象を取り巻く社会の現状や課題と制度や法律を関連させ、母子保健を学ぶ
- 3. 健康の保持増進のための看護者の役割を学ぶ

関連教科

社会学、生命倫理、家族論、成人看護学総論、精神看護学総、基礎看護学方法論Ⅱなど

時間外学習（予習・復習・課題）

基礎体温を40日以上測定します。測定開始時期は、講義中にお知らせします。
女子学生は婦人体温計を準備してください。男子学生は普通の体温計を準備してください。
「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」の教科書は、14コマ目に使用します。それまでは、基礎看護学方法論Ⅱで学ぶ看護過程に合わせて参考書文献として活用してください。

オフィスアワー

特になし

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
グループワーク・課題の提出	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学Ⅰ

医学書院

ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程

医歯薬出版 著）太田 操

参考文献

なぜから学ぶ生命倫理

医学芸術社

参考URL

特記事項

出席・授業態度は評価に反映するので注意してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

奥田裕紀子

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：アドバンス助産師 産婦人科 小児科 乳腺外科 消化器外科

教員経験：基礎看護学 助産診断・技術学 助産管理

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	母性・父性 母性・父性の概念が述べられる 人間の発達課題とともに、親になること・家族を作ることの意味が考えられる 母性・父性の発達過程とその発達に影響を与える要因を述べられる
2コマ目	母性看護、リプロダクティヴヘルス 母性看護の目的について述べられる リプロダクティヴヘルス/ライツの概念が述べられる
3・4コマ目	母性の身体的特徴：性周期 性周期の仕組みが述べられる 卵巣・子宮の周期性変化が述べられる 性周期におけるホルモンの変化が述べられる 基礎体温の測定方法についてわかる
5コマ目	母性の心理的特徴 母性性の発達について理解できる 親子相互作用について内容がわかる
6コマ目	母性の社会的特徴 現在の家族の傾向から母性が受ける影響について述べられる 地域社会から母性が受ける影響が述べられる 労働から母性が受ける影響が述べられる
7・8コマ目	母子保健の現状 母子保健統計から日本の現状と動向がわかる
9・10コマ目	グループワーク グループワークを通して母性看護の対象者について理解を深める グループワークを通して母子保健サービスの現状が理解できる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

11コマ目	グループワーク発表会 発表会を通して学びの共有ができる
12・13コマ目	母子保健対策 母子保健対策の現状について述べられる 母子保健活動のための法律がわかる 母子保健活動の内容が述べられる
14コマ目	母性看護に必要な看護技術 ヘルスプロモーションのための看護技術がわかる 女性のライフサイクル各期の保健指導がわかる 母性看護における看護過程の特徴がわかる

2022年度

母性看護学方法論 I -1

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	加嶋 洋子、甲斐 冴、貫戸 明子、山崎 由美子、奥田 裕紀子、森内 芳								

科目の目標

周産期における一連の過程での正常および異常の経過について学ぶ。

関連教科
社会学、生命倫理、家族論、解剖生理学、母性看護学総論

時間外学習（予習・復習・課題）
講義では、重要な項目について重点をおいて解説します。予習はもちろんのこと、授業後には教科書に一通り目を通し、復習をしっかりとってください。

オフィスアワー
特になし

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験（外部講師）	
筆記試験（専任教員）	

テキスト
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②
医学書院

参考文献

参考URL
https://www.jsog.or.jp/public/human_plus_dictionary/book_vol2.p

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

森内 芳
近畿大学病院

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

加嶋洋子
近畿大学病院

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

甲斐 冴
近畿大学病院

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

貫戸 明子
近畿大学病院

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

山崎 由美子
近畿大学病院

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科病棟

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

奥田裕紀子
近畿大学附属看護専門学校

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：アドバンス助産師 産婦人科 乳腺外科 消化器外科
教員経験：基礎看護学 助産診断・技術学 助産管理

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	妊娠の生理、胎児の発育と生理（担当：奥田 裕紀子） 到達目標：妊娠期の母体の正常な変化が理解できる 胎児・および附属物の特徴が理解できる
2	妊娠期の異常（遺伝相談・不妊症・出生前診断を含む）（担当：森内 芳） 到達目標：妊娠期の検査・治療・処置が理解できる 出生前診断の適応と方法がわかる 不妊症の原因分類と治療方法が理解できる
3	分娩経過（担当：奥田 裕紀子） 到達目標：分娩期の正常な経過が理解できる
4	胎児・分娩の異常【胎児機能不全の診断・対処と異常のある産婦の看護】（担当：山崎 由美子） 到達目標：胎児機能不全の診断と対処がわかる 分娩時に異常がある産婦とその家族の看護がわかる
5	分娩期の異常（担当：加嶋 洋子） 到達目標：分娩期の異常とそのリスク要因について理解できる 分娩期の検査・治療・処置について理解できる
6	産褥経過（担当：奥田裕紀子） 到達目標：産褥期の正常な経過が理解できる
7	産褥期の異常（担当：甲斐 冴） 到達目標：産褥期の異常とそのリスク要因について理解できる 産褥期の検査・治療・処置が理解できる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8	新生児の胎外生活適応過程（担当：奥田 裕紀子） 到達目標：出生後の新生児の胎外生活における適応過程を理解できる
9	新生児の異常（担当：貫戸 明子） 到達目標：新生児の異常とそのリスク要因が理解できる 新生児期の検査・治療・処置が理解できる

2022年度

母性看護学方法論 I -2

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	城 玲央奈、太田 真見子、甲斐 冴、貫戸 明子								

科目の目標

女性生殖器の構造と機能について理解し，起こりうる症状とその病態について説明できる
女性生殖器疾患について理解し，必要な診察や検査，治療について説明できる

関連教科

解剖生理学，放射線診断学，病理学

時間外学習（予習・復習・課題）

授業では基本的なことのみの説明します。授業後に教科書を読みながらしっかり復習してください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器
医学書院
プリンシプル産科婦人科学 1 婦人科編
メジカルビュー社

参考文献

参考URL

https://www.jsog.or.jp/public/human_plus_dictionary/book_vol2.pdf

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

太田真見子
近畿大学病院

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

②実務経験のある教員による科目（本務先）

城玲央奈
近畿大学病院

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

③実務経験のある教員による科目（本務先）

甲斐冴
近畿大学病院

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

④実務経験のある教員による科目（本務先）

貫戸明子
近畿大学病院

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

産婦人科

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	女性生殖器の構造と機能 症状とその病態生理（担当講師：太田真見子）
2	女性生殖器の機能的疾患：月経異常，更年期障害，不妊症，不育症，感染症（担当講師：城玲央奈）
3	女性生殖器の診察・検査，治療と処置（担当講師：甲斐冨）
4	女性生殖器の性分化疾患，臓器別疾患（担当講師：貫戸明子）

2022年度

母性看護学方法論Ⅱ-1

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	毛野 和代、奥田 裕紀子								

科目の目標
妊娠・分娩・産褥および新生児における生理的变化とそれぞれの時期における保健指導を含めた看護について理解できる

関連教科	時間外学習（予習・復習・課題）
母性看護学総論 母性看護学方法論Ⅰ-1 母性看護学方法論Ⅰ-2 母性看護学方法論Ⅱ-2	身近な妊産褥婦・新生児と関わり、観察してください

オフィスアワー

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学2
医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
課題（提出状況と内容）	

参考文献

病気がみえる10 産科 第3版 MEDIC MEDIA

ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版

参考URL

特記事項

- ・各期の間で講義進度は前後することがあります。
- ・出席、講義態度は評価に反映しますので注意してください。
- ・終講試験後の沐浴実習になりますが、沐浴実習はガイダンスを含めて6コマありますので欠席に注意してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

毛野 和代
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；母性看護
教員経験；母性看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

奥田裕紀子
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；アドバンス助産師、産婦人科、乳腺外科、消化器外科
教員経験；基礎看護学、助産診断・技術学、助産管理

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1～3コマ目	妊娠期 ・ 妊娠期の成立と胎児の発育過程が述べられる ・ 胎児付属物の機能と役割が述べられる ・ 妊婦の経過に伴う身体生理的变化、心理的・社会的変化が述べられる ・ 妊婦のニーズおよび看護問題とその原因を判断するために必要な情報がわかる ・ 母児が妊娠経過を健康に過ごすために、援助を必要としているニーズと看護問題がわかる ・ 妊娠経過に合わせた、妊婦の日常生活健康探究行動がわかる
4. 5コマ目	妊娠期 ・ 母性意識の発達を促す援助についてわかる ・ 妊婦の一般的心理を理解して、その援助のあり方がわかる ・ マイナートラブル（不快症状）に対する援助がわかる ・ 妊娠経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助方法がわかる ※妊婦体験モデルを使用して妊婦体験（半日）レポート記載
6. 7. 8コマ目	分娩期 ・ 産婦の分娩経過における身体的・心理的・出産に伴う家族の影響が述べられる ・ 分娩の経過に影響を及ぼす因子がわかる ・ 産婦のニーズおよび看護問題と、その原因を判断するために必要な情報がわかる ・ 母児が分娩経過を健康に過ごすために、援助を必要としているニーズと看護問題がわかる ・ 母児が健康で分娩を経過するように、分娩経過に合わせた産婦の日常生活行動の援助がわかる ・ 産婦とその家族の精神的安定をはかる援助のあり方がわかる
9. 10コマ目	分娩期 ・ 薬物を用いない産痛緩和法がわかる ・ 分娩経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための緩和方法がわかる
11～13コマ目	産褥期 ・ 褥婦の産褥経過における身体的変化・心理的特徴・出産に伴う家族の反応が述べられる ・ 産褥異常が母児に及ぼす主な健康問題がわかる ・ 褥婦のニーズおよび看護問題とその原因を判断するための必要な情報がわかる ・ 褥婦が産褥経過を健康に過ごすために、褥婦の援助を必要としているニーズと看護問題がわかる
14. 15コマ目	産褥期 ・ 感染、子宮復古不全、乳汁分泌不足などの異常を起こさず、健康で産褥期を経過するように、産褥経過に合わせた褥婦の日常生活行動について援助がわかる ・ ペアレンティングを促進する援助がわかる ・ 産褥経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助方法がわかる
16. 17コマ目	新生児 ・ 新生児の胎外生活への適応過程がわかる ・ 新生児の身体的特徴がわかる ・ 新生児のニーズおよび看護問題とその原因を判断するために必要な情報がわかる ・ 新生児とのコミュニケーションのとり方がわかる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

18コマ目	新生児 ・新生児が胎外生活に適応し健康に過ごすために、援助を必要としている新生児のニーズと看護問題がわかる ・新生児の保育技術がわかる ・新生児に起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助法がわかる ※看護過程の展開 提出
19. 20コマ目	沐浴ガイダンス ・沐浴実習の進め方がわかる
21～24コマ目	沐浴実習 ・新生児の保育技術が実践できる ・新生児とのコミュニケーションのとり方がわかる ・起こりやすい異常の予防と早期発見のための援助法がわかる

2021年度

英語（英会話）

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山中 由香								

科目の目標

看護学の分野で必要とされる英語表現を学び、より実用的な英語を身につけ、外国人の患者さんと英語でコミュニケーションが図れるようになること。

関連教科

英語（英文法）

時間外学習（予習・復習・課題）

復習、小テストの準備
授業で指示する予習やプリント等

オフィスアワー

授業のある水曜日 12:30～13:00
上記以外にも事前連絡があれば別の時間に設定可能

成績評価方法・基準

評価項目	割合
復習小テスト (Review Quiz)	
終講テスト (Final Exam)	
スピーキングテスト	
グループ発表	
課題、提出物、授業での活動等	

テキスト

看護系学生のための実践英語〔改訂版〕 English for Nurses -Revised Edition-

朝日出版社 著）山中マーガレット

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）
近畿大学（非常勤）、甲南女子大学（非常勤）

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
英語教育

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
講義1	Lesson 1: Is this your first visit to this hospital?
講義2	Lesson 2: What's the matter? Review Quiz 1
講義3	Lesson 3: You need to see a Dermatologist. Review Quiz 2
講義4	Lesson 4: Let me direct you to Radiology. Review Quiz 3
講義5	Lesson 5: Let's check your height and weight. Review Quiz 4
講義6	Lesson 6: I need to ask you some questions. Review Quiz 5
講義7	Lesson 7: Can you describe the pain? Review Quiz 6

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

講義8	Lesson 8: Rest your arm on the armrest. & グループ発表準備 Review Quiz 7
講義9	スピーキングテスト & グループ発表 Review Quiz 8
講義10	グループ発表 & 復習
試験	Final Exam (終講試験)

2022年度

母性看護学方法論Ⅱ-2

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	毛野 和代								

科目の目標

女性生殖器に関する健康障害時の看護を理解する

関連教科

母性看護学総論 母性看護学方法論Ⅰ-2

時間外学習（予習・復習・課題）

産婦人科に受診したことがある人の話を聞く機会があれば、聞いてください。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	

テキスト

系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学9
医学書院

参考文献

病気がみえる9 婦人科・乳腺外科 第3版
MEDIC MEDIA
看護師国家試験問題集

参考URL

特記事項

- ・出席、授業態度は評価に反映するので注意してください。
- ・母性看護学方法論Ⅱ-1と教科書が変わりますので、気を付けてください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：母性看護、精神看護、脳神経内科看護

教員経験：母性看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	・基本グループを5名で構成し、子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん・子宮筋腫・子宮内膜症の担当を決める。 - その後、専門家グループを4名で構成し、まずは個人で病態・発生部位・好発年齢・症状・検査・治療・看護を学習する。 ※それぞれ担当の病態・発生部位・好発年齢・症状・検査・治療・看護を次回の講義で話し合いできるように学習していく。
2.3コマ目	・担当の専門家グループで病態・発生部位・好発年齢・症状・検査・治療・看護を話し合い、資料作成を行う。 ・各専門家グループで設問を1題作成する。
4コマ目	・基本グループで専門家グループで学習した内容の発表を10分/人で行う。 ・各専門家グループで作成した問題を解く。

2021年度

精神看護学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	加納 薫								

科目の目標

人間の精神発達をふまえ、すべてのライフサイクルにおける精神の健康と、それに影響を与える要因を理解し、一人の人間を精神の健康から不健康への連続体としてとらえ包括的に理解する。

関連教科

コミュニケーション技法、心理学、人間関係論、文化人類学、社会学
家族論、成人看護学総論、老年看護学総論、母性看護学総論

時間外学習（予習・復習・課題）

- ・講義開始までに教科書の目次の詳細を確認し、受け身ではなく、目的を持ち積極的に参画する姿勢で取り組んでください。
- ・講義を通して課題を提示します。

オフィスアワー

テキスト

系統看護学講座－専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①
医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
質問・発話・授業の質の向上への貢献・グループワークへの参加状況	
筆記試験	

参考文献

精神看護学 学生一患者のストーリーで綴る実習展開
医歯薬出版株式会社
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②
医学書院

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

加納 薫

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内分泌・代謝内科看護、消化器内科看護、呼吸器内科看護、腫瘍内科看護

教員経験：精神看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1～2回目	1. 精神看護学とはなにか 2. 精神障害を持つ人の病の体験と精神看護 3. 「心のケア」と日本社会 4. 精神看護の課題
3～4回目	1. 精神の健康とは 2. 心身の健康に及ぼすストレスの影響 3. 心的外傷（トラウマ）と回復 4. 精神障害という考え方
5～6回目	1. 心のはたらき 2. 心のしくみと人格の発達 3. 発達理論
7回目	1. システムとしての人間関係 2. 全体としての家族 3. 人間と集団
8～10回目	1. 精神を病むことと生きること 2. 精神症状論と状態像（理解へのてがかり） 3. 精神障害の診断と分類
11～12回目	1. 精神科における治療 2. 精神療法 3. 薬物療法 4. 電気けいれん療法その他 5. 環境療法・社会療法
13～14回目	1. 精神障害と治療の歴史 2. 日本における精神医学・精神医療の流れ 3. 精神障害と文化－多様性と普遍性 4. 精神障害と社会学 5. 精神障害と法制度 6. おもな精神保健医療福祉対策とその動向
15回目	筆記試験

2022年度

精神看護学方法論 I -1

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	辻井 農亜、柳 雅也、明石 浩幸、安達 融、細見 史治、橋本 衛								

科目の目標

精神看護における目標や役割、倫理を学び、看護の特徴が理解できる。
精神障害の症状、治療を学び、説明することができる。

関連教科
特になし

時間外学習（予習・復習・課題）
特になし

オフィスアワー
月曜日～金曜日 9:00～17:00

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終試験評価	

テキスト
新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護
メヂカルフレンド社

参考文献

参考URL

特記事項
出席は評価に反映されるので注意してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

辻井 農亜

近畿大学医学部 精神神経科学教室

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（児童精神医学）

②実務経験のある教員による科目（本務先）

柳 雅也

近畿大学医学部 精神神経科学教室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（統合失調症）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

明石 浩幸

近畿大学医学部 精神神経科学教室

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（気分障害）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

細見 史治

近畿大学医学部 精神神経科学教室

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（精神科治療学）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

安達 融

近畿大学医学部 精神神経科学教室

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（神経症性障害、ストレス関連障害、パーソナリティ障害）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

橋本 衛

近畿大学医学部 精神神経科学教室

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科（総論、器質性精神障害）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
4月11日	精神症状論と状態像 1. 思考、感情、意欲、知覚、意識、記憶について、また、これらの異常について説明できる 2. 局在症状（失語・失行、失認）について説明できる
5月27日	器質性精神障害、てんかん 1. 主なタイプの認知症について、その特徴を説明できる 2. 認知症以外の主な器質性精神障害について、その特徴を説明できる 3. 主なタイプのてんかんについて、その特徴を説明できる
4月20日	神経症性障害、ストレス関連障害、生理的障害、パーソナリティ障害 1. 神経症性障害について理解し、主なタイプとその特徴について説明できる 2. ストレス関連障害について理解し、その特徴について説明できる 3. 摂食障害について説明できる 4. 睡眠障害について説明できる 5. パーソナリティ障害の分類について説明できる
4月15日	身体療法、精神療法 1. 薬物療法の種類とその適応、実際について説明することができる 2. 主な向精神薬の名前とその作用、副作用について説明することができる 3. 精神療法の種類とその適応、実際について説明することができる
5月17日	統合失調症 1. 統合失調症の分類、症状、治療について説明できる
5月19日	気分（感情）障害 1. 気分障害の分類、症状、治療について説明できる
4月28日	知的障害、心理的発達障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、心身症 1. 知的障害の分類、症状について説明できる 2. 心理的発達障害の分類、症状について説明できる 3. 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害の分類、症状、治療について説明できる 4. 心身症について説明できる

2022年度

精神看護学方法論Ⅰ-2

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数		授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	板原 雅、廣兼 佳予子、林 良太、田邊 友也、北野 紀一郎、加納 薫								

科目の目標

1. こころのバランスをくずしている人や精神に障がいをもつ人の家族との関わりや支援方法について理解することができる。

関連教科

コミュニケーション技法、精神看護学総論、精神看護学方法論Ⅰ-1、精神看護学方法論Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

講義に関連する資料を集めファイリングしましょう。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出物	
筆記試験	

テキスト

精神看護の基礎
医学書院

精神看護の展開
医学書院

リカバリー・退院指導・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術
医学書院

参考文献

参考URL

特記事項

※授業内容は変更される可能性があります。その際は、ポータルでお知らせします。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

加納 薫
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内分泌・代謝内科看護、消化器内科看護、呼吸器内科看護、腫瘍内科看護
教員経験：精神看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

板原 雅
医療法人杏和会 阪南病院

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科認定看護師（退院調整）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

廣兼 佳予子
医療法人杏和会 阪南病院

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科認定看護師（身体合併）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

林 良太
関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科 作業療法

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

田邊 友也
特定非営利活動法人精神医療サポートセンター 訪問看護ステーションいしずえ

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神科認定看護師、精神看護専門看護師

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

北野 純一郎
就労継続支援B型 シング

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

障害福祉

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1回目 第8章 ケアの人間関係	1. ケアの人間関係は、その前提として感情を通して自分を知り、相手を理解することが必要不可欠であることを学ぶ。 2. 精神障害や精神疾患をかかえた人の尊厳をいかにしてまもるかを学ぶ。 3. 患者への接近の仕方や、言語を介した患者へのかかわり方、看護師自身の感情の扱い方など、精神障害をもつ人へのケアの基本的な方法について学ぶ。
2回目 第9章 回復を支援する	1. 患者にとっての回復・リカバリーとはなにか、その意味を理解する。 2. 精神障害をもつ人々の回復を促し支援するさまざまなアプローチを学ぶ。
3回目 第10章 地域におけるケアと支援	1. 病院看護から地域におけるケアへと向かう現在の日本の地域精神保健の動きを、実践事例を通して知る。 2. 精神障がい者が安定した地域生活を送ることができるよう、援助者が心得ておくべき原則を学ぶ。
4回目 第10章 地域におけるケアと支援	1. 精神障がい者の地域生活を支える社会制度とその基盤となる考え方を学ぶ。 2. 学校・職場など、社会生活の場における精神保健と精神看護を学ぶ。
5回目 第13章 安全を学ぶ	1. トラウマインフォームドケアについて学ぶ。
6回目 第13章 安全を学ぶ	1. トラウマインフォームドケアの視点から精神科医療・精神看護について学ぶ。
7回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 統合失調症

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 気分障害
9回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 神経症性障害
10回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 精神作用物質使用による精神および行動の障害
11回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 各発達段階であられやすい精神障害・心身不調
12回目 第5章 生活のしづらさをもつ人の看護	1. 生活のしづらさをもつ人の看護 各発達段階であられやすい精神障害・心身不調
13回 第12章 身体をケアする	1. 身体と心は密接なつながりをもつこと、心の痛みがどのように身体で表現されているか知り、身体 のケアが心のケアにもなることを学ぶ。 2. 精神疾患の回復段階に応じた身体ケアと、精神科で行われることが多い日常的な身体 のケアを実際に学ぶ。 3. 精神科に多い身体合併症とその看護について学ぶ。
14回 第12章 身体をケアする	1. 身体と心は密接なつながりをもつこと、心の痛みがどのように身体で表現されているか知り、身 体のケアが心のケアにもなることを学ぶ。 2. 精神疾患の回復段階に応じた身体ケアと、精神科で行われることが多い日常的な身体 のケアを実際に学ぶ。 3. 精神科に多い身体合併症とその看護について学ぶ。
15回 第11章 入院治療の意味	1. 精神科病院での治療・環境について学ぶ。 2. 退院に向けての支援とその実際について学ぶ。
16回目 第11章 入院治療の意味	1. 精神科病院での治療・環境について学ぶ。 2. 退院に向けての支援とその実際について学ぶ。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
17回目 精神科作業療法	1. 精神障がいをもつ人への作業療法
18回目 地域で精神障がいをもつ人の生活を支える	1. 精神障がいとは何かについて考える。 2. 地域支援の実際
19回目 第14章 第15章 高齢の障がい児者のケアと支援のメンタルヘルス	1. 一般診療において身体疾患の治療を受ける患者が陥りやすい精神保健上の問題には、どのようなものがあるのかを学ぶ。 2. リエゾン精神看護とは何かについて学ぶ。 2. 災害時の心のケアについて学ぶ。
20回目 看護における感情労働と看護職のメンタルヘルス	1. 対人援助には不可欠の感情労働とは何かを理解し、看護師がいかにして日々の実践のなかで感情の管理（感情ワーク）を行っているかを知る。
21回目 まとめ	1. 1回目～20回目の学習を振り返り、精神看護に必要な力について考える。
22回目	終講試験

2022年度

精神看護学方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	菊地 美鈴								

科目の目標

対象との関わりの場面や演習を通して自己を見つめ、実際の看護に必要な援助の方法や考え方を学ぶ。また、精神看護における看護過程の展開の方法を学ぶ。

関連教科

精神看護学総論、精神看護学方法論Ⅰ－1、精神看護学方法論Ⅰ－2、心理学、社会学

時間外学習（予習・復習・課題）

体験記を読むことをおすすめします。授業内に、提出課題等についてお伝えします。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業プリントへの記載内容、提出課題	

テキスト

精神看護の展開 精神看護②

医学書院

参考文献

リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術

医学書院

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

精神看護学、成人看護学

神経科・精神科病棟、心臓血管外科病棟

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1回目 闘病記から学ぶ	1. 精神に障がいをもつ人が経験していることを闘病記から学び考えることができる。
2回目 第8章 関係をアセスメントする	1. 関係をアセスメントすることの意味と方法について述べられる。 2. 患者 - 看護師関係でおきる現象のしくみと対処法について理解できる。 3. プロセスレコードの記載の目的、記載方法を理解できる。
3回目 第8章 関係をアセスメントする	1. プロセスレコードを記載し、振り返ることができる。
4回目 第9章 回復を支援する	1. リカバリーを促す方法としてのグループについて述べることができる。 2. さまざまな回復のためにプログラムについて理解することができる。
5回目 ストレングスモデル	1. ストレングスモデルについて理解することができる。 2. ストレングスマッピングシートの記載方法を理解することができる。 2. ストレングスマッピングシートの記載ができる。
6回目 セルフケア理論	1. オレム看護理論について理解することができる。 2. オレム - アンダーウッド看護理論について理解することができる。
7回目 セルフケア理論	1. 精神看護学実習記録への記載方法を理解することができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8回目 看護過程	1. 事例を読み、対象の状態について考えることができる。
9回目 看護過程	1. 事例を読み、対象の情報を整理し実習記録N03①に記載することができる。
10回目 看護過程	1. 事例を読み、対象の情報を普遍的セルフケア要素（実習記録N03②）に記載することができる。
11回目 看護過程	1. 事例を読み、普遍的セルフケアの情報をアセスメント（実習記録N03②）することができる。
12回目 看護過程	1. 情報とアセスメントしたことをふまえて、全体像を記載することができる。（実習記録N03②）
13回目 看護過程	1. 対象の希望や現在の状態をふまえた、看護計画を立案することができる。（実習記録N05）
14回目 看護過程	1. 計画の追加・修正、患者目標達成度評価を記載することができる。

2022年度

在宅看護総論

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	森 文美代、坂口 晴美、由谷 千代子								

科目の目標

地域で生活しながら療養する人と家族がおかれている状況や抱える問題を理解し、在宅療養生活を支援するための看護の役割および社会資源の活用、関係職種との連携の必要性について学ぶ。

関連教科

各看護学総論・方法論、社会福祉、関係法規、公衆衛生学、家族論

時間外学習（予習・復習・課題）

課題1：home town=出身地域（下宿先以外の市町村）における下記項目について、市区町村が配付している広報誌やホームページ等で公開している情報・資料を調べる（※自治体への問合せについては担当教員に相談）。

- ①地域特性（地理・自然環境、産業、文化、観光、特産など）
- ②人口構成（人口、年齢3区分別人口）および高齢化率
- ③地域包括ケアシステムに関する発信内容
- ④在宅療養者・家族の相談窓口・交流・社会参加の場
- ⑤訪問看護ステーションの設置状況・HPの内容
- ⑥介護保険サービスの広報内容
- ⑦保健所・保健センターの所在地・設置状況と内容

オフィスアワー

基本的に教務室在室時に対応します。
出張等で不在の場合は、用件をメモで机に残していただければ返信します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
受講態度、グループワーク参加状況、提出期限・内容	

テキスト

系統看護学講座 統合分野 在宅看護論

医学書院

※必要時、使用します。系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基礎

医学書院

参考文献

使用時に紹介します。

参考URL

使用時に紹介します。

特記事項

自分が生活する地域～home town～を知ることからスタートし、さまざまな場で療養・介護する人々の生活に関心を向けながら、地域の現状・相違について理解を深めましょう。

また、地域に関するデータや情報を主体的に調べ、生活・ケアニーズの多様性・個性や、必要とされるケアについて意見交換しながら柔軟に考えましょう。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

森 文美代：近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床：内科看護（近畿大学病院）：血液・膠原病・腎臓・消化器
学校：在宅看護論、基礎看護学、成人看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

坂口 晴美：近畿大学病院 看護部
患者支援センター

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

退院調整

③実務経験のある教員による科目（本務先）

由谷 千代子：富田林市立保健センター（健康づくり推進課）
大阪府太子町健康福祉部高齢介護課

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

専門領域 看護師 小児看護、母子保健
介護支援専門員 介護予防

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	地域の人々の生活と健康（１） 1. 地域で暮らす人々の生活と健康のとらえ方について理解できる。 2. 地域・在宅看護論の変遷と基盤となる考え方について理解できる。 3. home town work ガイダンス
2	地域の人々の生活と健康（２） 1. 地域で暮らす人々の生活の多様性について理解できる。 2. 地域・在宅看護をとりまく社会状況と在宅ケアニーズの関連について理解できる。 home town work（１） 1. 調査地域の地域特性について情報共有できる。 2. 調査地域の人口構成や高齢化の状況について説明できる。
3	在宅看護の対象（１） 1. 在宅療養者の状況について説明できる。 home town work（２） 調査地域の在宅療養者の交流・社会参加の場について情報共有できる。
4	在宅看護の対象（２） 1. 日本の家族状況について説明できる。 2. 在宅療養の場における家族介護の現状について理解できる。 3. 家族介護者の支援の視点について説明できる。 home town work（３） 家族介護者の悩み・困難にどのように対応できればよいか意見交換できる。
5	訪問看護活動 1. 訪問看護の目的、制度、実施期間、役割について説明できる。 2. 訪問看護ステーションの設置・運営・従事者・サービスについて説明できる。
6-8	地域療養・在宅看護を支える社会資源 1. 介護保険制度（介護サービス計画・サービス内容・介護報酬の概要）について説明できる。 2. 介護保険施設におけるサービス利用の意義・内容について説明できる。 3. 障がい者・難病患者・子どもの療養生活を支援する制度について理解できる。 4. 福祉用具の活用の意義・住環境の整備の必要性、利用における安全について理解できる。 home town work（４） 1. 訪問看護事業所の設置状況・発信されている内容について意見交換できる。 2. 訪問看護事業所（HP）の発信内容から訪問看護の役割・機能について確認できる。
9	地域包括ケアシステムにおける退院支援・継続看護・多職種連携＜担当：坂口＞ 1. 在宅療養を支える地域包括ケアシステムについて理解できる。 2. 関連機関・多職種との連携、チームケアについて説明できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

10	地域包括ケアシステムにおける退院支援・継続看護・多職種連携＜担当：坂口＞ 1. 退院支援・退院調整のプロセスと実際について理解できる。 2. 病院と訪問看護の連携、継続看護について説明できる。
11	地域包括ケアシステムにおける社会資源と自立支援＜担当：由谷＞ 1. 社会資源の概要を理解できる。 2. 健康課題に対する自立支援と社会資源の活用について説明できる。 home town work (5) 1. 調査地域における保健所・市町村保健センターの所在地・提供サービスについて確認できる。
12	ケアマネジメント＜担当：由谷＞ 1. ケアマネジメントの目的・機能・基本的なプロセスについて説明できる。 2. 介護保険制度におけるケアマネジメントの特徴・意義について説明できる。
13-14	在宅看護と倫理 1. 在宅療養・介護上の課題について倫理的視点から考察し意見交換できる。 2. 在宅療養者・家族の意思決定支援の必要性と看護の役割について理解できる。
15	終講試験・関連学習

2022年度

在宅看護方法論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	杉本 美恵、平山 司樹								

科目の目標
地域で生活しながら療養する人が抱える主な疾患と看護を理解する。また、生活状況や障害に応じた看護過程の展開方法および終末期における看護について学ぶ。

関連教科
疾病論Ⅲ（脳神経系外科、脳神経系内科）、社会福祉、基礎看護学方法論Ⅱ、成人看護学方法論Ⅳ、老年看護学総論、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、小児看護学方法論Ⅱ、精神看護学方法論Ⅰ、在宅看護総論

時間外学習（予習・復習・課題）
脳梗塞およびパーキンソン病の病態生理・症状・治療・看護・利用可能な社会資源について自己学習を行なってください。
ALSの病態生理・症状・治療・看護・利用可能な社会資源について自己学習を行なってください。

オフィスアワー
基本的に在室時に対応しますので必要時には意思表示してください。平山先生には連絡をとりその都度確認していきます。

成績評価方法・基準	
評価項目	割合
出席状況・受講態度・提出物	
終講試験	

テキスト
系統看護学講座 統合分野 在宅看護論
医学書院 著）河原加代子

参考文献
系統看護学講座 在宅看護論ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術
医学書院 著）河原 加代子 他メディカ出版 著）臺 有桂 他

参考URL

特記事項
1. 地域（在宅）で生活しながら療養する人の環境・疾病と障害を関連させて学んでください。
2. 在宅看護の特性をふまえながら、情報収集・アセスメントを行なってください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校
森 文美代

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護（血液・膠原病・腎臓・消化器）
教員経験：基礎看護学、成人看護学、在宅看護論

②実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校
杉本 美恵

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（脳外科、眼科）、内科看護（循環器、内分泌代謝、腎臓）、外来看護、訪問看護
教員経験：在宅看護論

③実務経験のある教員による科目（本務先）

平山 司樹
医療法人葛西病院 訪問看護ステーションかっさい

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

在宅看護、在宅緩和ケア

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	在宅看護過程 1. 在宅看護過程の特徴・概要について説明できる。 2. 療養者の生活環境と価値観をとらえる必要性を理解できる。 3. 在宅看護の対象者としての家族のとらえ方を理解できる。
2コマ目	対象の理解と多職種・多機関との協働 1. 在宅療養する療養者と家族に関する情報整理・アセスメントの視点について理解できる。 2. 在宅看護における目標とセルフケアへの支援が理解できる 3. 療養上のリスクを理解しマネジメントする視点が理解できる。 4. 多職種・多機関と情報共有する視点について理解できる。
3・4コマ目	慢性疾患・後遺障害をもつ療養者への在宅看護 事例演習：後遺障害をかかえながら在宅で過ごす療養者と家族 1. 疾患の特性と病状経過に応じたセルフケア支援の必要性について理解できる。 2. 機能低下・機能障害と、生活要因の関連性について理解できる 3. 二次的合併症の予防・残存機能維持・生活や家族機能の再調整の必要性について理解できる。 4. 設定事例の情報整理・アセスメントを通して療養者・家族のニーズと看護課題を検討できる。 5. 療養者・家族を支援するための社会資源・制度について説明できる。
5・6コマ目	要介護高齢者・認知症高齢者への在宅看護 1. 独居の要介護高齢者の生活環境及び生活上の危険因子について説明できる。 2. 認知症の中核症状と精神症状・行動障害を理解し、生活・療養上の課題について説明できる。 3. 認知症高齢者の状態をアセスメントし、安全で自立した療養生活に向けた援助方法と支援体制の具体が理解できる 4. 認知症高齢者の自尊心を高め、安全と安心をもたらす看護について検討できる。
7	疾病や障害をもつ小児への在宅看護 1. 重度の障害をもった小児および家族の特徴について理解できる。 2. 在宅で療養する小児に対する訪問看護の実際について理解できる。 3. 長期在宅療養を継続するための援助方法・支援体制について説明できる。
8・9コマ目	神経難病をかかえる療養者への在宅看護 1. 症状の多様性や病状進行の特徴をふまえた生活・心理的支援の必要性について理解できる。 2. 膠原系難病および神経系難病療養者のアセスメントの視点と援助方法について説明できる。 3. 療養者・家族を支援するための社会資源について説明できる。 4. 医療依存度の高い療養者と家族に対する支援体制や職種連携が理解できる。
10・11コマ目	事例演習：神経系難病（ALS）の療養者またはパーキンソン病の療養者の在宅看護 1. 疾患の特性・機能障害の特徴と障害による生活機能の低下について理解できる。 2. 病状進行に伴う療養生活および介護内容の変化・生活の再調整の必要性について説明できる。 3. 設定事例の情報整理・アセスメントを通して療養者・家族のニーズと看護課題を検討できる。 4. 設定事例の看護課題に対し、生活の視点をふまえた看護計画を立案できる。 5. 意見交換により、より安全で安楽なケア計画を考えることが出来る。 6. 看護課題抽出と目標設定を含めた療養者の強みを見据えた看護計画の修正・追加が行える。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

12コマ目	1. 在宅療養する精神疾患療養者を支える人的・物的環境が理解できる。 2. 療養者および家族への支援のポイントが述べられる。
13・14コマ目	終末期における在宅看護＜担当：平山＞ 1. 在宅医療・看護の現状と今後の課題について理解できる。 2. がん・非がん終末期にある療養者・家族の全人的苦痛とケアのポイントを理解できる。 3. 終末期にある療養者・家族と関わる看護師に必要な感性・感受性を養うことができる。
15コマ目	終講試験

2022年度

在宅看護方法論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	杉本 美恵、森 文美代								

科目の目標

対象の持つセルフケア能力を活かしながら、生活環境を考慮した在宅療養を支える生活援助技術を学ぶ。また、医療ケア・処置を必要とする在宅療養者・家族への看護および指導内容を理解する。

関連教科

解剖生理学、基礎看護学技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ、成人看護学方法論Ⅲ

時間外学習（予習・復習・課題）

- 1. 1コマ目に持参：経管栄養剤の種類・特徴
- 2. 2コマ目に持参（3コマ目に提出）：経管栄養法に関する看護手順 ※具体的内容については課題一覧表を確認
- 3. 3コマ目、11・12コマ目の演習は演習前に事例設定を配布するので、グループで方法と根拠・留意点を考えて実施する。
血圧測定など基礎看護技術は、ナースングスキルや教本を活用し予習を行っておく。演習の際に記載した用紙は、演習終了時に提出日時を指定します。
- 4. 13・14コマ目の経管栄養演習までに、経管栄養剤および内服薬注入の技術練習をグループで行なってください。

オフィスアワー

基本的に在室時是对应しますので必要時には意思表示してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
提出物・受講態度・技術練習実施状況	

テキスト

系統看護学講座 統合分野 在宅看護論ナースンググラフィカ 在宅療養を支える技術
医学書院 著）河原 加代子 編メディカ出版 著）臺 有桂 編

参考文献

看護技術がみえる② 臨床看護技術
MEDIC MEDIA

参考URL

使用時に紹介します。

特記事項

各看護学における既習の知識・技術を想起し、関連づけながら在宅看護における個別的ニーズへの対応（応用）を学んでいってください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

森 文美代
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護（消化器・血液膠原病・腎臓）
教員経験：基礎看護学、成人看護学、在宅看護論

②実務経験のある教員による科目（本務先）

杉本 美恵
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（脳外科、眼科）、内科看護（循環器、内分泌代謝、腎臓）、外来看護、訪問看護
教員経験：在宅看護論

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1 コマ目	食・栄養 1. 在宅療養における食・栄養の視点・支援方法について理解できる。 2. 摂食・嚥下機能のアセスメントについて理解できる。 3. 食に関するリスク管理について理解できる。 4. 在宅療養における食・栄養の支援について理解できる。
2 コマ目	食・栄養 1. 経管栄養法の適応・目的・種類について理解できる。 2. 経鼻経管栄養法の安全に留意した実施方法について説明できる。 3. 胃瘻カテーテルの管理方法について理解できる。
3 コマ目	食・栄養（※技術練習） 1. 経管栄養法の合併症と対処方法について説明できる。 2. 使用器具の特徴を理解し、シミュレーションモデルを使用し、経鼻栄養チューブの挿入・固定・注入方法について確認できる。 3. 胃瘻チューブの管理について確認できる。
4 コマ目	1. 在宅中心静脈栄養法の目的と特徴、管理方法について理解できる。 2. 在宅での服薬管理の特徴と支援の方法が理解できる。
5 コマ目	排泄・清潔 1. 在宅における排泄支援の特徴について説明できる。 2. 排泄障害の分類・特徴に合わせたケア方法の工夫や選択が行える。 3. 在宅における尿路系カテーテルの種類・管理方法の留意点が理解できる。
6 コマ目	排泄・清潔 1. 在宅における清潔援助・感染予防・褥瘡予防について説明できる。 2. 在宅における援助時の家族との関係構築の必要性が理解できる。 3. 排泄の自立に向けたストーマ・腹膜透析の管理について説明できる。
7 コマ目	移動・リハビリテーション・休息① 1. 麻痺のある療養者の車椅子移乗・移動方法に関する基本技術が説明できる。 2. 麻痺のある療養者の環境整備・環境調整について理解できる。 3. 在宅療養における休息・睡眠の看護について理解できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

8コマ目	移乗・リハビリテーション・休息②：演習 1. 片麻痺のある療養者の血圧測定、移乗と歩行介助が実施できる。 2. 臥床状態での他動的関節可動域訓練方法を理解して実施できる。 3. リフレクションを通して、安全安楽な自立を促すための改善点を見出すことができる。
9コマ目	呼吸管理① 1. 在宅酸素療法の適応基準、使用機器の種類と特徴、管理方法について説明できる。 2. 在宅酸素療法における療養生活支援の方法について説明できる。 3. 療養者の状態に合わせた服薬管理方法と職種連携がわかる。
10コマ目	呼吸管理②・演習ガイダンス 1. 在宅人工呼吸療法の目的と適応について説明できる。 2. 在宅人工呼吸療法の管理と看護の要点について説明できる。 3. 演習ガイダンスを受けて、演習の目的と進め方がわかる。
11・12コマ目	演習：洗髪・爪切り、血圧測定 1. 療養者の状態に合わせた、爪切りが安全安楽を考慮して行える。 2. 設定事例の生活状況・状態を考慮した観察・洗髪が実施できる。 3. 実施したケアの記述と振り返りを行い、学びを深めることができる。
13・14コマ目	演習：経管栄養 1. 設定事例に対して経鼻栄養チューブからの栄養剤および内服薬注入の準備・実施ができる。 2. 実施内容を振り返り、今後の課題を整理し記述できる。
15コマ目	終講試験

2022年度

在宅看護方法論Ⅲ

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	森 文美代								

科目の目標

在宅療養者や家族の多様性を考慮したコミュニケーションについて理解し、在宅看護を実施する上で必要な基本的態度および療養支援における関わり方を学ぶ。

関連教科

各疾病論、社会福祉、関係法規、公衆衛生学、家族論、各看護学総論・方法論

時間外学習（予習・復習・課題）

設定事例の心身の状態を具体的にイメージするための病態・治療に関する学習を主体的に行なってください。
設定事例に関連した社会資源に関して情報収集してください。

オフィスアワー

基本的に在室時に対応しますので必要時には意思表示してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
出席状況・提出物・受講態度（欠課・提出遅れは減点）	

テキスト

（１）系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（２）ナースンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術

（１）医学書院 （２）メディカ出版

※必要時、使用します。系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤

医学書院

参考文献

使用時に紹介します。

参考URL

使用時に紹介します。

特記事項

1. 出席状況、受講態度、グループワークの参加姿勢・積極性を重視します。

2. 終講試験以降の出席状況も含めて受験資格の要件（有無）について最終的に判断しますので注意してください。

3. グループワークを主体とした演習となるためメンバー個々の学習・協力姿勢が目標達成に影響することを自覚して臨んでください。

4. 演習々度に対し、7月全講義終了後に補講を実施します。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校
森 文美代

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内科看護（消化器・血液・膠原病・腎臓）
教員経験：基礎看護学、成人看護学、在宅看護論

②実務経験のある教員による科目（本務先）

近畿大学附属看護専門学校
杉本 美恵

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：外科看護（脳外科、眼科）、内科看護（循環器、内分泌代謝、腎臓）、外来看護、訪問看護
教員経験：在宅看護論

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	在宅看護介入の過程の理解と心構え 1. 訪問看護導入～移行期の看護の特徴について述べられる。 2. 訪問時における態度・マナーの留意点が述べられる。
2コマ目	アクティビティケア 1. 在宅療養安定期の療養者に対する健康維持、自立に向けた看護が理解できる。 2. アクティビティケアの目的・内容について述べられる。
3コマ目	在宅看護におけるコミュニケーション支援① 1. 在宅療養者・家族間のコミュニケーションと療養生活・介護への影響について理解できる。 2. コミュニケーション障害の特徴に合わせた援助方法について説明できる。 3. 代替コミュニケーション技法の目的・種類について説明できる。 4. 代替コミュニケーション技法演習の実施要領について確認できる。
4コマ目	代替コミュニケーション技法演習 ※実習室使用 1. 代替コミュニケーション技法を用いてコミュニケーションを実施できる。 （1）筆談 （2）口型 （3）透明文字盤 2. 代替コミュニケーション技法における援助の工夫について意見交換ができる。
5コマ目	訪問看護演習ガイダンス 1. 療養生活支援における相談・指導の概要および指導技法について説明できる。 2. 演習の目的・方法・留意事項について確認できる。 （1）訪問マナー演習 （2）事例演習 3. 事例演習の設定事例を確認できる。
6 - 7コマ目	訪問看護演習準備①② 1. 設定事例に対し疾患・医療ケアの視点から情報整理できる。 2. 設定事例に対し生活・活動の視点から情報整理できる。 3. 設定事例に対し家族・環境・社会資源の視点から情報整理できる。 4. 設定事例のニーズ・看護課題についてアセスメントし意見交換できる。
8コマ目	訪問看護演習準備③ 1. 設定事例のアセスメントに基づき、看護課題および看護目標を設定できる。 2. 設定事例に対する訪問時の目標および援助計画を立案できる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

9コマ目	訪問看護演習準備④ 1. 立案した援助計画に基づきロールプレイング実施計画を立案できる。 2. 設定事例の役割の特徴について意見交換し、役割演技の準備ができる。
10-11コマ目	訪問看護マナー演習・事例演習準備⑤⑥ 1. 訪問マナー演習 (1) 訪問看護に必要な服装・身だしなみを整え、基本的な訪問マナーを実施できる。 (2) 臨地実習に向けての課題を整理し、記述できる。 2. 事例演習準備：グループワーク (1) 立案した在宅療養支援計画を修正できる。 (2) 立案内容の発表準備ができる。
12-13コマ目	事例演習 1. 立案した療養支援計画の意図・根拠を他者に伝わる構成・表現を工夫しながらグループメンバーと協力し、発表できる。 2. 発表内容について聴取者は、療養者・家族の個別性を反映した支援計画になっているか意見を述べることができる。 3. お互いの考えを尊重しながら、建設的な意見交換ができる。
14コマ目	事例演習リフレクション 1. 発表内容について建設的な意見交換を行い、療養者と家族の個別性に応じたケアとするための修正点を明確にできる。 2. 療養支援計画の修正ができる。 3. 臨地実習に向けての課題を述べることができる。
15コマ目	終講試験

2022年度

災害看護

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	中田 敬司、水谷 和郎、北口 歩、西 有未、田中 晴彬、百 真一、椎原 由美子、廣池 美咲								

科目の目標

災害の特徴、災害医療および看護の基本を理解するとともに、災害各期の看護者の役割を知り、急性期の救護活動に必要な技術を習得し、実践にいかすことができる能力を養う。

関連教科

成人看護学方法論Ⅴ

時間外学習（予習・復習・課題）

【課題】 1. 災害サイクルと看護についてのレポート・・・2年次4月に配布、2コマ目終了時に提出して下さい。

オフィスアワー

月～金曜日 8:30～17:30

※上記以外の時間および外部講師に関する相談は教務に申し出てください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
出席・提出物・演習・グループワークの内容も含む総合評価	

テキスト

災害看護学・国際看護学

医学書院 編集）竹下喜久子

参考文献

外傷病院前ガイドライン

プラネット 著）JPTEC協議会編集委員会

いのちとこころを救う災害看護

学研 著）監修 小原真理子

参考URL

特になし

特記事項

13・14コマ目に災害演習が入ります。詳細については、事前に説明します。

また、講義時間外として、演習準備が入ります。

講義内容をしっかりと復習し、積極的に行動してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

椎原由美子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験；救急看護、呼吸器内科看護
教員経験；在宅看護論、基礎看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

北口歩
近畿大学病院

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

③実務経験のある教員による科目（本務先）

西有未
近畿大学病院

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

④実務経験のある教員による科目（本務先）

田中 晴彬
近畿大学病院

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

百 真一
近畿大学病院

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

廣池 美咲
近畿大学病院

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

中田 敬司
神戸学院大学

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

水谷 和郎
六甲アイランド甲南病院

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

救急看護

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1・2	1. 災害の定義、災害の歴史について述べるができる。 2. 災害の種類、疾病構造、災害サイクル（概要）について述べるができる。
3～6	1. 災害サイクルの特徴（詳細）・災害関連死、災害における関連について述べるができる。 2. 災害に関する法律・制度について述べるができる。 3. 災害時の医療活動に必要な情報体制、通信手段・通信方法について理解することができる。 4. 災害時のCSCATTTを述べるができる。 5. 災害時の関係各機関の支援体制（国内外）・活動・連携の実際について知ることができる。 6. 災害時のボランティア活動について述べるができる。
7～8	1. 阪神・淡路大震災の実際を知り、医療者としての行動を考えることができる。 2. 被災者および援助者の思いを知り、災害に関連したこころのケアを考えることができる。
9・10	1. 災害サイクル各期における看護活動（在宅療養・避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅における看護）について述べるができる。 2. 病院における災害への備え・初動体制について述べるができる。 （救急医療・看護、ショックの分類含む）
11・12	災害時に必要な技術①（講義） 1. トリアージ、外傷患者の応急処置（治療）、搬送について述べるができる。
13・14	災害時に必要な技術②（演習） 1. 1次トリアージ（もぎり、カラーの根拠、装着、搬送後の複写の回収と集計など）を体験する。
15	終講試験

2021年度

文化人類学

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	中本 剛二								

科目の目標

世界には様々な文化があり、多様なものの見方や考え方があることを理解する。そしてそれらのうち特定のものが進んでいたり、正しいというわけではないことを理解したうえで、人の営みの多様性や多元性について共に考える。特に身体観や病氣、治療、死と文化の関連について理解を深める。

関連教科

論理的思考 社会学

時間外学習（予習・復習・課題）

講義の内容を、講義の中だけで終わらせるのではなく、日常生活での様々な経験や出来事と関連させて考える。

オフィスアワー

講義終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テスト	
出席および参加姿勢、講義内の課題	

テキスト

系統看護学講座 基礎 文化人類学
医学書院 著）波平恵美子編

参考文献

講義時間内に適宜指示する。

参考URL

特記事項

配布するプリントは各自管理し、毎回持参すること。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、授業方法や成績評価方法について変更を余儀なくされることがある。変更する際は、授業等を通じて受講者に周知する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

文化人類学、民俗学、社会学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	イントロダクション 文化人類学とは（１） ・人間にとって文化とは何か考え、理解する。 ・文化の諸相（普遍性と特殊性、多面性や重層性）について理解する。
2コマ目	文化人類学とは（２） ・文化人類学のこれまでの歴史について理解する。 ・文化相対主義について理解する。 ・フィールドワークという方法について考える。 ・現代社会における文化の諸相について考える。
3コマ目	健康 病気 医療（１） ・身体観、病気観の多様性を理解する。 ・立場によって異なる病気についての見方、経験の在りかたを理解する。
4コマ目	健康 病気 医療（２） ・医療がそれぞれの文化においてまとまりをもった体系をなしていることを理解する。またその変容について考える。 ・バイオメディシン（生体医学）の特性を理解し、グローバル化した社会におけるその様相について理解する。 ・ヒトの適応の在りかたについて理解する。
5コマ目	人間と死（１） ・ヒトや人間集団にとって死の持つ意味を考える。 ・医療と死の関連について理解する。
6コマ目	人間と死（２） ・人間社会における死者儀礼について考える。また様々な社会における、死に対する態度の普遍性と多様性について考える。 ・現代社会における死の諸相について考える。
7コマ目	まとめ ・これまで学んだことを確認し、具体的なテーマに基づいて議論できるようにする。

2022年度

看護管理と国際協力

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	北本 智美、溝畑 智子、田上 晶子								

科目の目標

- 1. 世界の健康課題とその背景について知り、世界の人々が健康であるために考慮すべき視点について理解を深める。
- 2. 背景に異文化を持つ人々や異文化圏に住む人々への看護のあり方について述べるができる。
- 3. 看護管理システムを学ぶことでマネジメントやチーム医療の重要性を学ぶ。

関連教科

文化人類学、社会学、健康科学、公衆衛生学、看護学概論I、看護学概論II、基礎看護学方法論I、成人看護学総論、老年看護学総論、小児看護学総論、母性看護学総論、精神看護学総論、在宅看護総論

時間外学習（予習・復習・課題）

＜国際協力＞
新聞やテレビのニュースなどを通して、世界で起こっていることに関心をもっておいってください。

オフィスアワー

授業終了後

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験（国際協力）	
終講試験（看護管理）	

テキスト

国際看護学 グローバル・ナースングに向けての展開
中山書店
系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔1〕
医学書院

参考文献

授業時にお知らせします。
系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論（看護管理）
医学書院

参考URL

授業時にお知らせします。

特記事項

＜国際協力＞
グループワークを設定しています。
グループワークはグループで取り組むものですので、積極的に参加してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

溝畑 智子

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

国際保健学、国際看護学、地域看護学、公衆衛生看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

北本 智美

近畿大学病院 看護部管理室

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

継続教育室、認定看護管理者

③実務経験のある教員による科目（本務先）

田上 晶子

近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

基礎看護学、小児看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1	【国際協力①】 世界の健康課題に対する取り組みと看護職の役割 ＜授業目標＞ ① 本科目で学ぶ全体像（目標、概要など）を知る。 ② 地球規模で人々の健康を考えることの必要性を知り、自分なりに考えることができる。
2	【国際協力②】 国際看護活動の基盤となる考え方 国際保健・国際看護、国際協力の実際 ＜授業目標＞ ① 国際看護活動の基盤となる考え方を知る。 ② 海外での活動事例を通して、看護職としてできることを考えることができる。
3	【国際協力③】 移民の健康①～移動と人々の健康 ＜授業目標＞ ① 世界での人々の移動の現状とその背景について知ることができる。 ② 移動が人々の健康に及ぼす影響を知り、看護職としてできることを考えることができる。
4	【国際協力④】 移民の健康②～日本に暮らす外国人を通して ＜授業目標＞ ① 国際看護・協力の身近な活動対象である日本に住む外国人（在留外国人）の存在と背景について知る。 ② 在留外国人の健康支援の取り組みを知る。 ③ 在留外国人の健康課題を知り、必要な健康支援について考えることができる。
5	看護管理（田上）：看護サービスの管理とは何かが理解できる。 1）看護管理の定義が述べられる。 2）看護の対象やPDCAサイクルについて説明できる。
6	看護管理（田上）：看護方式の種類や看護サービスと経済のしくみについて理解できる。 1）看護方式の種類と内容について知る。 2）看護サービスに影響する制度について知る。
7	看護管理（北本）：適切な医療・看護サービスを提供するためのチーム医療や組織作りについて理解できる。 1）組織とはどのようなものであるかを知り、組織のシステムについて述べることができる。 2）看護部組織と看護職員の配置について説明することができる。 3）リーダーシップ・メンバーシップの必要性について述べることができる。

2022年度

医療安全 I

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	辰己 陽一、加藤 あゆみ、中谷 能子、加納 薫								

科目の目標
医療事故の基本的知識を学び、安全の重要性を理解できる。

関連教科
心理学、コミュニケーション技法、看護学概論 I

時間外学習（予習・復習・課題）
予習・復習を行い、講義に臨んで下さい。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験(外部講師分)	
終講試験(内部講師分)	
提出物、グループワーク・発表会の参加状況	

テキスト
医療安全 多職種でつくる患者安全をめざして
南江堂

参考文献
ソーリー・ワークス！
医学書院
ナースのための危険予知トレーニングテキスト
メディカ出版

参考URL

特記事項
実習中に起こしやすい代表的な事故の場面をもとに、どのようにすれば予防できるか考えましょう。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

加納 薫
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：内分泌・代謝内科看護、消化器内科看護、呼吸器内科看護、腫瘍内科看護
教員経験：精神看護学

②実務経験のある教員による科目（本務先）

中谷 能子
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：周産期看護、婦人科看護
教員経験：母性看護学

③実務経験のある教員による科目（本務先）

加藤 あゆみ
近畿大学附属看護専門学校

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：心臓血管外科看護、内科（消化器・血液膠原病）看護、皮膚科看護、形成外科看護
教員経験：成人看護学

④実務経験のある教員による科目（本務先）

辰巳 陽一
近畿大学病院

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

内科教室（血液・膠原病内科部門）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	担当：辰巳 1. 医療安全の歴史について述べるができる 2. 医療安全の用語について述べるができる 3. インシデント・アクシデント報告の意義について述べるができる
2コマ目	担当：辰巳 1. 医療安全におけるヒューマンエラー（人的要因）について述べるができる 2. ヒューマンエラー（人的要因）の対策を述べるができる
3コマ目	担当：辰巳 1. 医療安全とその対策について理解することができる 2. Sorry Works：ソーリーワークス／共感の表明・情報開示・謝罪のプログラムについて理解できる
4コマ目	担当：加納 1. 医療安全の基本について理解することができる 2. 実習中の事故及び事故発生時の学生の対応について考えることができる
5コマ目	担当：加納 1. 医療安全における先手管理について学ぶことができる。 2. K Y T 演習を通してそのプロセスを学び、看護場面における危険要因に考慮した方法や危険防止策について考えることができる。
6・7コマ目	グループワーク・発表：加納・中谷・加藤 1. 基礎看護学実習Ⅱにおける看護場面を通して、医療における安全について考え、自己の課題を明確にできる。
8コマ目	終講試験

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
------	------

[illegible]

授業計画（回数任意科目）

[illegible]

授業計画（回数任意科目）

[illegible]